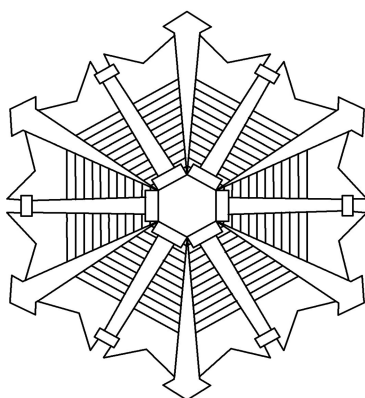


消 防 年 報

平成 30 年度版



久 万 高 原 町 消 防 本 部

令和元年刊行

はじめに

- 1 この年報は、久万高原町消防本部の消防行政の現状を一般に紹介するとともに、近年ますます多様化現象にある災害に対処するための資料として、平成30年中の消防現勢及び消防業務の内容・火災・救急統計等を収録編さんしたものであります。
- 2 この年報は、人事・予算・予防は会計年度とし、警防・救急等は暦年として平成30年度の統計を収録しました。

令和元年9月1日

久万高原町消防本部

目 次

久万高原町消防の現勢

久万高原町の概要	1
面積・人口・世帯数	2
消防・救急機関配置図	2
消防のあゆみ	3
消防本部・署所の所在地 及び庁舎等の現況	14
消防本部の組織	15
久万高原町長・副町長・議会議員等名簿	16
歴代組合長	16
歴代消防長	16
歴代消防署長	16
消防本部・署の事務分掌	17
消防本部重点施策	21
消防力の現況	22
消防職員	23
消防予算	24

火災履歴の検証

火災の実態	25
-------	----

災害を未然に防止するために

第23回防災まちづくり大賞受賞	29
火災予防	30
避難行動要支援者対策	31
住宅防火対策	32
防火管理制度	32
危険物の保安	33

災害から住民を守るために

消防活動体制	35
消防隊の活動状況	35
消防相互応援体制の状況	36
緊急消防援助隊	37
情報通信	38
無線局一覧表	39
消防水利	40
訓練	41
消防団	42
久万高原町消防警察捜索推進協議会	43
救急体制	44

救助体制	51
------	----

総務編

平成30年度 おもな行事	53
職員の年齢別状況	56
消防職員居住地状況	57
消防職員出身地状況	57
消防吏員の採用および退職	58
消防職員研修状況	59
消防職員自主研修状況	59
消防職員特殊技能有資格者状況	60
消防職員諸手当支給状況	60
消防費にかかる1世帯当たり 及び1人当たりの金額	61
平成30年度 会計決算額と 消防費決算額の割合	61
平成30年度 消防費基準財政 需要額と消防費関係状況	62
消防費決算内訳状況	62
ほう賞及び表彰受賞(章)状況	63

予防編

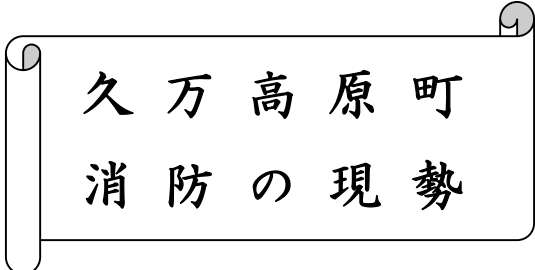
年間のおもな行事	65
危険物施設数	66
危険物関係事務の処理状況	66
危険物手数料の徴収状況	67
危険物施設に対する査察状況	67
消防用設備の設置状況	68
防火対象物数	69
消防用設備等完成検査実施状況	70
防火対象物予防査察の状況	71
消防用設備点検結果の報告状況	72
建築同意の処理状況	71
防火管理者の選任状況・消防計画 の届出状況	74
各種届出事務の処理状況	75

クラブ広報編

幼年消防クラブ	77
少年消防クラブ	79
女性防火クラブ	82

表彰及び助成事業状況	85	年齢別区分搬送人員状況	113
少年消防クラブ助成事業	86	医療機関別収容人員の状況	114
少年消防クラブ		収容機関別状況	115
コミュニティー助成事業	87	事故種別・傷病程度	115
警防編		急病疾患別内訳	116
保有消防車両	89	事故種別・理由別不搬送	116
消防機械器具の保有状況	90	緊急電話受信時における口頭指導内容	117
化学消火薬剤保有状況	92	応急処置及び拡大処置件数	117
油処理剤保有状況	92	現場到着所要時間	118
消防水利の状況	93	収容所要時間状況	118
耐震性防火水槽設置状況	93	平均出場時間	118
平成 30 年度新設消防水利の状況	93	ドクターヘリの運行・ドクターヘリ運航	
年間出動状況及び燃料消費量	94	・ドクターカー運用状況	119
月別出動状況	96	救助編	
緊急通報受信状況	97	救助出動及び活動状況	121
携帯 119 転送受信状況	97	年間の主な訓練と行事	121
覚知方法別受信状況	97	救助関係資器材の保有状況	122
携帯電話別受信件数	97	消防救助技術指導会入賞結果一覧表	123
久万高原町における気象記録	98	ヘリコプター新離着陸場一覧	124
気象観測年報	99	消防団編	
地震発生時における町内の震度	99	消防団の沿革	125
警報・注意報の発表回数	100	階級別消防団員数	128
災害対策本部設置回数	100	消防団員の職業構成	128
災統計編		年齢別消防団員数	129
火災発生状況	101	在職年数別消防団員数	129
火災一覧表	102	消防団員の退職・新任状況	129
地区別火災発生状況	103	消防団年俸調べ	129
月別・季節別火災発生状況	104	消防団手当調べ	129
地区別火災発生状況	105	久万高原町消防団組織図	130
月別火災発生状況	106	各方面隊別出動範囲	131
時間帯別火災発生状況	107	本部消防隊	132
地区別火災発生一覧表	108	久万方面隊	132
救急編		消防ポンプ自動車調査表	132
年別救急活動状況	109	照明車調査表	132
月別救急活動状況	110	消防積載自動車調査表	132
署・地区別救急活動状況	111	小型(可搬)ポンプ配置調査表	132
覚知方法別状況	111	面河方面隊	133
曜日別発生件数状況	112	消防積載自動車調査表	133
時間帯別発生件数状況	112	小型(可搬)ポンプ配置調査表	133
居住区別搬送人員の対人口比	112	美川方面隊	133

消防積載自動車調査表	133
小型(可搬)ポンプ配置調査表	134
柳谷方面隊	134
消防積載自動車調査表	134
小型(可搬)ポンプ配置調査表	134
方面隊別消防団保有資器材	135
消防団幹部調べ	136
久万高原町消防団長	136
愛媛県消防操法上浮穴地区大会成績表 ..	137
久万高原町消防操法大会成績表	138
愛媛県消防操法大会成績表	139



久万高原町
消防の現勢

久万高原町の概要

〔位 置〕

四国山脈は石鎚山から西と南西に主脈を分けて走り、久万高原町はこの主脈に挟まれた標高 400～800m の山岳丘陵地域です。北に松山市、伊予郡、東温市、東に西条市、南に高知県、西に喜多郡、西予市と接し、県下でも数少ない海を持たない地域です。

〔気 候〕

夏は冷涼多雨、冬は寒気厳しく平均して 11 月下旬から 3 月初旬まで降雪があり、10 月下旬に初霜、5 月初旬に晩霜を見るという内陸高冷地型の気候です。そのため、夏には「四国の軽井沢」、冬は「四国の北海道」と呼ばれています。

〔産 業〕

基幹産業は農林業であり、厳しい自然条件が育てる杉・檜などの良質な木材や、夏季冷涼な気候を生かしたトマト・ピーマン・清流米などの高原野菜の生産が町の産業を支えています。

〔観 光〕

久万高原町は、平均標高 800m の冷涼な気候に恵まれ、面河溪、石鎚山、御三戸、四国カルスト、皿ヶ峰など従来より避暑地、行楽地として多く人が訪れます。また、四国霊場 88 ヶ所の札所 44 番大宝寺、45 番岩屋寺があり、遍路姿の巡礼者も多く訪れています。

〔町村合併〕

平成 16 年 8 月 1 日、1 町 3 村(久万町、面河村、美川村、柳谷村)の合併により久万高原町が誕生しました。

〔消防業務〕

平成 16 年 12 月 31 日、町村合併に伴い昭和 48 年から 31 年続いた『上浮穴郡生活環境事務組合』の歴史に幕を閉じ、平成 17 年 1 月 1 日から久万高原町を管轄とする『久万高原町消防本部・署』として業務を継承しています。

また、平成 17 年 4 月 1 日から消防団事務も新たに加わりました。平成 28 年 6 月 23 日には、久万高原町下野尻に消防本部・署新庁舎が完成し、運用を開始しました。



面積・人口・世帯数

昭和50年の国勢調査では、4町村の総人口は18,014人で、その後、人口の都市集中により、過疎化と高齢化の一途をたどり、平成31年3月31日では、昭和50年の45.7%にあたる8,229人(高齢化率47.5%)まで減少しています。

区分 構成 地区別	面積 km ²	人 口			世 帯 数		
		17年国調	27年国調	平31.3.31	17年国調	27年国調	平31.3.31
久万高原町	久万	164.95	6,876	8,447	8,229	2,866	4,435
	面河	157.81	779			413	
	美川	134.38	2,164			1,030	
	柳谷	126.55	1,127			582	
合計	583.69	10,946	8,447	8,229	4,891	4,052	4,435

(※27年国勢調査は速報値)

消防・救急機関配置図

凡 例		凡 例	
記号	摘 要	記号	摘 要
	消防本部・署		救 急 車
	支 署		指 揮 車
	小型動力ポンプ付水槽車		広 報 車 (資器材運搬車含む)
	タンク車		無 線 基 地 局
	積載救助工作車		団 本 部



消防のあゆみ

昭和50年	9月	5日	高知県本山町視察
	10.	20	周桑消防事務組合視察
	10.	26	昭和51年度に政令指定を受けるため要望書を県に提出
昭和51年	6.	19	佐賀県神崎地区消防事務組合視察
	7.	8	5町村担当者会議
	9.	7	担当者会議(久万町, 面河村, 美川村, 柳谷村, 小田町)
昭和52年	10.	26	政令指定希望書類提出
	1.	28	担当者会議(久万町, 面河村, 美川村, 柳谷村, 小田町)
	2.	3	昭和52年度における消防本部・署義務設置町村の政令指定内定
	4.	20	消防本部・署の設置にかかる政令指定告示
	4.	28	消防本部・署庁舎の設計入札
	5.	27	担当者会議(久万町, 面河村, 美川村, 柳谷村, 小田町)
	5.	28	〃
	6.	20	〃
	6.	30	消防本部・署庁舎の建築工事入札
	7.	4	担当者会議(久万町, 面河村, 美川村, 柳谷村, 小田町)
	7.	4	消防職員募集
	7.	4	担当者課長会議(久万町, 面河村, 美川村, 柳谷村, 小田町)
	7.	5	組規約一部改正(消防事務加入)
	7.	5	本署・署庁舎起工式
	7.	11	第一次採用試験
	7.	25	第二次 〃
	7.	30	合格者発表(26名)
	8.	8	採用予定者招集
	10.	28	消防署・美川分駐所の建築工事入札
	11.	30	広報車購入
	12.	22	指令車購入
昭和53年	1.	5	採用予定者14名による郡内の地理・水利・危険物等の調査開始
	1.	26	救急車, 日本損害保険協会より受領
	2.	14	消防ポンプ自動車購入(ニッサン FH60 3,950cc)
	2.	24	小型動力ポンプ付積載車購入(ニッサン H-GH620 1,480cc)
	3.	7	救急車, 愛媛県建設業協会上浮穴支部より受領
	4.	1	上浮穴郡生活環境事務組合消防本部・署設置及び管理条例制定 (職員定数28名)
	4.	1	消防本部・署, 美川・小田両分駐所業務を開始 山下岩男氏初代消防長に任命
	4.	1	救急車, 久万町より譲り受ける 消防専用無線(基地局3, 移動局6, 携帯局3)運用開始
	9.	6	救急車, 日本船舶振興協会より受領
	9.	7	赤バイ2台購入
	9.	26	消防専用無線(移動局1)増設 〃 (携帯局2)増設
	昭和54年	5.	22
6.		7	〃 (移動局1)増設
10.		5	消防本部・署の車庫増設
12.		15	消防専用無線(携帯局2)増設

昭和55年	4月	1日	定員補充のため消防職員1名採用
	5.	31	軽可搬ポンプ(ホームライト社 XLS-4型)購入
昭和56年	3.	12	消防専用無線(基地局2)増設, 2町3村に基地局が設置, 消防本部・署にて遠隔操作による集中リモコンシステム運用
	6.	29	消防専用無線(移動局1, 携帯局1)増設
	8.	26	庁内放送兼用施設電話設備設置
昭和57年	4.	1	消防職員定数条例の一部改正(職員定数30名)
	4.	1	消防職員2名採用, 実員30名
	4.	20	消防職員1名退職, 実員29名
	8.	1	消防職員1名採用, 実員30名
昭和58年	1.	12	消防専用無線(携帯局1)増設
	3.	26	仮眠室をベッド式に改造
	3.	31	初代消防長 山下岩男氏退任
	4.	1	二代消防長 中嶋 徹氏任命
	11.	7	昭和58年度消防施設等整備事業により水槽付(水2t)消防ポンプ自動車(日野レンジャーKFD172AA)及び消防専用無線(移動局1)配置
昭和59年	1.	20	消防職員定数条例の一部改正(職員定数31名)
	2.	13	山岳救助装備品一式8名分購入
	3.	1	昭和59年度愛媛県中予地区広域消防訓練(大規模林野火災想定)を美川村仕七川において実施, 15機関482名参加
	4.	1	消防職員1名採用, 実員31名
	9.	30	消防職員1名退職, 実員30名
	11.	15	広報車更新(三菱シャリオ 2,000cc 4輪駆動) 上浮穴郡婦人防火クラブ連合会へ防火広報車(ニッサンキャラバン2,000cc 9人乗り)(財)日本防火協会及び(財)日本船舶振興会より寄贈 救急車(ニッサンキャラバン 2,000cc)及び消防専用無線移動局(10w)を愛媛県共済農業協同組合連合会より寄贈
昭和60年	1.	14	消防職員病気死亡により退職, 実員29名
	3.	11	組合内部異動により1名増員, 実員30名
	4.	1	大洲, 伊予, 上浮穴広域消防相互応援協定締結
	4.	30	消防職員1名退職, 実員29名
	5.	1	消防職員1名採用, 実員30名
	9.	3~4	第1回昇任試験実施(消防士長, 消防副士長)
	10.	1	昇任試験結果, 消防士長3名, 消防副士長3名昇任
	11.	1	ワードプロセッサ購入(XEROX865 II JWP)
	12.	31	消防職員1名退職, 実員29名
	昭和61年	4.	1
4.		10	救急車(トヨタ L-YH71VB 2,000cc)を愛媛県建設業協会 上浮穴支部より寄贈
9.		11	油圧式救助器具(スプレッダー HSP-1450H, カッター HS-1412H, エンジンポンプ PEHS-4000A)導入
11.		12	西部四国山地相互応援協定締結
昭和62年	4.	1	面河村, 美川村, 柳谷村の119番電話システム, 消防本部・署で集中管理
	5.	1	高知県本川村との消防相互応援協定締結
	5.	1	パーソナルコンピューター導入(NEC N5200モデル07)
	6.	1	消防本部・署庁舎2階, 事務所, 書庫, OA機器室70㎡ 増築延面積501.11㎡となる。
	11.	29	第2回上浮穴郡広域消防訓練(大規模林野火災想定)を小田深山で実施 11関係機関326名が参加
昭和63年	3.	3	上浮穴郡(久万町, 面河村, 美川村, 柳谷村, 小田町)林野火災特別地域指定を受ける。
	3.	12	消防専用超短波無線電話に全国共通波(150.73MHZ)を装備(移動局4, 携帯局2)

昭和63年	3月	31日	上浮穴郡林野火災防御計画基本図(1/25,000)完成	
	3.	31	二代消防長 中嶋 徹氏退任	
	4.	1	三代消防長 平岡 新太郎氏就任 三代消防署長 城戸 武士氏就任	
	4.	1	小田町白杵, 上田渡地区の消防報知専用電話(119番)が伊予消防の協力により転送システムとなり, 消防本部・署管理となる。	
	6.	1	ファクシミリ導入(Pnafax UF82) FAX(0892)21-2656	
	10.	31	消防職員1名退職, 実員29名	
	11.	26	上浮穴消防本部・署創立10周年記念式典(上浮穴産業文化会館)	
	11.	14	救急車(ニッサンキャラバン 2,600cc 4WD 2B型)を社団法人日本自動車協会より	
	11.	18	寄贈小型動力ポンプ付積載車兼工作車(三菱キャンター 3,560cc ディーゼル) 更新	
	平成元年	2.	1	組合内部異動により1名増員, 実員30名
		3.	15～16	第2回昇任試験実施(消防司令補, 消防士長, 消防副士長)
4.		1	昇任試験結果, 消防司令補2名, 消防士長4名, 消防副士長4名昇任	
8.		8	庁内電話更新(ビジネスホンEスーパーシリーズ V-II)	
11.		7	救急車(いすゞ 2,380cc 4WD 2B型)を愛媛県共済農業協同組合連合会より寄贈	
11.		9	消防職員1名退職, 実員29名	
12.		30	指令車更新(スバルレガシー 1,820cc 4WD)	
平成2年	2.	20	小田町119番電話システム, 消防本部・署管理	
	2.	28	笠取山(1,560m)山頂無線中継所建設, 2周波単信方式, 移動局10W6台各町村 消防団指令車に設置(全国共通波, 県内共通波装備)	
	3.	1	消防職員1名採用, 実員30名	
	5.	17	第33回全国消防長会救急委員会, 上浮穴郡で開催	
	8.	1	救急車(トヨタアンビュランス 1,990cc 2B型)を(財)日本消防協会, (財)日本船舶振興会より寄贈	
	8.	1	中予地区広域消防相互応援協定締結	
	11.	25	第3回上浮穴郡広域消防訓練(大規模林野火災想定)を面河村等方で実施 11関係機関324名参加	
平成3年	3.	19～20	第3回昇任試験実施(消防司令補, 消防士長, 消防副士長)	
	3.	28	ポンプ車(三菱キャンター 4,120cc ディーゼル4WD A-1級ポンプ)を (社)日本損害保険協会より寄贈	
	3.	31	消防専用無線(携帯局5W), 3台増設	
	4.	1	消防職員定数条例一部改正(職員定数32名)	
	4.	1	職員2名採用, 実員32名	
	4.	1	昇任試験結果, 消防司令補1名, 消防士長3名, 消防副士長6名昇任	
	5.	25	ワードプロセッサ更新(東芝ワードプロセッサ JW-850AI)	
	7.	21	消防署美川分駐所, 県道拡張工事の為, 移転(上黒岩11番地)鉄骨2階建, 延面積141.4㎡	
	9.	30	消防職員1名退職, 実員31名	
平成4年	3.	31	消防職員1名退職, 実員30名(久万町役場転職)	
	4.	1	消防職員1名採用, 実員31名	
	10.	22	救急車(ニッサンキャラバン 1,950cc 2B型)を(株)愛媛日産モーターより寄贈	
平成5年	3.	31	三代消防長 平岡 新太郎氏退任	
	4.	1	四代消防長(兼任署長)城戸 武士氏就任	
	4.	1	消防職員1名採用, 実員31名	
	8.	17	(財)日本消防協会, (財)日本船舶振興会から緊急伝達資器材(拡声器携帯無線機5台)寄贈	
	10.	27	平成5年度愛媛県中予地区広域消防訓練(大規模林野火災防備訓練)を柳谷村 四国カルスト五段高原姫鶴団地一帯で実施, 16関係機関1団体409名が参加	
	12.	1	消防創立15周年記念誌を発行	
12.	24	消防職員定数条例の一部改正(職員定数38名)		

平成6年	1月	1日	消防職員1名採用, 実員32名
	2.	28	自治体消防45周年, 消防創立15周年記念PRビデオを制作
	3.	31	消防職員1名退職, 実員31名
	4.	1	消防職員2名採用, 実員33名
	5.	1	消防職員1名採用, 実員34名
	5.	9	パーソナルコンピューター更新(NEC PC-9821 AS2)
	5.	21	第1回救急Ⅱ課程修了者対象の救急救命士養成所派遣選考試験を実施
	7.	19	平成6年度中予地区消防長会開催(国民宿舎面河)
	8.	8～9.22	救急Ⅱ課程修了者病院研修(愛媛大学医学部附属病院)1人/4日(32時間)5名
	8.	17	(財)日本消防協会, (財)日本船舶振興会から防災車両(三菱リベロ 1,460cc 2WD)を寄贈
	9.	2～10.31	郡内五ヶ町村独り暮らしのお年寄り宅防火診断に併せて, お年寄り意識調査を実施
	平成7年	9.	9
9.		12～3.27	救急救命士養成科教育(大阪市消防学校救急教育センター)に消防職員1名入校
10.		22	中予地区消防職員体力練成大会開催(久万公園)
12.		5～1.30	救急Ⅱ課程修了者病院研修(済生会小田病院 久万町立病院)1人/3日 7名
3.		1	「防災ハンドブック」を作成し, 郡内全戸に配布する。
3.		14～15	第4回昇任試験実施(消防司令補, 消防士長, 消防副士長)
3.		24	第2回救急Ⅱ課程修了者対象の救急救命士養成所派遣選考試験実施
3.		26	消防職員1名, 第7回救急救命士国家試験受験
4.		1	消防職員3名採用, 実員37名 消防司令補3名, 消防士長3名, 消防副士長2名昇任
4.		27	消防職員1名, 救急救命士国家試験合格
5.		17	消防職員1名退職, 実員36名
5.		29～30	応急手当指導者講習会を開催(上浮穴産業文化会館・指導講習会修了証交付)
6.		1	高規格救急自動車導入検討会
6.		27	高規格救急自動車導入入札(7月10日)説明会
7.		16	第19回愛媛県消防操法上浮穴地区大会開催 (ポンプ車の部・2チーム 小型ポンプの部・14チーム)
7.		17～9.14	救急救命士就業前教育実施(職員1名 愛媛大学医学部附属病院救急部)
8.		10	地域防災計画見直し協議会開催
8.		21～9.14	救急Ⅱ課程修了者病院研修 (1人/4日(32時間) 職員4名 愛媛大学医学部附属病院)
9.		11～3.21	救急救命士養成科教育(大阪市消防学校救急教育センター)に消防職員1名入校
10.		3	消防本部・署事務所間仕切り壁撤去増設工事
10.	24～25	阪神・淡路大震災北淡町視察研修(上浮穴消防連合会)	
11.	28	上浮穴消防・警察捜索推進協議会結成	
12.	6	高規格救急自動車導入に伴う行政, 医療機関との検討会実施 (救急救命処置に関する覚書, 災害発生時における医療救護協定)	
12.	22	郡内3救急公示医療機関との「救急救命処置に関する覚書」締結	
12.	27	高規格救急自動車(トヨタ ハイメディック3,960cc フルタイム4WD AT)の愛称が, 一般公募の結果「やすらぎ」に決定, 命名式を挙行	
平成8年	1.	1	救急救命士及び高規格救急自動車運用開始
	2.	9	行政, 消防団, 消防本部合同連絡会開催
	3.	1	消防職員1名採用, 実員37名
	3.	8	ワードプロセッサ更新(TOSWORD JW-3280)
	3.	24	消防職員1名, 第9回救急救命士国家試験を受験

平成8年	3月	29日	上浮穴郡緊急援護物資共同備蓄完了
	4.	1	消防職員1名, 事務組合内異動, 実員36名 消防士長1名, 消防副士長1名昇任
	4.	11	上浮穴郡生活環境事務組合規約, 一部改正(共同処理する事務とし災害対策基本法第49条の規定による災害応急対策又は災害応急対策又は災害復旧に必要な物資及び資材の備蓄, 整備及び点検に関する事務を追加)
	4.	15	消防職員1名採用, 実員37名
	4.	19	救急Ⅱ課程仕様(防振ベット)救急自動車(愛称 しんらい) 愛媛県建設業協会上浮穴支部より寄贈
	4.	20	(株)SSERを通じ, モンゴル共和国に救急自動車1台を寄贈
	4.	25	消防職員1名, 救急救命士国家試験に合格(救急救命士実員 2名)
	6.	19	第3回救急救命士養成所派遣選考試験実施(救急Ⅱ課程修了者対象)
	7.	8	パーソナルコンピュータ導入(NEC PC-9821 V12)
	7.	19	(財)日本防火協会より, 防火広報車寄贈
	7.	29～9.27	救急救命士就業前教育(職員1名愛媛大学医学部附属病院救急部)
7.	29～9.27	救急救命士現任教育・救急Ⅱ課程修了者病院研修 (愛媛大学医学部附属病院 1人/4日(32時間) 職員6名)	
9.	11	集団救急救助火災防御高吾北消防合同訓練(柳谷村 秋葉トンネル)	
9.	17～3.21	救急救命士養成科教育(大阪市消防学校救急教育センター)に消防職員1名入校	
11.	24	第6回広域消防訓練を久万町総合防災訓練として実施 31関係機関約1,200名参加	
11.	28	平成8年第1回消防職員委員会開催	
平成9年	2.	13	行政, 消防団, 消防本部合同連絡会開催
	3.	23	消防職員1名, 第11回救急救命士国家試験受験
	4.	1	消防職員1名採用, 実員38名
	4.	24	救急救命士養成科(大阪市消防学校救急教育センター)修了職員及び新採職員 (熊本総合医療福祉学院救急救命士学科卒業)の2名, 救急救命士国家試験に合格 (救急救命士実員4名)
9.	16～3.31	救急救命士養成科教育(大阪消防学校救急教育センター)に, 消防職員1名入校	
12.	22	石鎚山, 頂上社の防火対象物消防用設備及び危険物施設に関する覚書締結 (周桑事務組合消防本部・西条市消防本部・上浮穴郡生活環境事務組合消防本部)	
平成10年	1.	20	第2回「防災まちづくり大賞」受賞, 防災ことづくり部門消防庁長官表彰「安心して安全に暮らせる地域づくりの方策について」
	2.	27	救急業務応援協定に関する覚書締結
	3.	5～7	自治体消防50周年記念式典(東京日本武道館)及び連合会視察研修
	3.	7	平成9年度消防庁長官表彰「竿頭綬」受賞
	3.	18～19	第5回昇任試験実施(消防司令補, 消防士長, 消防副士長)
	3.	25	携帯電話からの119番通報転送等に関する覚書締結 (松山市消防局・上浮穴郡生活環境事務組合消防本部)
	4.	1	小田, 美川救急自動車に衛星系自動車電話の導入
	4.	1	消防司令1名, 消防司令補3名, 消防士長6名, 消防副士長3名昇任 愛媛県消防防災航空隊職員1名派遣
	4.	2	衛星系防災行政無線運用開始
	4.	17	消防職員1名, 第13回救急救命士国家試験に合格(救急救命士実員5名)
	4.	27	第4回救急Ⅱ課程修了者対象の救急救命士養成所派遣選考試験を実施
	4.	28	消防職員1名病気死亡退職, 実員37名
	5.	25	第1回西条, 周桑, 上浮穴合同山岳救助訓練を実施
	7.	23	救急車心電図伝送装置, アナログ式からデジタル式へ移行
8.	1	消防職員1名採用, 実員38名	
8.	11	小田分駐所増築改装工事完了(増築面積15.12㎡, 延べ86.40㎡)	

平成10年	9月	16～3.31日	救急救命士養成科教育(大阪市消防学校救急教育センター)に消防職員1名入校
	11.	5	上浮穴消防本部・署創立20周年記念式典(B&G久万海洋センター)
	11.	5	中四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練
平成11年	4.	1	消防司令補1名昇任
	4.	22	消防職員1名, 救急救命士国家試験に合格(救急救命士実員 6名)
	4.	30	組合長職務代理者副組合長 池田泰典氏就任
	5.	31	三代組合長 玉水 寿清(久万町長)氏就任
	6.	19	上浮穴郡纏会発足
	8.	27	第1回面河川水系におけるキャンプ等安全対策会議
	9.	9	集団救急救助合同訓練(面河村) (株)SSERを通じ, モンゴル共和国に救急車2台目を寄贈
	11.	17～18	四国ブロック緊急援助隊訓練(砥部町)
	11.	20	西部四国山地協議会
	12.	14	平成11年度国庫補助事業により, 水槽付消防ポンプ自動車更新 (三菱ファイター KK-FL63HGX改 フルタイム4WD 水2t 8.85t)
平成12年	1.	1	Y2K問題
	1.	31	消防職員1名退職, 実員37名
	1.	31	第4回「防災まちづくり大賞」受賞, 小田PFWチーム防災ことづくり部門(財)消防科学総合センター理事長賞「自然と愛情あふれる福祉の町“おだ”をめざして」
	2.	6	中予地区広域消防訓練参加(松山市)ポンプ車1台
	3.	24	パーソナルコンピューター導入(デスクトップ型パソコン NEC PC-MA 46HCDDMBW5 3台, ノート型パソコン NEC PC-VA46HWTDAB68 3台)
	3.	25	小田, 美川分駐所, デジタル対応救急用伝送装置を救急車に装備
	3.	27	高規格救急自動車納車(トヨタグランビア GE-VCH38S フルタイム4WDAT) (社)日本損害保険協会より寄贈
			地方分権一括法により危険物規制及び消防設備士に関する事務が機関委任事務から, 自治事務となったことに伴い, 消防手数料条例の全部改正
	3.	31	消防職員1名退職, 実員36名
	4.	1	小田分駐所, 高規格救急車運用開始
	4.	21	消防職員1名, 救急救命士国家試験に合格(救急救命士実員 7名)
	7.	16	第22回愛媛県消防操法大会上浮穴大会(小型ポンプ14チーム, ポンプ車2チーム)
	7.	17	笠取山無線中継所塗装工事
	8.	18	全国消防救助技術大会出場(熊本市) ロープ渡過, 溺者救助
	8.	27	小田分駐所塗装・内装工事
	9.	17	職員採用試験
	9.	18	消防無線全国共通波2波増波
	10.	22	第7回広域消防訓練を美川村総合防災訓練として実施 30関係機関約1,000名参加
	10.	22～24	全国緊急消防援助隊合同訓練(東京)消火協力隊1隊5名参加
	10.	28	中予地区消防職員体力練成大会開催(久万公園)
平成13年	1.	16	小田町臼杵, 上田渡地区の消防報知専用電話(119番)の伊予消防転送システム廃止し, 直接受信方式となる。
	2.	20	美川分駐所, 美川村防災行政無線端末機設置
	3.	15～16	第6回昇任試験実施(消防司令補, 消防士長, 消防副士長)
	3.	24	芸予地震発生(マグニチュード 6.7 久万町 震度5強, 美川村震度5弱を記録)
	4.	1	消防職員1名事務組合内異動, 実員34名
	4.	1	消防職員4名採用, 実員38名
			消防司令補2名, 消防士長2名, 消防副士長5名昇任
			愛媛県広域災害救急医療情報システム運用開始
	4.	10	消防職員1名, 救急救命士国家試験に合格(救急救命士実員 8名)
	6.	11	第5回救急Ⅱ課程修了者対象の救急救命士養成所派遣選考試験を実施

平成13年	7月	16日	「市町村地域防災計画」(震災対策編)作成支援に関する調査検討委員会に 消防長就任
	11.	9	全国消防広報コンクール入選(広報紙部門)
	11.	7	愛媛県消防長会消防職員意見発表会に1名参加
	12.	4	救急自動車(トヨタグランビア GE-VCH28S フルタイム4WD AT)全国共済農業協 同組合連合会(JA愛媛)より寄贈(高規格仕様)
平成14年	4.	1	消防司令補1名, 消防士長1名, 消防副士長1名昇任 愛媛県消防防災航空隊職員1名派遣
	7.	28	第23回愛媛県消防操法大会上浮穴大会 (小型ポンプ14チーム, ポンプ車2チーム)
	11.	30	地上系防災行政無線停止(平成15年6月30日迄)
平成15年	1.	21	気象観測機器(風向風速計 KVS510型)更新
	2.	3	消防本部下水道に接続(屋外排水工事・トイレ改造工事)
	3.	3	水槽付消防ポンプ自動車(日野レンジャー KK-GX1JGDA改 フルタイム4WD 積載水1.5t 9.585t)(社)日本損害保険協会より寄贈
	3.	17	小田分駐所外壁等修繕工事
	3.	20	第6回救急救命士養成所派遣選考試験を実施
	3.	28	消防本部・署消防車両用車庫屋根工事, 消防・防災分野における高度情報化 基盤の整備(ファイルサーバ ノートパソコン12台LANネットワーク構築)
	4.	1	四代消防署長 小倉 一幸氏就任 消防司令2名, 消防司令補1名昇任
	4.	17	消防職員1名, 救急救命士国家試験に合格(救急救命士実員 9名)
	8.	20	救助工作車導入(三菱KK-FG73ED6WF2 四輪駆動)
	8.	28	全国消防救助技術大会出場(仙台市)ロープ渡過
	9.	1	愛媛県総合防災訓練(久万公園)
平成16年	3.	16～17	第7回昇任試験実施(消防司令補, 消防士長, 消防副士長)
	4.	1	消防司令補4名, 消防士長5名, 消防副士長4名昇任
	4.	21	消防職員1名, 救急救命士国家試験に合格(救急救命士実員10名)
	7.	18	第24回愛媛県消防操法上浮穴地区大会 (小型ポンプ14チーム, ポンプ車2チーム)
	8.	1	久万高原町、旧久万町、面河村、美川村、柳谷村1町3村合併
	8.	26	全国消防救助技術大会出場(兵庫県)ロープ渡過
	9.	5	第23回愛媛県消防操法大会
	11.	4	平成16年度国庫補助事業により、高規格救急自動車導入 (日産 エルグランド TC-FPWGE50)
	12.	31	上浮穴郡生活環境事務組合を解散する (町村合併により大洲地区消防へ職員6名移籍)
平成17年	1.	1	久万高原町消防本部・署として、業務を継続する。 (本署1・美川支署1) 三部・二部制併用勤務 久万高原町役場より消防総務係へ1名異動
	1.	16	職員採用試験
	3.	3	○心肺蘇生法人形(JAMY-III RECO) 一式購入
	3.	5	○携帯用GPS(eTrex) 4基購入
	3.	8	○消防8号 査察広報指導車導入(日産 X-TRAIL UA-NT30) ○複合ガス測定器(GX-2003) 2台購入
	3.	10	○消防1号 消防指令車更新(トヨタ プラド CBA-TRJ120W) ○久万高原町消防本部服制整備事業 ○消防ホース(ライトダイヤα) 50本購入
	3.	15	○エアータント(SAT-453G) 購入
	3.	15	○三交替制回転式ロッカー 4台購入 ※(○印は平成16年度市町村合併推進体制整備費補助事業)
	3.	31	四代消防長 城戸 武士氏退任・退職

平成17年	4月	1日	五代消防長 山本 進氏就任 消防吏員6名(役場一般行政職3名)を消防吏員として採用 久万高原町役場より消防団係へ2名異動, 実員41名 消防司令長1名, 消防司令6名, 消防司令補2名昇任
	4.	23	消防職員1名, 救急救命士国家試験に合格(救急救命士実員10名)
	6.	17	◎ 消防本部・署外部塗装及び屋上防水工事
	8.	23	第7回救急救命士養成所派遣選考試験を実施
	8.	25	全国消防救助技術大会出場(埼玉県)ロープ登はん
	8.	29	◎ 久万高原町美川支所改造工事
	9.	18	職員採用試験
	9.	26	◎ 消防署美川支署消防無線移設工事
	10.	1	美川支署が役場美川支所内に移転 本署・美川支署共に三部制勤務となる。
	10.	11	◎ 携帯119直接受信等電話設備整備事業
	10.	20	第17回全国女性消防操法大会(横浜:美川地区古味女性消防隊)
	10.	26	◎ 携帯型消防用無線電話装置整備事業 CP-5068T 10台購入
	11.	14	◎ 重油タンク据付・給油ボイラ取替工事
	12.	17	◎ 呼吸用保護具整備事業 バイオパック60 4基購入
	12.	22	◎ 画像伝送装置整備事業 PW-2100
平成18年	3.	2	◎ 林野火災対策用資機材整備事業 小型・高圧送水装置(WICK-250TM)
	3.	14	◎ 美川支署緊急出動表示盤設置工事 SSV442WV
	3.	17	◎ 消防本部庁舎空調設備工事 ※ (◎ 印は平成17年度市町村合併推進体制整備費補助事業)
	3.	31	消防吏員1名退職, 団係1名異動, 実員38名
	4.	1	消防吏員2名採用, 実員40名
	4.	23	消防職員1名, 救急救命士国家試験に合格(救急救命士実員11名)
	7.	23	第1回 久万高原町消防操法大会 (小型ポンプ10チーム, ポンプ車1チーム)
	8.	30	消防11号 訓練指導車(マツダ タイタン)を宝くじ協会から寄贈
	9.	1	消防10号 資器材運搬車(スバル サンバー)を柳谷方面隊から移管
	9.	10	第24回愛媛県消防操法大会
	9.	17	職員採用試験
	12.	7	自動体外式除細動器 10器購入
平成19年	1.	1	消防副士長1名昇任
	1.	19	AEDトレーナー2 2台, CPR訓練人形 1体購入
	3.	31	消防吏員1名退職, 実員39名
	4.	1	消防吏員2名採用, 実員41名 消防司令補1名, 消防士長3名, 消防副士長2名昇任 愛媛県消防防災航空隊職員1名派遣(3年間), 実員40名
	4.	20	消防職員1名, 救急救命士国家試験に合格(救急救命士実員12名)
	8.	21	全国優良消防職員表彰(東京都)
	8.	22	全国消防救助技術大会出場(東京都)ロープブリッジ渡過
	9.	16	職員採用試験
平成20年	1.	21	救急2号, 高規格救急車(トヨタハイエース) を全国共済農業共同組合連合会 愛媛県本部から寄贈
	3.	31	五代消防長 山本 進氏退任・退職, 消防吏員1名勸奨退職, 実員39名
	4.	1	六代消防長 小倉 一幸氏就任 五代消防署長 織川 真二氏就任 消防吏員2名採用, 実員41名 消防副士長1名昇任
	4.	25	消防職員1名, 救急救命士国家試験に合格(救急救命士実員13名)

平成20年	6月	26日	流水救助資機材購入
	6.	29	第2回 久万高原町消防操法大会 (小型ポンプ10チーム, ポンプ車1チーム)
	7.	27	第25回愛媛県消防操法大会
	8.	29	全国消防救助技術大会出場(福岡県)はしご登はん
平成21年	1.	14～15	第8回昇任試験実施(消防司令, 消防司令補, 消防士長)
	1.	22	簡易画像探索機購入
	2.	26	第8回救急Ⅱ課程修了者対象の救急救命士養成所派遣選考試験を実施
	3.	19	久万高原町職員定数条例の一部改正(消防職員定数45人)
	3.	31	消防職員1名退職, 実員40名
	4.	1	消防司令2名, 消防司令補5名, 消防士長3名昇任
	4.	1～3.31	住宅用火災警報器購入補助事業(地域活性化・生活対策臨時交付金)
	5.	1	久万高原町役場より消防総務係へ1名, 消防団係へ1名異動, 実員42名
	6.	30	大型油圧救助器具一式を購入
	7.	31	簡易型携帯電話119番位置情報通知システム運用開始
平成22年	9.	20	自動体外式除細動器12台更新整備
	10.	7	衛星自動車電話2台更新整備
	10.	30	消防2号 査察指導車(トヨタ エスティマハイブリッド)を配備
	1.	20	少年消防クラブ消防防災実践活動モデル事業(柳谷中学校)
	4.	1	消防司令1名, 消防司令補2名, 消防副士長4名昇任 消防士長2名昇任
	6.	18	消防5号 小型動力ポンプ付水槽車(日野 レンジャー)を配備
	6.	20	第3回 久万高原町消防操法大会 (小型ポンプ11チーム, ポンプ車1チーム)
	7.	25	第26回愛媛県消防操法大会
	9.	21	職員採用試験
	10.	1	消防団係1名異動, 実員43名
平成23年	12.	9	少年消防クラブ消防防災実践活動モデル事業(久万中学校, 美川中学校)
	12.	19	第1回 全町一斉自主防災訓練
	3.	14	東日本大震災の被災地へ緊急消防援助隊派遣(8名)
	3.	31	消防吏員2名退職, 実員41名
	4.	1	消防吏員2名採用, 実員43名
	4.	17	国拠点施設及び久万2-2車庫・詰所落成式
	4.	25	消防職員1名, 救急救命士国家試験に合格(救急救命士実員14名)
	6.	1	消防吏員1名病気死亡退職, 実員42名
	9.	18	職員採用試験
	9.	30	空気呼吸器(9リットルボンベ), 2基導入
平成24年	10.	1	消防士長1名昇任
	11.	9	総務大臣表彰(東日本大震災緊急消防援助隊派遣)
	3.	11	第2回 全町一斉自主防災訓練
	3.	12	救急3号, 高規格救急自動車(トヨタハイエース)を配備
	3.	17	高規格自動車専用三坂道路開通
	3.	31	消防吏員1名退職, 実員41名
	4.	1	消防吏員2名採用, 実員43名 六代消防署長 平岡 幸夫氏就任 消防司令1名昇任
	4.	10	消防職員1名, 救急救命士国家試験に合格(救急救命士実員15名)
	6.	24	第4回 久万高原町消防操法大会 (小型ポンプ11チーム, ポンプ車1チーム)
	7.	29	第27回愛媛県消防操法大会

平成24年	9月 1日	～11.30日	臨時ヘリポート舗装整備 4箇所(父二峰・中津・川成・中久保)
	9.	16	職員採用試験
平成25年	1.	1	消防副士長2名昇任
	3.	31	消防吏員2名退職, 実員41名
	4.	1	消防吏員4名採用, 実員45名 七代消防長 織川 真二氏就任 消防司令1名, 消防司令補1名昇任 愛媛県消防防災航空隊職員1名派遣(3年間), 実員44名
	6.	29	～10. 31 臨時ヘリポート舗装整備 2箇所(日野浦・黒藤川)
	8.	22	全国消防救助技術大会(広島県)ほふく救助
	9.	25	第9回 救急救命士派遣選考試験を実施
平成26年	1.	21	～23 第9回昇任試験実施(消防司令, 消防司令補, 消防副士長)
	2.	14	自動体外式除細動器12台更新整備
	3.	4	衛星自動車電話2台更新整備
	3.	20	消防救急デジタル無線整備工事完成(緊急消防援助隊設備整備費補助) (基地局2, 多重局2, 卓上型2, 車載型12, 可搬型2, 携帯型29)
	4.	1	消防司令1名, 消防司令補2名, 消防副士長4名昇任
	6.	22	第5回 久万高原町消防操法大会(小型ポンプ10チーム, ポンプ車1チーム)
	6.	26	新消防庁舎建設用地購入
	10.	31	ポータブルガス検知警報器1台導入
	12.	3	空気呼吸器2基導入
平成27年	1.	19	消防職員1名退職, 実員44名
	1.	22	第10回昇任試験実施(消防司令, 消防司令補)
	1.	26	消防7号車, 資機材搬送車(スズキ エブリイワゴン)を配備
	2.	5	自動体外式除細動器6台更新整備
	2.	23	電動ハンマドリル1台導入
	3.	2	減圧式固定具一式導入
	3.	3	既存建物解体及び造成工事入札
	3.	4	第10回 救急救命士派遣選考試験を実施
	4.	1	消防司令補1名, 消防副士長1名昇任
	7.	27	消防庁舎新築工事入札
	7.	31	造成工事完了
	8.	21	消防庁舎安全祈願祭
	9.	8	緊急電話受付装置入札(消防庁舎整備事業)
	9.	8	気象観測装置入札(消防庁舎整備事業)
	9.	20	職員採用試験
	12.	22	救助訓練用安全マット購入
平成28年	1.	12	第11回昇任試験実施(消防士長, 消防副士長)
	1.	28	新庁舎用家具一式入札
	1.	28	トレーニング器具入札
	3.	2	自動体外式除細動器1台更新整備
	3.	9	平成27年度緊急消防援助隊設備整備費補助事業により、高規格救急自動車導入 (日産 パラメディック)
	3.	9	エアウェイスコープ導入
	3.	31	消防吏員1名, 救急救命士国家試験に合格(救急救命士実員15名)
	3.	31	消防吏員2名退職, 消防職員1名異動, 実員41名
	4.	1	消防吏員3名採用, 実員44名
	4.	1	消防司令2名, 消防司令補2名, 消防副士長1名昇任
	6.	4	～8. 31 臨時ヘリポート舗装整備(相ノ峰地区)
	6.	14	消防新庁舎竣工

平成28年	6月	19日	第6回久万高原町消防操法大会（小型ポンプ10チーム、ポンプ車1チーム）
	6.	23	消防新庁舎落成・開所式（運用開始）
	6.	28	笠取山山頂無線中継所廃止
	10.	21	パーティカルストレッチャー購入(1台)
	11.	25	(公)日本消防協会より防災活動車(三菱シブレット4WD)を寄贈
平成29年	12.	27	自動体外式除細動器2台更新(柳谷小学校、若山集会所)
	2.	1	ドクターヘリ運航開始（愛媛県）
	3.	7	久万高原町消防団 日本消防協会特別表彰「まとい」を受章
	3.	31	救急救命士国家試験に合格(救急救命士実員16名)
	4.	1	消防団係1名異動，消防吏員役場危機管理室に1名出向，実員43名
	4.	1	消防司令1名，消防司令補2名，消防士長4名，消防副士長3名昇任
	5.	27	「まとい」受賞記念祝賀会
	8.	28	久万高原町消防職員意見発表会(署内選考)
	9.	17	職員採用試験
	平成30年	1.	19～22
3.		31	消防吏員2名退職，実員41名
3.		31	救急救命士国家試験に合格(救急救命士実員17名)
4.		1	消防吏員3名採用，実員44名
4.		1	七代消防署長 高野 貢氏就任
4.		1	消防司令1名，消防司令補2名，消防士長5名，消防副士長3名昇任
11.		8	消防吏員1名退職，実員43名
平成31年	3.	4	第23回防災まちづくり大賞 消防庁長官賞受賞
	3.	31	消防吏員3名退職，実員40名
	4.	1	消防吏員1名採用，実員41名
	4.	1	八代消防長 高野 貢氏就任
	4.	1	八代消防署長 大野 秋義氏就任
	4.	1	消防司令1名，消防司令補1名，消防士長1名，消防副士長1名昇任
	4.	1	消防団係1名異動，消防吏員役場危機管理室に1名出向，実員41名
	4.	1	愛媛県消防防災航空隊職員1名派遣（3年間），実員40名

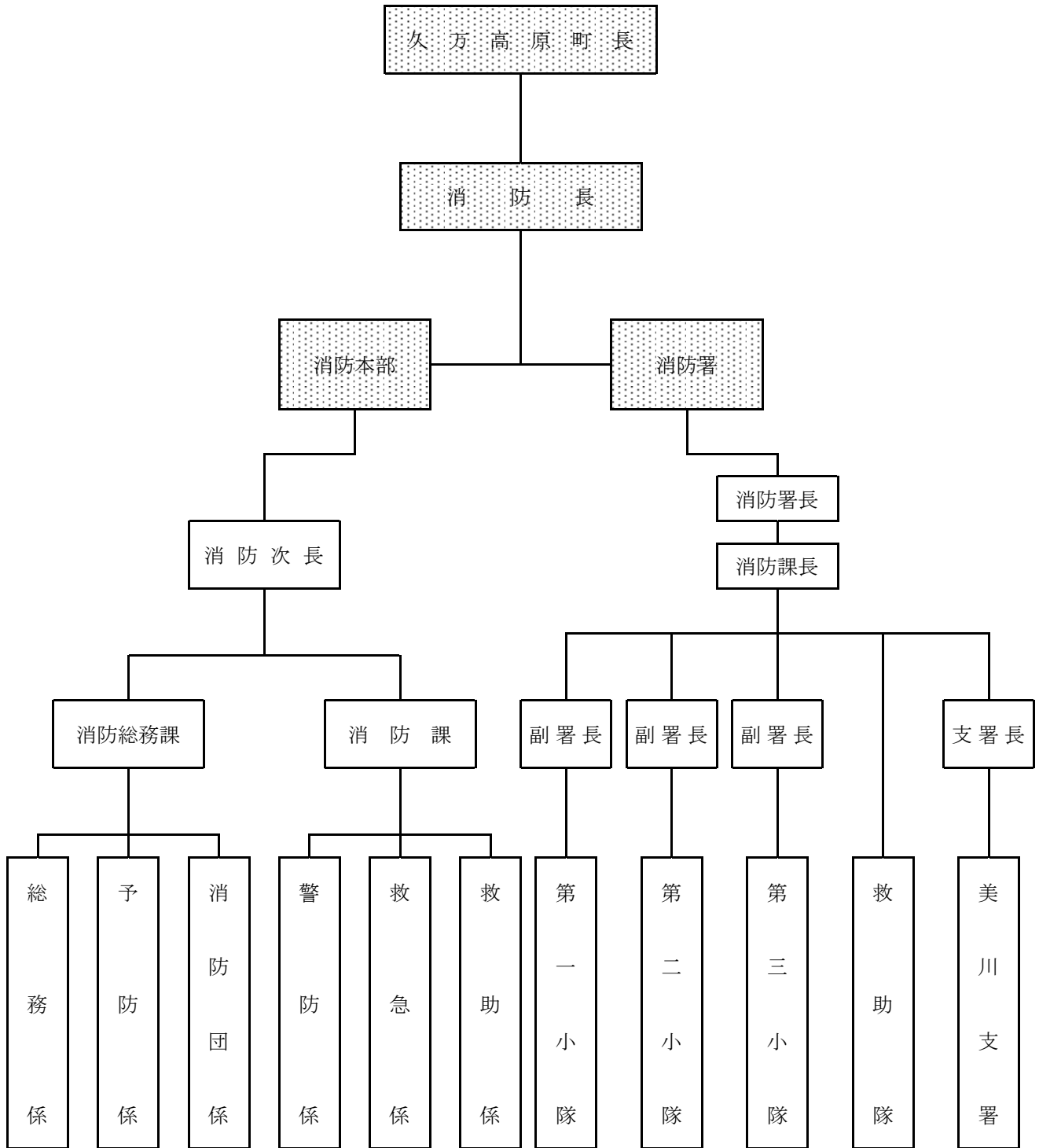
消防本部・署所の所在地および庁舎等の現況

(平成31年4月1日現在)

名 称	所 在 地	管 轄 区 域
久万高原町消防本部・消防署	庁舎・車庫棟	上浮穴郡久万高原町下野尻甲33番地
	建 築 構 造	延べ面積
	鉄筋コンクリート・3階建	1,821.30㎡
	訓練主塔	鉄筋コンクリート・3階建
	122.50㎡	(久万地区)
	車庫棟	鉄骨造・1階建
	148.14㎡	(面河地区)
	土嚢・砂置棟	鉄骨造・1階建
22.75㎡	(美川地区)	
特定屋内貯蔵所	鉄骨造・1階建	
18.11㎡	(美川地区)	
自転車 プロパン置場	そ の 他	
13.37㎡	(美川地区)	
合計	敷地面積 9,839.42㎡ 建築面積 1,307.51㎡ 延床面積 2,146.17㎡	(柳谷地区)
消 防 署 美 川 支 署	上浮穴郡久万高原町上黒岩2923番地1	
建 築 構 造	延べ面積	
鉄筋コンクリート・4階建 (地下室・1階の一部)	2462.91㎡ (161.05㎡)	
消 防 署 無 線 中 継 所	上浮穴郡久万高原町日野浦4368番地 (大川嶺基地局) 上浮穴郡久万高原町柳井川3537番地 (柳谷基地局) 上浮穴郡久万高原町久万188番地 (久万中継局)	
建 築 構 造	延べ面積	
鉄筋コンクリート造 (大川嶺基地局) 軽量鉄骨造 (柳谷基地局) 軽量鉄骨造 (久万中継局)	30.25㎡ 20.00㎡ 12.00㎡	
久万高原町緊急援護物資	上浮穴郡久万高原町入野1850番地2	
「道の駅」 防災拠点施設	建 築 構 造	延べ面積
鉄筋コンクリート造・2階建	238.00㎡	
美川支署内	上浮穴郡久万高原町上黒岩2923番地1	
建 築 構 造	延べ面積	
鉄筋コンクリート (地下駐車場内)	15.00㎡	

消防本部の組織

[組織]



久万高原町長・副町長・議会議員等名簿

(平成31年6月1日現在)

職名	氏名
久万高原町長	河野忠康
副町長	高山稔明

職名	氏名	職名	氏名
久万高原町議会議長	日野明勅	久万高原町議会副議長	中川武志
久万高原町議会議員 1	高橋末廣	久万高原町議会議員 2	岡部史夫
〃 議員 3	天野辰晴	〃 議員 4	田村昭子
〃 議員 5	川崎勝弘	〃 議員 6	熊代祐己
〃 議員 7	玉井春鬼	〃 議員 8	瀧野志
〃 議員 9	大原貴明	〃 議員10	中野克仁
〃 議員11	—	〃 議員12	中川武志
〃 議員13	日野明勅		
代表監査委員	菅洋志	議会選出監査委員	玉井春鬼

歴代組合長・町長

年代	氏名	在任期間	在任年数
初代	日野泰	自昭和48年04月01日 至昭和50年04月29日	2年
2代	河野修	自昭和50年05月16日 至平成11年04月29日	24年
3代	玉水寿清	自平成11年06月01日 至平成20年09月11日	10年
4代	高野宗城	自平成20年09月12日 至平成28年09月11日	9年
5代	河野忠康	自平成28年09月12日 至現在に至る	

歴代消防長

年代	氏名	在任期間	在任年数
初代	山下岩男	自昭和53年04月01日 至昭和58年03月31日	5年
2代	中嶋徹	自昭和58年04月01日 至平成63年03月31日	5年
3代	平岡新太郎	自昭和63年04月01日 至平成05年03月31日	5年
4代	城戸武士	自平成05年04月01日 至平成17年03月31日	12年
5代	山本進	自平成17年04月01日 至平成20年03月31日	3年
6代	小倉一幸	自平成20年04月01日 至平成25年03月31日	5年
7代	織川真二	自平成25年04月01日 至平成31年03月31日	6年
8代	高野貢	自平成31年04月01日 至現在に至る	

歴代消防署長

年代	氏名	在任期間	在任年数
初代	山下岩男	自昭和53年04月01日 至昭和58年03月31日	5年
2代	中嶋徹	自昭和58年04月01日 至平成63年03月31日	5年
3代	城戸武士	自昭和63年04月01日 至平成15年03月31日	15年
4代	小倉一幸	自平成15年04月01日 至平成20年03月31日	5年
5代	織川真二	自平成20年04月01日 至平成24年03月31日	4年
6代	平岡幸夫	自平成24年04月01日 至平成30年03月31日	6年
7代	高野貢	自平成30年04月01日 至平成31年03月31日	1年
8代	大野秋義	自平成31年04月01日 至現在に至る	

消防本部・署の事務分掌

〔消防本部〕

消防総務課

総務係

- (1) 消防の政策に係る立案及び調整に関する事。
- (2) 公印の管守に関する事。
- (3) 文書の収発に関する事。
- (4) 切手及びはがきの受払いに関する事。
- (5) 消防予算執行及び編成並びに財務一般に関する事。
- (6) 消防財産の管理及び処分に関する事。
- (7) 事務改善及び能率向上に関する事。
- (8) 職員の人事管理及び服務規律に関する事。
- (9) 職員及び団員の教養及び研修に関する事。
- (10) 職員の福利厚生及び保健衛生等に関する事。
- (11) 職員の給貸与品に関する事。
- (12) 職員の給与、進退、身分及び諸手当等に関する事。
- (13) 職員の出張に関する事。
- (14) 職員の時間外勤務に関する事。
- (15) 監察に関する事。
- (16) 消防関係条例、規則、規程等の制定、改廃に関する事。
- (17) 消防表彰に関する事。
- (18) 消防職員委員会に関する事。
- (19) 職員の公務災害補償に関する事。
- (20) 前各号に掲げるもののほか、他の課及び他の係の所管に属しない事。

予防係(予防係)

- (1) 火災予防に関する事。
- (2) 火災予防査察に関する事。
- (3) 住宅防火対策に関する事。
- (4) 建築申請に関する同意等に関する事。
- (5) 高圧ガス保安法(昭和26年法律第204号)第62条第1項に規定する立入検査に関する事。
- (6) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)第38条の3に規定する保安等に関する事。
- (7) 火薬類の譲渡、譲受、消費の許可及び保安教育計画の許可並びに火薬類取締法(昭和25年法律 第149号)に規定する保安等に関する事。
- (8) 消防用設備等の設置、検査及び指導に関する事。
- (9) 防火管理者の講習及び指導に関する事。
- (10) 防火安全に関する意見書に関する事。
- (11) 防火対象物の強制執行及び補償に関する事。
- (12) 自衛消防組織の育成指導に関する事。
- (13) 消防に関する証明に関する事。
- (14) 前各号に掲げるもののほか予防(予防)事務に関する事。

予防係(クラブ・広報係)

- (1) 幼年、少年及び女性防火クラブ等に関する事。
- (2) 自主防災組織の育成指導に関する事。
- (3) 防火委員会の運営に関する事。
- (4) 各クラブの制服及び備品等の維持管理に関する事。
- (5) 各種消防広報活動等に関する事。
- (6) 各種写真及びVTR等の保管管理に関する事。
- (7) 防火クラブ及び防火協力団体等の育成指導に関する事。
- (8) 前各号に掲げるもののほか予防(クラブ・広報)事務に関する事。

予防係(原調係)

- (1) 火災の原因及び損害調査(その他の災害による損害を含む。)に関すること。
- (2) 火災統計に関すること。
- (3) 火災報告に関すること。
- (4) 原因調査結果の活用に関すること。
- (5) 火災原因調査用具等の維持管理に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか予防(原調)事務に関すること。

予防係(危険物係)

- (1) 危険物の審査, 許認可, 検査, 届出等に関すること。
- (2) 危険物関係手数料に関すること。
- (3) 危険物取扱者及び保安監督者の指導に関すること。
- (4) 危険物施設の予防査察に関すること。
- (5) 久万高原町火災予防条例(平成17年久万高原町条例第9号)第46条に規定する少量危険物等の貯蔵, 取扱いの届出に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか予防(危険物)事務に関すること。

消防団係

- (1) 消防団員の任免, 服務, 表彰その他身分に関すること。
- (2) 消防団員の報酬等の支給に関すること。
- (3) 消防団員の被服等の貸与に関すること。
- (4) 消防団員の諸行事に関すること。
- (5) 愛媛県消防団員等災害補償退職報償金組合に関すること。
- (6) 消防団施設及び機械器具の維持管理に関すること。
- (7) 消防協会等に関すること。
- (8) 自主防災組織の指導に関すること。
- (9) 消防団員の福利厚生に関すること。
- (10) 消防操法等の改正に関すること。
- (11) 消防操法大会及び審査等に関すること。
- (12) 消防団に対する訓練礼式及び各種操法等の指導に関すること。
- (13) 消防団との連絡調整及び協調に関すること。
- (14) 森林火入れに関すること。
- (15) 前各号に掲げるもののほか消防団事務に関すること。

消防課

警防係(警防係)

- (1) 警防計画及び消防計画等に関すること。
- (2) 水火災の警戒防御に関すること。
- (3) 消防水利及び施設の整備計画及び消防地理水利台帳の整備保管に関すること。
- (4) 消防対象物の強制執行及び補償に関すること。
- (5) 消防隊の出張警備に関すること。
- (6) 消防機械器具の操作技術の指導及び向上に関すること。
- (7) 消防隊の運用及び防御活動等の計画, 研究, 指導に関すること。
- (8) 緊急消防援助隊及び消防相互応援協定に関すること。
- (9) 開発行為の消防用水利等の協議に関すること。
- (10) 消防隊の運用及び防御活動等の計画, 研究, 指導に関すること。
- (11) 消防法(昭和23年法律第186号)第9条の2及び久万高原町火災予防条例第44条及び第45条の届出に関すること。
- (12) 消防団の訓練に関すること。
- (13) 消防水利に関すること。
- (14) 消防隊の運用及び防御活動等の計画, 研究, 指導に関すること。
- (15) 前各号に掲げるもののほか警防係(警防係)に関すること。

警防係(通信係)

- (1) 水火災, その他災害, 救急及び救助の事故の受発信に関する事。
- (2) 出動指令に関する事。
- (3) 防災行政無線の維持管理, 運用に関する事。
- (4) 気象情報等の周知と気象統計及び気象台との連絡に関する事。
- (5) 気象観測機器等の維持管理, 運用に関する事。
- (6) 通信統計及び総合通信局等への報告に関する事。
- (7) 受付, 電話等の対応の執務と指導に関する事。
- (8) 通信司令室の勤務と管理に関する事。
- (9) 消防団への無線運用指導に関する事。
- (10) 有線及び無線電話施設等の整備及び維持管理に関する事。
- (11) 各種届出, 気象通知等の把握と署内通知に関する事。
- (12) 消防通信及び災害通信に関する事。
- (13) 火災の警報, 消防信号及び災害情報に関する事。
- (14) 前各号に掲げるもののほか警防係(通信係)に関する事。

警防係(機械係)

- (1) 機械器具等の整備, 改善及び維持管理に関する事。
- (2) 消防用燃料及びその他油脂等の保管に関する事。
- (3) 自動車等の整備技術の指導及び育成に関する事。
- (4) 車両台帳及び車歴台帳等の管理に関する事。
- (5) 前各号に掲げるもののほか警防係(機械係)に関する事。

救急係

- (1) 救急業務に関する事。
- (2) 救急車及び救急資機材の維持管理及び改善に関する事。
- (3) 隊員の救急知識, 技術の育成指導に関する事。
- (4) 消防団及び住民等への応急手当の普及指導に関する事。
- (5) 救急広報活動に関する事。
- (6) 救急医療機関等との連絡協調に関する事。
- (7) 救急統計に関する事。
- (8) 緊急消防援助隊及び消防相互応援協定に関する事。
- (9) 救急隊員の教育計画に関する事。
- (10) 応急処置範囲の拡大等に伴う資機材の整備に関する事。
- (11) 高規格救急自動車及び救急救命士の運用, 指導, 育成及び研究に関する事。
- (12) 救急隊員の研修及び実習に関する事。
- (13) 救急隊員の感染防止対策及び消毒等に関する事。
- (14) 救急医療対策協議会に関する事。
- (15) 救急搬送証明に関する事。
- (16) 前各号に掲げるもののほか救急事務に関する事。

救助係

- (1) 救助技術の指導に関する事。
- (2) 救助訓練施設及び救助資機材等の運用改善に関する事。
- (3) 救助資機材の整備及び維持管理に関する事。
- (4) 職員の体力錬成に関する事。
- (5) 救助統計に関する事。
- (6) 救助業務に関する事。
- (7) 消防クラブ等の育成指導に関する事。
- (8) 消防防災ヘリの運用に関する事。
- (9) 山岳警備救助等に関する事。
- (10) 前各号に掲げるもののほか救助事務に関する事。

〔消防署〕

消防署の事務分掌

- (1) 水火災又は地震等の警戒, 警備, 防御, 鎮圧活動に関する事。
- (2) 救急, 救助活動に関する事。
- (3) 通信司令室勤務に関する事。
- (4) 車両及び消防機械器具等の点検整備に関する事。
- (5) 避難訓練その他訓練指導に関する事。
- (6) 公印の保管, 庁舎の管理及び日直勤務に関する事。
- (7) 気象観測, 災害情報の収集及び消防活動の情報支援に関する事。
- (8) 警防調査, 予防査察及び防火指導等に関する事。
- (9) 危険物施設の立入検査等に関する事。
- (10) 火災原因及び損害調査の実施に関する事。
- (11) 消防地理水利等の調査に関する事。
- (12) 消防団との連絡協調に関する事。
- (13) 受付勤務の実施に関する事。
- (14) 保健衛生及び福利厚生に関する事。
- (15) 火災予防及び広報活動に関する事。
- (16) 訓練の実施に関する事。
- (17) 隊員の勤務に関する事。
- (18) 非常招集に関する事。
- (19) 隊員の技能管理及び体力錬成に関する事。
- (20) その他消防署の業務に関する事。

支署の事務分掌

- (1) 水火災又は地震等の警戒, 警備, 防御, 鎮圧活動に関する事。
- (2) 救急, 救助活動に関する事。
- (3) 車両及び消防機械器具等の点検整備に関する事。
- (4) 避難訓練その他訓練指導に関する事。
- (5) 警防調査, 予防査察及び防火指導等に関する事。
- (6) 危険物施設の立入検査等に関する事。
- (7) 火災原因及び損害調査の実施に関する事。
- (8) 消防地理水利等の調査に関する事。
- (9) 消防団との連絡協調に関する事。
- (10) 受付勤務の実施に関する事。
- (11) 保健衛生及び福利厚生に関する事。
- (12) 火災予防及び広報活動に関する事。
- (13) 訓練の実施に関する事。
- (14) 隊員の勤務に関する事。
- (15) 本署との連絡協調に関する事。
- (16) その他支署業務に関する事。

消防本部重点施策

近年、災害や事故に対する不断の備えの重要性はますます増大し、住民の消防に寄せる期待は極めて大きなものがあります。消防行政において第一時的な役割を担っている地方公共団体は安全で安心な地域社会づくりに向け、消防防災行政の推進及びその体制の充実強化を図っています。

また、久万高原町は高齢者が47.5%を占める超高齢化社会の進展した町であり、このことを踏まえ職員一人ひとりが社会と住民のニーズに応え得る消防行政に邁進し、毎日が安全であるという確かな手応えが得られるよう職務に精励しなければなりません。

これらの背景を踏まえ、平成30年度においては下記の事項を重点施策として掲げ、「安全で安心して暮らせる地域づくり」と「連携と実践による福祉消防」に努めました。

重点施策	主な推進策
1 消防防災体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災対策の充実強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防災計画の整備 ● 消防体制の充実強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 警防計画の充実と整備 ・ 緊急消防援助隊合同訓練及び隣接消防との連携訓練 ・ 訓練及び災害活動における安全管理の徹底 ・ 防災・Drヘリコプターとの連携体制の確立 ● 救急業務の高度化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急救命士の養成及び職員教育研修 ・ 指導救命士による救急救命士の育成 ・ 病院実習体制の確立 ・ 車両・資器材の更新計画の整備
2 地域の防災対応能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の防災能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者に対する安全対策の推進 ・ 防災ボランティアの育成と自主防災組織の育成強化 ・ 消防団を中核とした地域防災力の充実強化 ・ 地域単位の防災訓練の実施と検証 ・ 事業所等の防災体制の充実強化 ● 住民の防災意識と行動力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅防災対策の推進 ・ 災害時要援護者対策 ・ AED普及に伴う救命講習の推進 ・ 住警器の設置及び維持管理の徹底
3 将来に向けた組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 消防職員の資質の向上対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防職員教養計画の整備 ・ ICT等の情報化社会に対応できる資質の向上 ・ 業務に関連する資格取得の推進 ・ 各種事務処理及び計画等の迅速処理と期日厳守 ● 消防の広域化等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防の広域化へ向けての調査研究 ・ 消防機関間の柔軟な連携・協力の推進 ・ 女性消防吏員の職域拡大に関する検討 ・ 新庁舎施設を活用した各種訓練の励行

消防力の現況

(平成31年4月1日現在)

区 分		基準数	現有数	充足率(%)
施設	消 防 署 所	2	2	100
消 防 車 等	指 揮 車	1	1	100
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	2	100
	救 急 自 動 車 (非 常 用 1 台 除 く)	3	3	100
	救 助 工 作 車	1	1	100
	そ の 他 特 殊 車 両	5	5	100
	合 計	12	12	100
人 員	指 揮 隊 員	10	4	40
	消 防 隊 員	27	13	48
	救 急 隊 員	20	18	90
	救 助 隊 員	17	2	12
	警 防 要 員 小 計	74	37	50
	予 防 要 員	5 (隔 勤 者 1 兼 務)	1(1)	20
	通 信 員	3	1	33
	庶 務 の 処 理 等 の 人 員	6	5	83
	小 計	14	7(1)	50
	合 計	88	43	49
水 利	消 防 水 利 数	1455	855	59

※基準数は平成年27度消防力の整備指針による。

消防職員

消防職員は、住民8,229人の期待に応えるべく、防災の担い手として、住民の命と暮らしを守り、安全な地域づくりに向けて、災害の予防、災害の防御、救急救助の消防業務に尽力していきます。

現在の職員には、災害の複雑多様化、高度情報化の進展をはじめとする時代の変化に対応し、また、住民に密着した防災行政を適切に遂行できる防災行政職員としての手腕が求められます。

(平成31年4月1日現在)

所属		階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
消防本部	消防長		1	—	—	—	—	—	—	1
	消防次長		—	1	—	—	—	—	—	1
	消防総務課		—	2(1)	—	—	—	—	—	2(1)
	消防課		—	(3)	—	—	—	—	—	(3)
	本部付		—	—	—	1	—	1	—	2
	団係		—	—	—	1	—	—	1	2
	役場出向		—	1	—	—	—	—	—	1
計			1	4(4)	0	2	—	1	1	9(4)
消防署	署長		—	(1)	—	—	—	—	—	(1)
	副署長・支署長		—	(3)	(1)	—	—	—	—	(4)
	第1小隊		—	1	3	1	1	2	—	8
	第2小隊		—	1	3	2	1	1	—	8
	第3小隊		—	1	3	1	1	2	—	8
	美川支署		—	—	3	1	4	1	—	9
計			—	3(4)	12(1)	5	7	6	—	33(5)

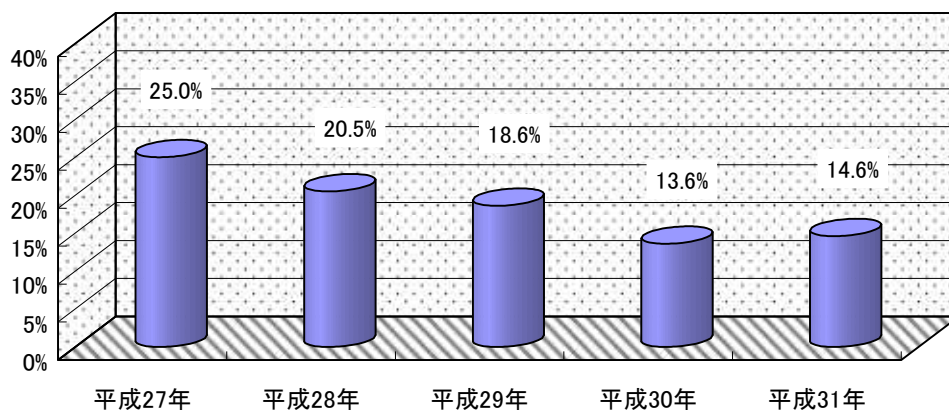
()兼務

〔職員の年齢構成〕

平成31年4月1日現在の消防職員の平均年齢は37.8歳であり、50歳以上の職員構成は14.6%となっていますが、その割合は減少傾向にあり世代交代が進んでいます。このため、消防業務の特殊性を踏まえつつ、若い職員の育成や技術の継承を推進するとともに、事務事業の見直しや適正な人事配置を実施する必要があります。

〔50歳以上の職員構成〕

(平成31年4月1日現在)



消防予算

平成31年度消防予算は、財源の効率的かつ重点的な配分と経費の節減に努め、これまでに進めてきた施策や事業の着実な実現を図るとともに、災害に強く住民が「安全で安心して暮らせる地域づくり」と「連携と実践による福祉消防」を推進することとしました。この基本姿勢のもとに編成当初予算788,540千円 となっています。

〔主な事業の概要〕

常備分

- (1) 救急救命士養成研修所入校 1名
- (2) 水難用機材一式(マスク、フィン) 1式

非常備分

- (1) 消防団活動服 更新
- (2) 消防団ヘルメット 更新
- (3) 消防団防火服・防火帽 更新

消防施設

- (1) 平成30年度 久万高原町面河地区ヘリポート整備
- (2) 地域ヘリポート場看板設置工事(面河中組地区)

〔平成30年度消防予算額〕

(▲は減)

区 分	平成30年度当初予算額 (千円)	平成29年度当初予算額 (千円)	対前年度予算の増減		
			比較(千円)	割合(%)	
消 防 費	439,278	419,307	19,971	4.8	
内 訳	人 件 費	304,070	310,781	▲ 6,711	▲ 2.2
	物 件 費	93,163	83,706	9,457	11.3
	維 持 補 修 費	16,372	600	15,772	2,628.7
	補 助 費	25,616	24,220	1,396	5.8
	普 通 建 設 事 業 費	0	0	—	—
	積 立 金	57	0	57	--

〔一般会計予算に対する消防費の割合〕

区 分	平成31年度当初予算(千円)	
一 般 会 計 予 算 額	9,351,269	
消 防 費 (町 全 体)	788,540	
一 般 会 計 対 構 成 比	8%	
消 防 費 内 訳	常 備 消 防 費	305,944
	非 常 備 消 防 費	59,759
	消 防 施 設 費	6,041
	災 害 対 策 費	416,796

火災履歴の
検 証

火災の実態

[火災発生状況]・・・前年比1件増の6件発生(出火率7.0)

<平成30年中>

火災件数	6件	損害額(全火災)	2,484千円
建物火災件数	3件	損害額(建物火災)	2,153千円
建物以外の火災件数	3件	り災世帯数	2世帯
建物焼損床面積	321 m ²	り災人員	2人
林野焼損面積	3 a	死者	0人
焼損棟数	5棟	負傷者	1人

※数値は、平成31年3月31日の確定値。

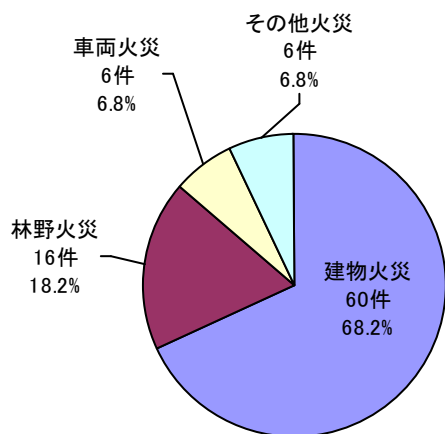
※平成16年8月1日 1町3村による町村合併。

※平成17年1月1日 久万高原町を管轄とする『久万高原町消防本部・署』として業務継承。

[建物火災の状況]・・・建物火災の占める割合は68.2%

<火災種別出火件数の構成比率>

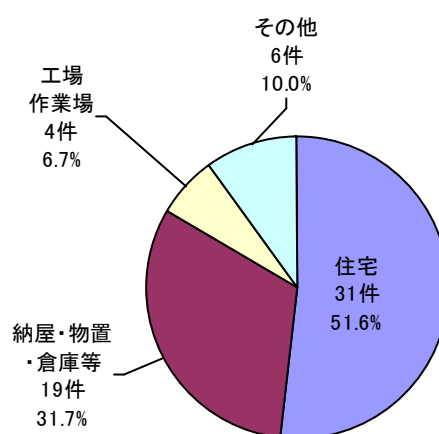
平成17年～平成30年



総出火件数 88件

<建物火災における用途別構成比率>

平成17年～平成30年



建物火災総出火件数 60件

[火災による死傷者]・・・平成30年の火災による死者はなし、負傷者は1名

火災による死者・負傷者をみると、建物火災で初期消火中に負傷者が1名発生しています。

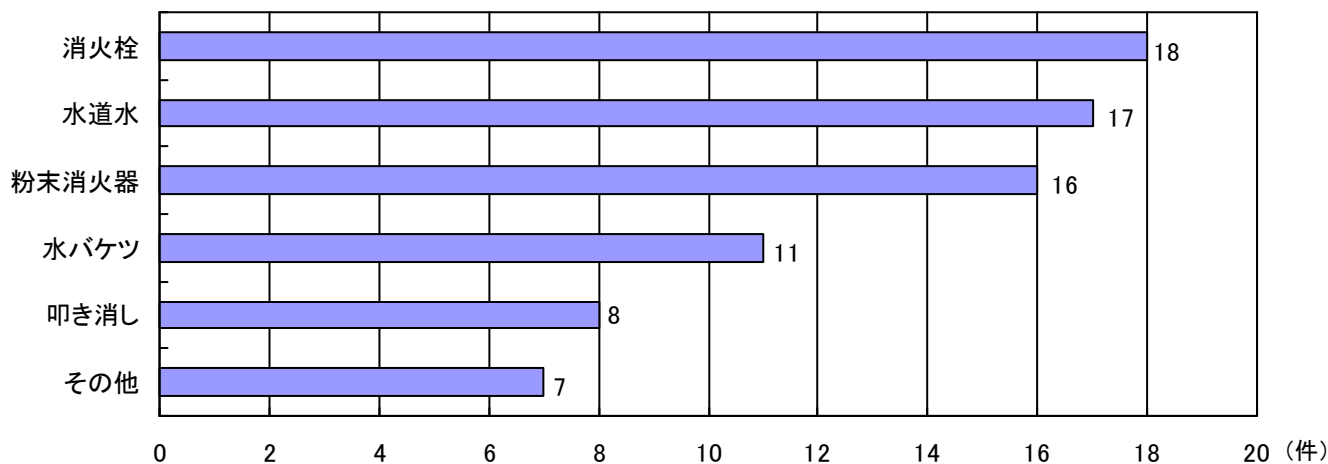
[初期消火]……初期消火実施率 33.3%

平成 30 年中における初期消火の実施状況では、6 件中 2 件が初期消火を実施していますが、2 件とも初期消火の効果は得られませんでした。初期消火の方法は、水(水道水)、水バケツでした。

久万高原町の過去 13 年間の初期消火実施状況をみると、全火災 88 件中 61 件(69.3%)で初期消火が実施されており、うち成功したものが 19 件(31.1%)となり、初期消火を実施した場合、約 3 割が成功を収めていることとなります。初期消火器具の状況をみると、消火栓 18 件、水道水 17 件、粉末消火器 16 件、水バケツ 11 件、叩き消し 8 件、その他 7 件となっています。

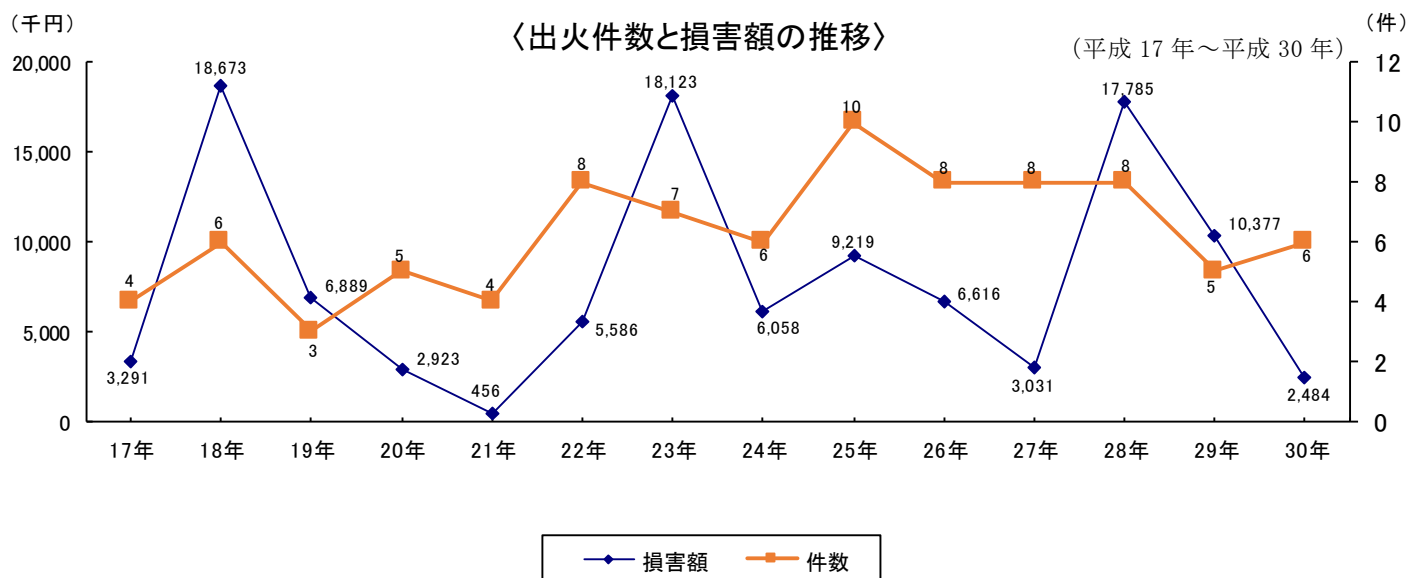
〈初期消火器具使用状況〉

(平成 17 年～平成 30 年)



※同一火災において、複数の消火器具を使用した事例があるため件数と使用器具数は異なります。

[火災による損害額]……損害総額は 2 年連続減少



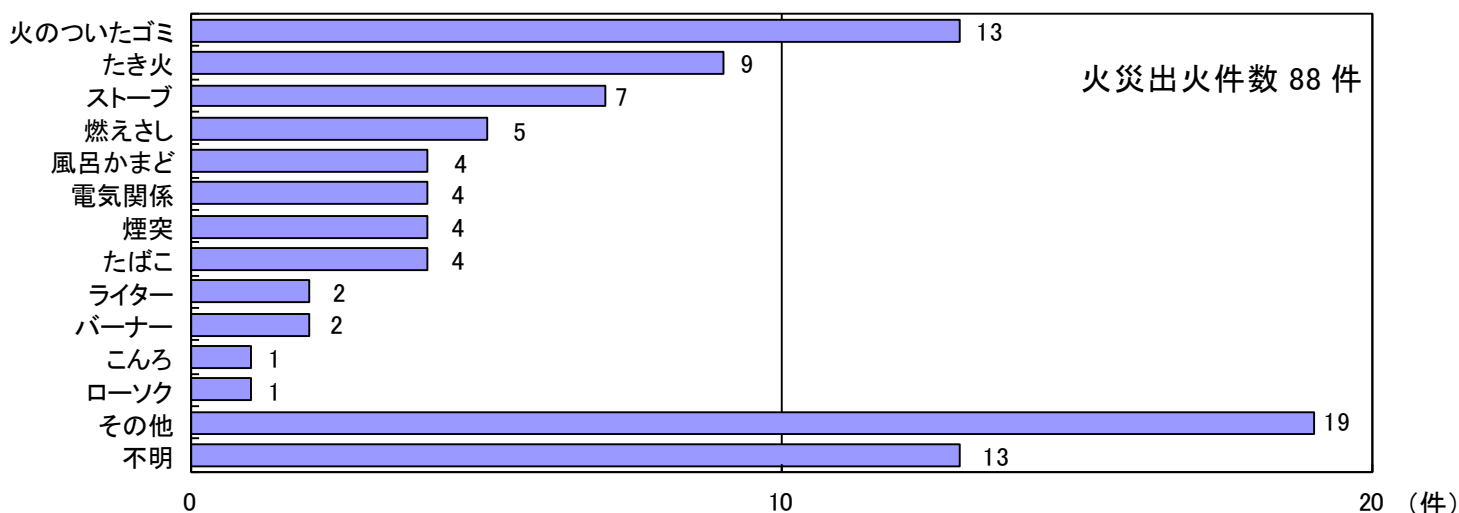
[出火原因]……大半は火気取扱いの不注意

平成 30 年中の出火原因をみると、枯草焼きが 3 件、取灰、炭火、不明がそれぞれ 1 件となっています。

過去 14 年間の総出火件数 88 件を出火原因別に見てみると、火のついたゴミによる出火が 13 件(14.8%)と最も多く、次いでたき火が 9 件(10.2%)、ストーブ 7 件(8.0%)の順となっています。

<出火原因別の火災件数>

(平成 17 年～平成 30 年)



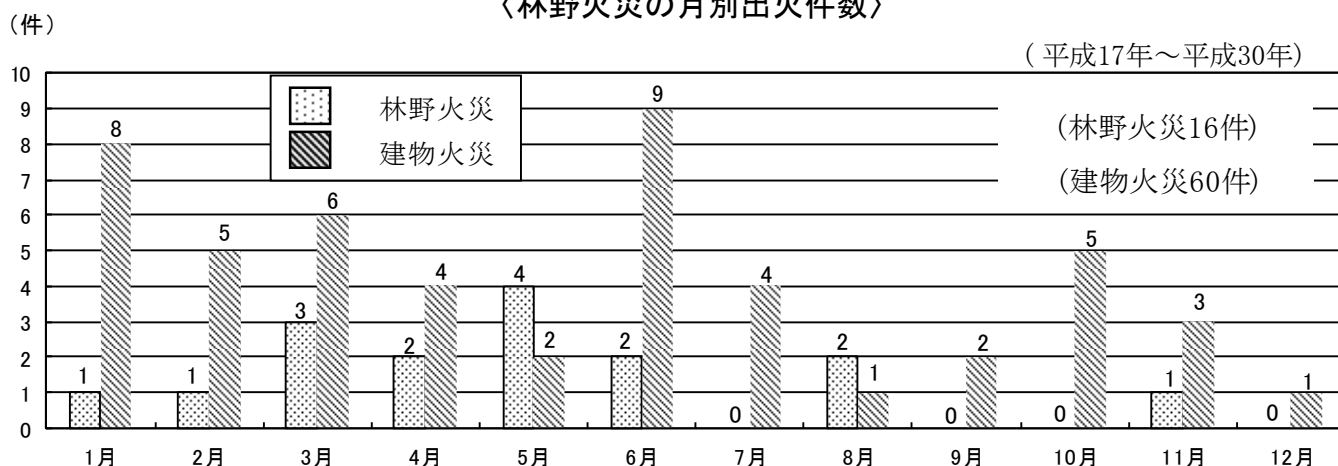
※数値は、平成 31 年 3 月 31 日の確定値

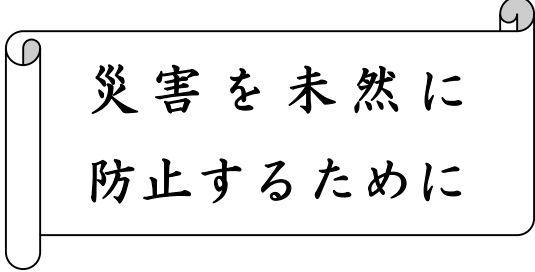
[火災の状況]……平成 30 年中は建物火災 3 件、林野火災 1 件

平成 30 年中の建物火災は 5 月 1 件、7 月 2 件発生、林野火災は 3 月に発生している。建物火災にあっては 1 月から 6 月にかけて多く発生している。林野火災にあっては、集め焼き等からの延焼が多く発生している。

<林野火災の月別出火件数>

(平成 17 年～平成 30 年)





災害を未然に
防止するために

第 23 回防災まちづくり大賞受賞

〔防災まちづくり大賞〕

阪神・淡路大震災や東日本大震災等、近年の大規模な災害の教訓を踏まえて、全国各地で防災対策の強化を図るための取り組みが行われています。防災力の向上を図るためには、まちづくりや住民生活等においても防災の視点を盛り込むことが重要であり、防災に関するハード及びソフトの工夫・アイデアが防災対策の充実や防災意識の高揚等に大きく寄与しています。

防災まちづくり大賞は、地域に根ざした団体・組織等の防災に関する優れた取組、工夫・アイデア等、防災・減災や住宅防火に関する幅広い視点からの効果的な取組み等を表彰し、広く全国に紹介することによって、地域における災害に強い安全なまちづくりの推進に資することを目的としています。

〔消防庁長官賞〕…久万高原町幼少年女性防火委員会が受賞

平成31年3月4日に第23回防災まちづくり大賞の表彰式が行われ、久万高原町幼少年女性防火委員会の取組みが評価され、消防庁長官賞を受賞しました。

〔久万高原町幼少年女性防火委員会の取組み〕

芸予地震を契機として、「自分たちの地域は自分たちで守る」の思いから、幼年・少年消防クラブ員と女性防火クラブがタイアップし、地域を取り込む形で活動を行っています。

活動内容としては、少年消防クラブと女性防火クラブが、高齢者宅を訪問して火災予防の呼びかけとプレゼントを渡す「愛の一声運動」や、地域をあげて行う「地域防災訓練」を毎年実施しています。また、水難救助体験や防災食炊飯、避難所段ボール寝床作りなど、地域で楽しく体験する「防災キャンプ」にも取り組んでいます。これらの取り組みにより、災害時安否確認などで重要となる情報が、地域コミュニケーションで当たり前のようにインプットされ、知らず知らずに地域防災力の向上へと繋がる取組みが評価されました。



火災予防

〔広報活動〕…住民とふれあうなかで期待に応える

火災を防止し、その被害を最小限にするためには、住民に火災の恐ろしさを十分認識していただき、火災予防対策を徹底するとともに、万一の火災に対して迅速に対処する方法を指導していくことが大切です。

そのためには、積極的に地域に出向き、地域と消防機関とのふれあいの場を数多く設け、火災予防についての疑問や消防機関への期待等を的確に把握し、住民が必要とする情報を適切に提供するとともに、住民の声を業務に確実に反映させ、住民の正しい理解と協力を得る必要があります。

広報誌・ホームページ、常に新しい幅広い情報を提供し、住民の防火・防災について関心を高めるための予防広報活動に努めています。

〔幼・少年消防クラブについて〕…地域防災の実践力

将来、地域防災の担い手として期待される子供達は、中学生期にもなると、その実践力の一助となり得ます。このことから町内の中学校は、少年消防クラブのモデル校として国の指定を受け、活動服や防災資機材を配備し、実践的な活動に向けた育成をおこなっています。

〔女性防火クラブについて〕…婦人は防災の強い味方

家庭で火気を取り扱う機会の多い婦人を対象に、万一の場合にお互いが協力して活動できる体制を整え、防火・防災知識の普及や初期消火・応急手当の習得、各種研修会での知識技術を生かし、地域の高齢者宅防災診断、住宅用火災警報器の普及啓発、一人暮らしの高齢者へ朝夕の声かけを通して、高齢者の方とのコミュニケーションを深め、過疎化地域における「安心安全」な地域づくりのため昼夜全力で努めています。

〔幼・少年・女性防火委員会について〕…地域に根ざした防災活動

私たちの暮らす山間地域は、高度経済成長期を境として過疎化・少子高齢化が著しく進展し、地域社会の防災体制は、危機的状況に陥っていると言っても過言ではありません。

このような状況から、地域社会の防火・防災意識の高揚に努め、「安全で安心して暮らせる地域づくり」をめざして幼・少年消防クラブの結成と育成並びに地域に根ざした防火・防災活動を行うことを目的に幼・少年・女性防火委員会を設置しています。

<幼・少年・女性防火クラブ結成状況>

(平成31年3月31日現在)

区	分	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
幼年消防クラブ	クラブ数	5	1	1	1	8クラブ
	クラブ員数	132	7	5	5	149人
少年消防クラブ	クラブ数	6	1	2	1	10クラブ
	クラブ員数	115	6	41	6	168人
女性防火クラブ	クラブ数	5	1	-	-	6クラブ
	クラブ員数	198	9	-	-	207人

〔防火・防災に関する知識・技術の住民普及〕…地域ぐるみの防災体制と共助の力を強化

火災や地震、風水害及び雪害などの災害時に被害の軽減を図るためには、普段から近隣や地域とのつながり結びつきを大切に、住民一人ひとりの高い防火・防災意識に基づいた迅速、的確な通報・初期消火・避難はもちろんのこと、正しい知識と行動力を身につけた自主的な防災活動が不可欠です。

このようなことから、消防機関としては、防火クラブ、自治会(自主防災組織)や事業所等への防火・防災知識の普及、防災訓練等を通じて地域ぐるみの防災体制の強化を図って共助の力を期待しています。

<防災・防火教室等実施状況>

区 分	学校関係	事業所	地域関係	防火クラブ等	総 計
実施回数	10	33	5	-	48 回
参加者数	836	1,140	201	-	2,177 人

避難行動要支援者対策

大規模災害等では、高齢者、障害者、病人、妊産婦、乳幼児、外国人といったいわゆる災害弱者が犠牲になることが多く、配慮を要する人ということで「要配慮者」と呼ばれています。中でも自ら避難することが困難で、避難に際し支援を要する者を「避難行動要支援者」といい、各市町村が実態把握に努めているところです。

近年、本格的な高齢化社会を迎えており、高齢者人口の増加は、要配慮者人口の増加を示しているとも言え、増加の一途を辿るこれらの避難行動要支援者に対する安全対策を推進することが急務になってきています。しかしながら、避難行動要支援者の安全対策は、消防のみでは完遂できるものではなく、関係行政機関及び地域が一丸となって対策を講じていくことが必要です。

これらのことから、消防署においては、お年寄りの防火意識の高揚と火災発生要因の排除を目的に、管内関係機関の協力を得て、一人暮らしの高齢者(65歳以上)を対象とした「一人暮らしのお年寄り宅の防災診断」並びに後期高齢者夫婦世帯(夫婦ともに75歳以上)等を対象とした「高齢者夫婦世帯等の防災診断」を実施しています。さらに、関係機関との連絡調整会議等に参加し、連携を図りながら避難行動要支援者の安全対策に努めています。

<防災診断実施状況>

区 分		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
一人暮らし のお年寄り 防災診断	訪問対象戸数	379	68	138	98	733 戸
	在 宅 数	237	49	138	57	481 戸
	在 宅 率	62.5	72.1	73.4	58.2	65.6 %
	不在者宅数	119	19	40	34	212 戸
後期高齢者 夫婦世帯等 防災診断	訪問対象戸数	165	28	96	50	339 戸
	在 宅 数	139	21	76	42	278 戸
	在 宅 率	84.2	75.0	79.2	84.0	82.0 %
	不在者宅数	21	7	19	8	55 戸

※ 対象外等により、訪問対象戸数と在宅数、不在者宅数の合計は一致しない。

住宅防火対策

〔住宅用火災警報器設置の推進〕…家族や財産を守るために

全国的に住宅火災による死者は、平成 17 年以降おおむね減少傾向となっていますが、犠牲者の7割以上が 65 歳以上の高齢者となっています。特に81歳以上の高齢者が多く、逃げ遅れによるものが原因とされています。

このため、住宅火災の逃げ遅れによる犠牲者を減らすことを目的とし、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

住宅用火災警報器の普及は、住宅防火対策の「切り札」と言え、地域の安心・安全を確保する上で極めて重要な課題です。膨大な数の既存住宅に対し、住宅用火災警報器の設置を強力に推進するためには、消防機関や住宅関係者のみが設置を呼びかけるだけでなく、自治会、福祉・教育関係者、マスメディア等幅広い分野のあらゆる主体に対しても、普及に係る取組への参加・協力を求め、社会全体の課題として取り組む必要があります。また、住宅用火災警報器に交換期限が記載されているものや、電池にも寿命があることから、定期的な動作確認を行うなど適正な維持管理の方法についても強化を図って行く必要があります。

＜住宅用火災警報器の都道府県別設置率及び条例適合率＞（平成 30 年 6 月 1 日現在）

都道府県(順位)	設置率	都道府県(順位)	条例適合率
福井県（1）	95.1%	福井県（1）	85.7%
愛媛県（24）	80.0%	愛媛県（15）	68.2%
全 国	81.6%	全 国	66.5%
久万高原町	86.0%	久万高原町	72.0%

※ 標本調査のため、各数値は一定の誤差を含む。

※ 設置率とは、市町村の火災予防条例において設置が義務付けられている住宅の部分のうち、一箇所以上設置されている世帯(条例適合世帯を含む)の全世帯に占める割合。

※ 条例適合率とは、市町村の火災予防条例において設置が義務付けられている住宅の部分すべてに設置されている世帯(条例適合世帯という。)の全世帯に占める割合。

防火管理制度

消防法では、多数の人を収容する防火対象物の管理について権原を有する者(以下「管理権原者」という。)に対して、自主防火管理体制の中核となる防火管理者を選任し、消火・通報及び避難訓練の実施等を定めた防火管理に係る消防計画の作成等、防火管理上必要な業務を行わせることを義務付けています。

管内において法令により防火管理体制を確立し防火管理者を選任しなければならない防火対象物は、137 件あり、その内 81%に当たる 111 件については防火管理者が選任され、その旨が消防署に届け出されています。しかしながら、26 件の防火対象物は防火管理者が未選任・未届けの状況であり、これらの防火対象物の管理権原者に対して違反是正に努めています。

また、防火管理者が自らの事業所等の適正な防火管理業務を遂行するために防火管理に係る消防計画を作成し、その旨を消防署へ届け出ている防火対象物は 101 件で全体の 74%となっています。

<防火管理者選任、消防計画届出>

(平成31年3月31日現在)

区 分	防火管理者選任	消防計画届出
対 象 施 設 数	137	137
選任・届出数	111	101
選任・届出率	81%	74%

危険物の保安

科学技術、産業経済の発展に伴い、危険物行政を取り巻く環境は常に大きく変化しています。危険物の態様とそれを取り巻く環境は複雑になり、また危険物に起因する災害も多様化しています。近年では、新たな危険物の出現のほか、温室効果ガス排出抑制の取組等によるバイオエタノールを燃料とする自動車や電気自動車の普及等に伴い、危険物の流通形態の変化、危険物施設の多様化、複雑化への対応が求められています。このような状況に対応するため、新たな危険性物質の早期把握や、新技術の導入等に伴う危険物施設の技術基準の見直し等を引き続き図っていく必要があります。

〔危険物保安の広報と指導〕…『この一球届け 無事故へ みんなの願い 』

危険物施設の事故原因を分析すると、管理や確認が不十分であるなど人的要因によるものが多いことから、危険物施設の立入検査を実施し、事業所における自主保安体制の確立を推進するとともに、広く国民の危険物に対する意識の高揚及び啓発を図るため、毎年6月の第2週を「危険物安全週間」と定め、全国的に啓発運動を実施しています。

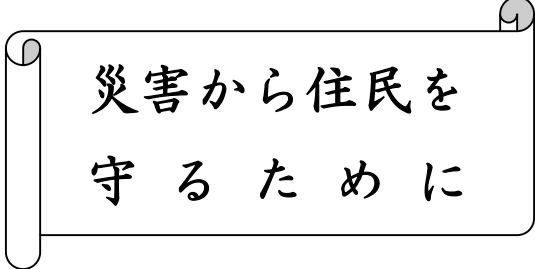
<危険物事業所数>

地 域	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
事 業 所 数	30	1	6	2	39

<危険物施設の状況>

区 分	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
屋 内 貯 蔵 所	3	-	1	-	4
屋外タンク貯蔵所	3	-	1	-	4
屋内タンク貯蔵所	1	-	-	-	1
地下タンク貯蔵所	7	-	-	1	8
簡易タンク貯蔵所	2	-	-	-	2
移動タンク貯蔵所	8	-	1	-	9
屋 外 貯 蔵 所	-	-	-	-	-
給 油 取 扱 所	11 (3)	1 (1)	5 (1)	1 (0)	18 (5)
一 般 取 扱 所	4	-	1	-	5
合 計	39	1	9	2	51

注()は自家用給油取扱所再掲



災害から住民を
守るために

消防活動体制

高齢化率 47.5% (愛媛県 32.05%) と過疎・高齢化が進む久万高原町では、災害弱者の安全対策に努めていますが、過去には、台風・豪雨・豪雪等により孤立した地域もあったことから、高齢者等の「安全と安心」の確保に対する住民の期待は、ますます高まっています。

久万高原町消防署では、こうした住民の期待に応えるため、消防団と連携した効果的な消防活動体制の確立に努めています。また、自主防災組織の結成率は 100% を達成していますが、地域住民の防災意識の向上と連携・協力を図るため、防災訓練の実施やリーダー育成が今後の課題となっていました。そこで、久万高原町では、平成 23 年度より防災士の育成を推進しており、平成 31 年 3 月末日現在で 218 名の防災士を養成しています。今後も防災士の増員を図り、地域防災力の向上を目指さなければなりません。

〔消防部隊の配置〕………災害の状況や規模に応じて体制を強化

久万高原町消防署では、災害活動を迅速に対応するため本署に消防隊及び救急・救助隊を、美川支署に救急隊・消防隊(兼任)を配備して災害の発生に備えています。

災害発生の状況や種類・規模により非番職員の招集を実施、また、大雨警報等の気象警報発令時及びその他被害の発生が予測される場合には、公休職員の招集を実施して活動要員の強化体制をとっています。

招集連絡体制は、携帯電話・メールによる体制と消防無線を幹部職員に貸与して運用しています。

消防隊の活動状況

火災による被害を軽減するためには、消防隊がいち早く現場到着し的確な消防活動を行うことが重要ですが、管内道路は狭あい急坂路線が多く、冬季には積雪・凍結があることから、大型車両の運行が困難と思われる場合は、軽四車両への乗換運用を実施しています。また道路工事に伴う走行障害及び違法駐車等による部署障害で、活動の制約等を受けることもあり、それらの対応も課題の一つとなっています。

<消防隊の火災出動状況>

区 分	合 計	準市街地 建物火災	その他地域 建 物 火 災	車両火災	林野火災	その他火災
火災出動件数	6	—	3	—	1	2
出 動 隊 数	33	—	17	—	6	10

注) 救急車の出動は除く

<消防隊の活動状況>

区 分	出動件数	出動隊数	放水隊数	放水量 (m ³)	ホース (本)	活 動 内 容				
						救助隊 活動	指揮隊 活動	消火隊 活動	活動隊 支援	
建物火災	1 次出動	3	12	5	48	30	3	—	8	1
	2 次出動	—	5	—	—	—	—	3	—	2
	3 次出動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小 計	3	17	5	48	30	3	3	8	3
建物以外	1 次出動	3	14	1	13	20	3	1	2	1
	2 次出動	—	2	—	—	—	—	—	—	—
	3 次出動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小 計	3	16	1	13	20	3	1	2	1
合 計	6	33	6	61	50	6	4	10	4	

消防相互応援体制の状況

市町村の消防責任は、原則として当該市町村の区域内です。しかし、大規模災害や市町村の境界付近などで発生する災害については、近隣の市町村が消防力を相互に補完し合い、被害の拡大防止を図る必要があります。久万高原町消防本部では隣接する市町村消防本部と消防相互応援協定を締結しています。この協定により久万高原町の境界付近での火災等の災害又は救急救助活動を必要とする事故の発生を覚知したときは、消防隊・救急隊又は救助隊の一部もしくは全部を派遣しています。

〔消防相互応援協定〕

- 伊予・大洲・久万高原広域消防相互応援協定(平成 17 年 11 月 1 日)
伊予消防等事務組合・大洲地区広域消防事務組合・大洲市・伊予市・砥部町・内子町・久万高原町
- 中予地区広域消防相互応援協定(平成 2 年 8 月 1 日)
松山市・東温市・伊予市・松前町・砥部町・久万高原町・東温市消防本部・伊予消防等事務組合
- 西部四国山地消防相互応援協定(昭和 45 年 9 月 1 日)
西予市・鬼北町・久万高原町・津野町・四万十町・梶原町・中土佐町・仁淀川町・高幡消防組合
高吾北広域町村事務組合 10 団体
- 真弓トンネル内における消防活動に関する覚書(平成 17 年 11 月 1 日)
内子町、久万高原町、久万高原町消防本部、大洲地区広域消防事務組合消防本部
- 愛媛県消防広域相互応援協定(平成 18 年 4 月 1 日)
愛媛県下の市町及び消防一部事務組合
- 広域消防相互応援協定(平成 18 年 4 月 1 日)
仁淀消防組合・いの町・久万高原町
- 高幡消防組合と久万高原町相互応援協定(平成 21 年 6 月 1 日)
須崎市・四万十町・中土佐町・梶原町・津野町・久万高原町
- 高幡消防組合と久万高原町相互応援協定実施に関する覚書(平成 21 年 6 月 1 日)
高幡消防組合・久万高原消防本部
- 三坂道路に係る消防相互応援に関する覚書(平成 24 年 3 月 1 日)
松山市消防局・久万高原町消防本部・伊予消防等事務組合消防本部

〔その他の応援協定〕

- 救急搬送協定(昭和 54 年 2 月 13 日)
高吾北広域町村事務組合
- 救急業務応援協定(昭和 54 年 6 月 29 日)
西条市
- 救急救命処置に関する覚書(平成 7 年 12 月 22 日)
国民健康保険久万町立病院・医療法人社団マリナ会西本医院
- 愛媛県消防防災ヘリコプター応援協定(平成 8 年 10 月 1 日)
愛媛県下の市町及び消防一部事務組合
- 携帯電話からの 119 番通報、転送等に関する協定書(平成 17 年 10 月 各消防本部直接受信)

松山消防局	10/4	伊予消防等事務組合消防本部	10/11
西予市消防本部	10/20	西条市・東温市消防本部	10/24
大洲地区広域消防事務組合消防本部	10/27		

- 愛媛県消防防災ヘリコプターの支援に関する協定(平成18年4月1日)
愛媛県下の市町及び消防一部事務組合
- 愛媛県立中央病院ドクターカーに関わる相互応援協定(平成22年3月8日)
愛媛県公営企業管理者・久万高原町長

緊急消防援助隊

〔装備資器材の充実と隊の増強〕

緊急消防援助隊は、平成7年1月17日に起きた阪神淡路大震災のように当該消防機関のみでは対処不可能な大規模災害発生時に、全国の消防機関から必要な消防隊員、救助工作車などの消防車両及び資器材等を災害地に派遣し、災害に対処することを目的に平成7年6月に発足し、その後法改正を経て消防組織法に正式に位置づけられ今日に至っています。

特に近年、各地で発生する大規模災害への対応や、近い将来東海地震・東南海地震及び南海地震の発生が予想されており、緊急消防援助隊は全国的にますます重要性が増してきています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、消防長長官の出動指示により、登録している消火部隊、救急部隊等8名の隊員が3月14日～21日にかけて、岩手県釜石市に出動し現地で活動しました。

1. 出動要請及び出動の流れ

大規模・特殊災害が発生したときの緊急消防援助隊の出動要請手順には大きく2つの流れがあり、原則としては被災地の市町村長が都道府県知事を通じて消防庁長官へ応援要請を行います。消防庁長官は要請を受けた後、都道府県知事へ出動要請を行い、要請を受けた都道府県知事は県内消防本部へ出動を依頼することとなります。

しかし、被災地の状況により、「応援要請を待つ余裕がない」「通信途絶や混乱で要請を行いたくとも出来ない」と判断される場合、消防庁長官は自らの判断で都道府県知事へ出動を要請できます。

2. 国庫負担制度

消防組織法44条第5項に基づく指示を受けて出動した緊急消防援助隊の活動により、必要となる費用やその他政令で定める経費等は、国庫負担制度によって国が負担します。さらに、活動中に必要であれば消防組織法49条の規定に基づき、消防用の国有財産・物品を無償で使用することが可能となっています。

3. 財政措置

緊急消防援助隊基本計画に基づき施設整備等については、義務的補助金制度により施設の種類・規格ごとに基準額の1/2の財政措置を受けることができます。

4. 緊急消防援助隊登録状況

緊急消防援助隊の登録隊数は平成31年4月現在、全国で723消防本部6,258隊が登録され、昨年4月1日の登録数(5,978隊)より280隊増加しております。久万高原町消防本部・署は消火部隊、救急部隊として各1隊を登録しています。

(消火部隊平成7年9月5日、救急部隊平成13年1月23日登録)

情報通信

〔緊急通報〕

災害情報は緊急性を要するため、その情報を迅速・的確に収集し、また、分析して出動指令、活動現場、活動部隊及び防災関係機関等に正確に伝達することが極めて重要です。

平成28年6月から119番通報受信装置の更新に伴い、統合型位置情報通知装置を導入し、119番通報において災害発生場所の特定が迅速かつ容易になり、出動の迅速化が図られています。携帯電話による119番通報においては、位置情報機能を有効にすることで通報場所の精度が高くなります。また、電話番号を非通知にしている場合であっても、緊急に位置情報が必要と判断した時に位置情報を取得することが出来ます。

平成30年における通報件数は759件となっており、うち119番通報件数が525件、一般加入電話通報件数が189件、その他通報件数が45件となっています。通報件数はほぼ変化がない状態が続いていますが、携帯電話による通報は年々増加傾向にあります。

<通報件数(過去10年間)>

過去10年間(平成21年1月1日～平成30年12月31日)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
119番	530	578	585	692	718	724	602	513	526	525
(内携帯電話)	(89)	(101)	(132)	(175)	(166)	(240)	(174)	(154)	(176)	(199)
一般加入	195	247	254	246	265	267	204	236	233	189
その他	32	21	13	61	42	36	19	20	26	45
計	757	846	852	999	1,025	1,027	825	769	785	759

〔消防無線〕

消防無線は、平成26年3月から260MHz帯の周波数を使用したデジタル方式による無線方式に移行しています。久万高原町は管内面積が広大(583.69km²)であることから大川嶺及び柳谷に基地局、久万に中継局を設置し無線の不感地帯の解消を図るとともに、災害時には現地災害対策本部に可搬型無線機を設置するなど、消防・防災活動の要ともいえる情報通信網の確保を行っています。

また、消防団との連携を密にするため、消防団指令車・ポンプ車等に260MHz帯デジタル方式の消防無線(10W)を装備し、災害活動時の情報交換に役立てています。

そのほか広域応援等が行われた場合の通信確保のため、主運用波、統制波を実装し応援側と受援側の連絡を適切に行うようにしています。

<無線チャンネル区分>

使用区分	チャンネル	電波の形式	通信方法	用途	
デジタル方式	久万高原町全域	活動波1 活動波2	G1D G1E	複信	★災害発生時における現場と通信指令室との交信 ★現場指揮者や消防部隊相互間、消防署相互間の交信 ★訓練、調査等における通信指令室、出動隊相互間の交信
	愛媛県内消防機関	主運用波			愛媛県内の消防機関との交信
	全国消防機関	統制波 1～3			全国の消防機関との交信

無線局一覽表

免 許 基地局 R5.5.31
有効期間 多重局 R4.11.30
移動局 R5.5.31

〔基地局〕

呼出名称	設置場所	チャンネル型式	空中線電力	通話式	型式名	発祥月日
くましょうほんぶ	大川嶺基地局 (久万高原町日野浦4368) 北緯 33° 34' 05" 東経 132° 56' 28"	活動波	10W	複信	CF-2514F	H30.5.14
		活動波	10W	複信	CF-2514F	H30.5.14
		主運用波	10W	複信	CF-2514F	H30.5.14
		統制波	10W	複信	CF-2514F	H30.5.14
		統制波	10W	複信	CF-2514F	H30.5.14
		統制波	10W	複信	CF-2514F	H30.5.14
くましょうやなだに	柳谷基地局 (久万高原町柳井川3537) 北緯 33° 32' 15" 東経 133° 00' 06"	活動波	5W	複信	CF-2416F	H30.5.14
		活動波	5W	複信	CF-2416F	H30.5.14

〔多重局〕

呼出名称	設置場所	空中線電力	通話式	型式名	発祥月日
しょうぼうおおがわみね ちゅうけいきよく	大川嶺基地局(久万高原町日野浦) 北緯 33° 34' 05" 東経 132° 56' 28"	70mW	単信	JA5874	H29.12.1
しょうぼうくま ちゅうけいきよく	久万中継局(久万高原町久万) 北緯 33° 39' 17" 東経 132° 54' 10"	70mW	単信	JA5873	H29.12.1

〔移動局〕

呼出名称	設置車両	チャンネル型式	空中線電力	通話式	型式名	発祥月日
〈県よ 100	本署 桌上固定型	活動波1・2 主運用波2 統制波1～3	10W	複信	CM-2510DF	H30.5.14
〈県よ 200	美川 桌上固定型		10W	複信	CM-2510DF	H30.5.14
〈県よ 101	本署 指揮車		10W	複信	CM-20102	H30.5.14
〈県よ 102	本署 査察指導車		10W	複信	CM-20103	H30.5.14
〈県よ 103	本署 タンク車		10W	複信	CM-20102	H30.5.14
〈県よ 104	本署 積載工作車		10W	複信	CM-20102	H30.5.14
〈県よ 105	本署 水槽車		10W	複信	CM-20102	H30.5.14
〈県よ 106	美川 タンク車		10W	複信	CM-20102	H30.5.14
〈県よ 107	本署 査察広報車		10W	複信	CM-20102	H30.5.14
〈県よ 108	本署 公共応急作業車		10W	複信	CM-20102	H30.5.14
〈県よ 109	本署 資器材搬送車		10W	複信	CM-20103	H30.5.14
〈県よ 301	本署 高規格救急車		10W	複信	CM-20102	H30.5.14
〈県よ 302	美川 高規格救急車		10W	複信	CM-20102	H30.5.14
〈県よ 303	本署 高規格救急車		10W	複信	CM-20102	H30.5.14
〈県よ 305	本署 高規格救急車		10W	複信	CM-20102	H30.5.14
〈県よ 201	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 202	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 203	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 204	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 205	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 206	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 207	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 208	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 209	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 210	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 211	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 212	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 213	消防団 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 214	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 215	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 216	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 217	消防団 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 218	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 219	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 220	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 221	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 222	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 223	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 224	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 225	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 226	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 227	本署 携帯		5W	単信	CP-508T	H30.5.14
〈県よ 228	本署 携帯	5W	単信	CP-508T	H30.5.14	
〈県よ 229	本署 携帯	5W	単信	CP-508T	H30.5.14	
〈県よ 230	本署 可搬型	10W	単信	CM-2010SM	H30.5.14	
〈県よ 231	危機管理室 可搬型	10W	単信	CM-2010SM	H30.5.14	
〈県よ 410	久万方面隊 指令車	10W	複信	CM-20102	H30.5.14	
〈県よ 413	久万方面隊 ポンプ車	10W	複信	CM-20102	H30.5.14	
〈県よ 421	久万方面隊 ポンプ車	10W	複信	CM-20102	H30.5.14	

消防水利

消防水利には、消火栓・防火水槽・プール等の人工水利と、河川・池・湖・沼等の自然水利があります。

人工水利のうち、消火栓は上水道の配水管に付置されており、連続的に給水され、且つ簡易に使用できる反面、配管口径による給水量の制約、断減水時の取水不能、さらに地震時には配管の破損が懸念されるなどの弱点も併せ持っています。こうした消火栓の持つ弱点をカバーする為にも、耐震防火水槽などの貯留水利を地域の実情に応じて適正に組み合わせて計画的に整備することが必要です。

自然水利は、人工水利と並んで消防水利としての重要な役割を果たしていますが、季節によっては使用不能となったり、取水場所が制限されたりすることもあります。消防署では常に管内の水利状況を把握しておく必要があり、定期的な調査を実施しています。

<人工水利と自然水利の現況>

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

合 計	人 工 水 利				自 然 水 利		
	小 計	防火水槽	消 火 栓	プー	小 計	河 川	池・沼
855	756	127	613	16	99	85	14

<火災における水利使用状況>

火災合計	水 利 別 延 べ 使 用 数						水 利 を 利用した 火災件数	水 利 を 利用した 消防隊数	使用量 (m ³)
	防火水槽	消火栓	プー	河川池沼	積載水	他			
6	1	1	-	-	10	-	4	11	61

[消防水利の機能保全]・・・消防水利から5m 以内は、駐車が禁止されています。

消防水利は消防活動に必要不可欠なものであり、災害時にその機能が十分発揮されなければなりません。そのため常時使用可能な状態に保つため、異常の有無・付近の障害物等について定期的に調査し、機能の保全に努めています。

消防水利の位置を明確に表示し、違法駐車などによる使用障害を防止するため消火栓・防火水槽などには塗色を実施するとともに水利標識の設置を促進しています。また、冬季には降雪のため地下式消火栓、防火水槽等の消防水利の除雪を実施しています。

<消火栓、防火水槽の除雪状況>

降雪日数	最大積雪量	除雪回数	除雪延人員	除雪延出動車両
42日	56.9cm	11回	26人	11台

訓 練

火災等危険で困難な災害現場に臨む消防隊，高齢化社会の進展や，疾病構造の変化に対応し，救命率の向上を図る救急隊，火災を始め，交通事故，水難事故などの災害から，人命救助を行う救助隊は厳正な規律と旺盛な士気はもとより，各種災害に精通し，専門的な能力を保持した精強な部隊でなくてはなりません。

隊長には，災害状況などの変化を把握し，効率的に現場活動し得る能力が必要とされ，また，隊員は資器材に精通し，さらに困難な現場活動を遂行できる能力が必要とされます。これが相まってはじめて組織的かつ効率的な現場活動が可能となり，被害を最小限にとどめることができます。

消防署では，災害現場において各隊がより効率的に現場活動を展開するために，日々，訓練及び学習を反復して行い，消防・救急・救助技術の向上を図っています。さらに実災害での活動ごとに指揮及び各隊の活動内容を検討し活動技術の蓄積と反省を踏まえた上で，今後の現場活動に反映させるよう努めています。

<小隊別訓練状況>

		消 防 訓 練			
		警 防 学 習 資 機 材 取 扱	ポ ン プ 運 用 防 御 訓 練	走 行 訓 練	警 防 調 査
1 小 隊	回 数	45			5
	時 間	60:40			6:40
2 小 隊	回 数	48			8
	時 間	56:55			10:20
3 小 隊	回 数	44			9
	時 間	55:20			11:50

		救 急 訓 練		救 助 訓 練			小 隊 別 合 計
		救 急 学 習	想 定 訓 練 資 機 材 取 扱	救 助 学 習	救 助 訓 練	想 定 訓 練 資 機 材 取 扱	
1 小 隊	回 数	22	16	2	12		102
	時 間	34:10	21:10	2:00	20:20		145:00
2 小 隊	回 数	25	9	6	13		109
	時 間	37:25	11:50	6:25	23:20		146:15
3 小 隊	回 数	15	14	3	8		93
	時 間	18:10	20:00	3:40	14:10		123:10

消 防 団

消防団は「自分たちの郷土は自分たちで守ろう」という郷土愛の精神を基に地域社会の災害防止や、災害発生時の活動などを目的として組織された地域に密着した防災活動機関です。

久万高原町においては、旧町村単位で4方面隊12分団が設置されています。団員は条例定数717名、実員656名（平成31年4月1日現在）の編成となっており、水・火災等の災害時における防災活動にあたるとともに、久万高原町総合防災訓練では、自主防災組織と連携した訓練を実施し、住民の方々の「安全と安心なくらしづくり」に重要な役割を果たしています。

また、総務省消防庁及び日本消防協会では、男女共同参画及び女性の持つきめ細やかなソフトな面を活かした予防・防災活動を推進するため、女性消防団員10万人確保事業を実施し、女性の加入促進に努めています。

近年、高齢化・過疎化による災害弱者の急増と消防団員のサラリーマン化により、昼間における消防力の低下、災害時における犠牲者の増加が問題となっています。このことから火災予防の指導や広報など、災害発生前の活動を積極的に推進するため、平成31年4月1日現在、久万高原町では25名の女性消防団員を任用し、女性の特性を活かした啓蒙活動を実施しています。

その他にも新任消防団員の資質の向上、幹部団員の防災指導力の強化、機関員の技術力向上等、各職責に応じた講習会等を実施し、消防団全体の総合力向上に努めています。

<消防団員の状況>

(平成31年4月1日現在)

消防団数	条例定数	現 在 員 数							
		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
1	717	1	4	12	12	36	94	497	656

(うち女性25名)

<平成30年中の活動状況>

(平成30年1月1日～12月31日)

区 分	火 災	風 水 害	遭難・搜索	警戒・警備	演習訓練
出動回数	8件	9件	1件	4件	5件
出動延人数	377名	153名	33名	1,414名	1,523名

久万高原町消防警察搜索推進協議会

平成 7 年 11 月 28 日 発足

(平成 17 年 6 月 8 日 上浮穴郡消防警察搜索推進協議会から名称を改正)

〔結成の趣旨〕・・・円滑な業務のために

近年久万高原町内にあつては、高齢化が著しくこれに伴い高齢者等の行方不明事案等が見られるほか、観光目的等の来訪者による遭難事案等の発生が相次いでいます。

これら行方不明者などの生命を救助することは、消防、警察、行政共通の目的であるところから、三者が互いに連携を図り迅速かつ円滑な業務の遂行を図ることで、住民の付託に応えようと結成されたものです。

＜構成団体等＞

- 久万高原町(町長)
- 久万高原町消防本部(消防長)
- 久万高原町消防団(団長)
- 久万高原警察署(署長)

＜出動対象事項＞

- (1) 久万高原町内において発生した
 - ・住民及び滞在者の行方不明事故
 - ・住民及び滞在者の遭難事故とし、住民及び滞在者から救助要請のあつた場合とする。
- (2) 犯罪関係者の搜索については、その都度関係機関で協議する。

＜支援依頼要請＞

- (1) 住民および滞在者から、第一次的に救助要請を受理した機関の長が、他の機関の支援を必要と判断した時点で出動要請を行うものとする。
- (2) 支援依頼要領は、運営要領による。

＜出動日数＞

出動日数は、基本的には搜索を開始した時点より 3 日間とするが、事案に応じた機関の長が協議して決定する。

＜出動費用＞

出動に要した費用については、各機関によるものとし、基本的には住民及び滞在者に請求しないものとする。

救急体制

高齢化社会の進展や生活習慣の多様化などの要因による疾病構造等の変化から、国民の救急業務に対する期待や需要は増大しています。これらの要望に応えるため、救急隊員のレベルアップ及び救急活動の質の向上を目的にメディカルコントロール体制(医師による医療行為の保証)が整備され、自動体外式除細動器(AED)による除細動の実施や、救急救命士による気管挿管・救急薬剤(アドレナリン)投与、更に処置拡大に伴い、新たに、血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与・心肺機能停止前の静脈路確保と輸液など、救命処置の高度化が図られています。

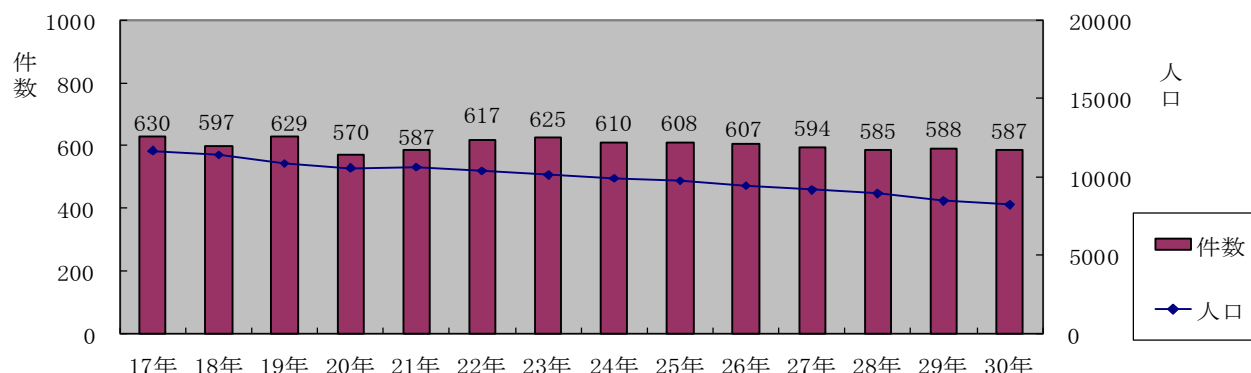
こうした状況に対応するため、久万高原町消防本部では、救急救命士及び救急隊員の養成、救急救命士の認定教育(気管挿管・薬剤投与などの追加講習への派遣)や救急救命士再教育など、救急隊員の育成と救急体制の強化、町民に対する応急手当の普及啓発、緊急電話受信時に行う応急手当の口頭指導、多数の人が集まる施設へのAEDの設置、消防防災ヘリコプター及びドクターカーを活用した救急搬送など、プレホスピタル・ケア(救急現場及び医療機関への搬送途上における応急処置をいう)の向上に努めています。

〔救急出場状況〕・・・587件(1日あたり1.61件の出場)

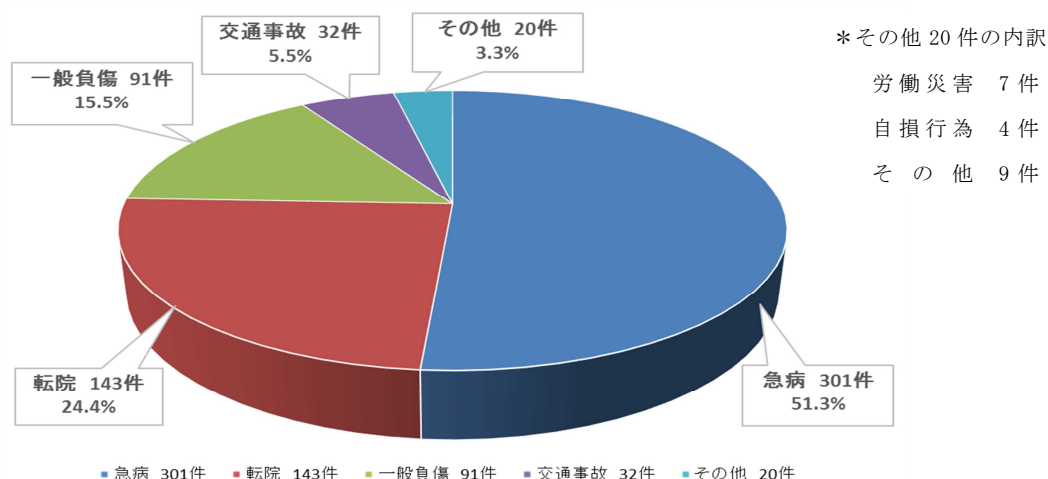
平成30年中の救急出場状況は、平成29年と比較し出場件数は1件(0.2%)の減少、搬送人員は8人(1.4%)の減少となりました。(救急編 年別救急活動状況参照)

また、救急出場を事故種別ごとにみると、1位は急病301件(51.3%)、2位転院搬送143件(24.4%)、3位一般負傷91件(15.5%)、4位交通事故32件(5.5%)、その他20件となりました。

＜過去14年間の人口と救急出場件数＞



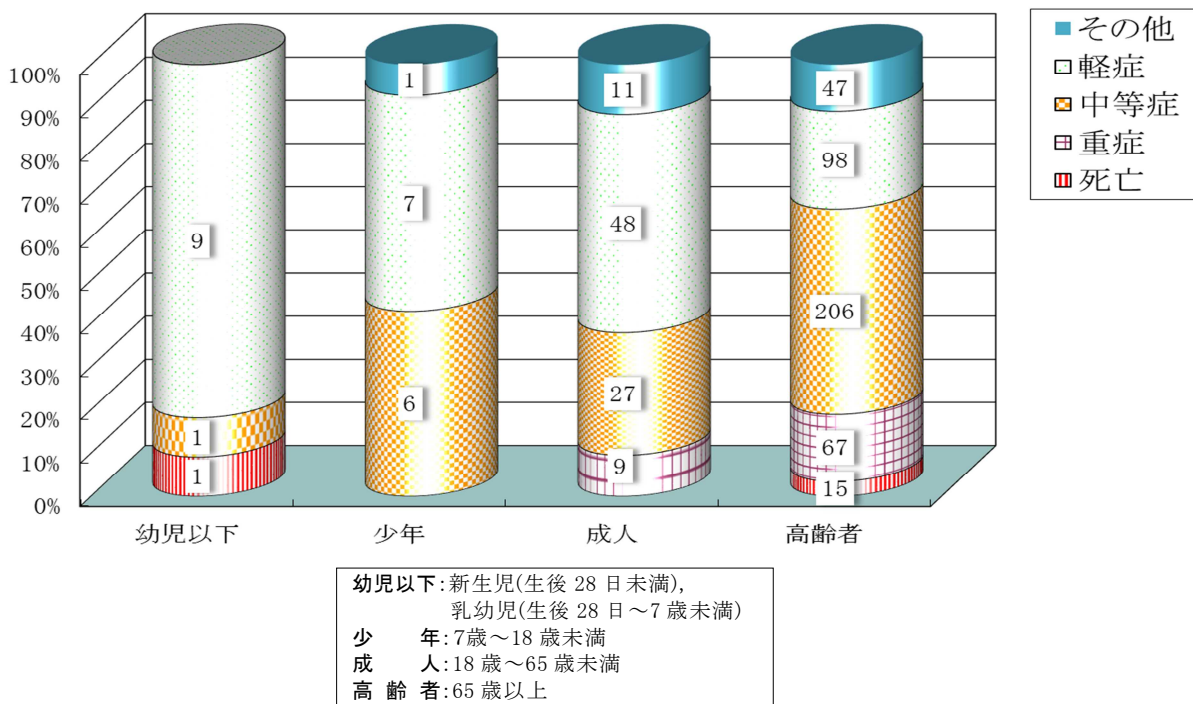
＜平成30年中の事故種別救急出場件数＞



[救急隊の活動状況]・・・高齢者、重症傷病者への処置・搬送割合が高い

- ① 平成 30 年中の救急隊の活動状況(転院搬送除く)は、救急出場1件あたりの出場から救急事故現場までの平均所要時間が14.6分(全国平均8.6分)、覚知から医療機関等に収容するまでの平均所要時間が51.6分(全国平均39.3分)となっており長時間を要しています。(救急編 現場到着所要時間及び医療機関収容所要時間状況参照)
- ② 救急隊が行った応急処置の状況を見ると、酸素吸入(159件)が最も多く、以下、保温(82件)、固定処置(60件)、被覆処置(43件)、気道確保(22件)、心肺蘇生(10件)の順となっています。さらに、観察の内訳を見ると、血中酸素飽和度測定(537件)、血圧測定(529件)、心電図測定(196件)、心音呼吸音の聴取(58件)などとなっています。(救急編 応急処置及び拡大処置件数参照)
- ③ 傷病者の傷病程度を見ると、高齢者(65歳以上)では重症・中等症の割合が高くなっています。さらに、高齢者の搬送は、553人の内433人(78.3%)となり、搬送者全体の約8割を占めています。
町内の人口構成から見ても、なお一層の超高齢者社会に進展することから、高齢者を対象とした救急需要の増加に対応し、町保健福祉課とともに予防対策を講じる必要があります。(年齢区分別傷病程度の状況参照)

<年齢区分別傷病程度の状況>



[応急手当の普及]・・・AED設置 64 施設

久万高原町消防本部では管内の地理的条件等により、119番通報から救急隊が現場到着するまでに14.6分(転院搬送を除く)を要しており、呼吸停止・脈拍停止・大出血等といった生命に重大な危機が訪れた場合一刻も早い救命処置の開始が傷病者の予後を左右することとなり、現場に居合わせた住民による適切な救命処置が救命率向上のため最も重要であると言えます。また、平成16年7月1日から、非医療従事者によるAED(自動体外式除細動器)の使用が可能となったことから、普通救命講習Iを開始し、平成30年12月31日までに6,648名が受講・修了しています。今後とも、職場単位や自治会(自主防災組織)単位での講習を実施し、応急手当の普及活動に努めていきたいと考えています。また、AEDは薬機法に規定する高度管理医療機器及び特定保守管理医療機器に指定されており、適切な管理が行われなければ、生命及び健康に重大な影響

を与えるおそれがある医療機器です。これらのことを踏まえ、AEDが使用される際にその性能を十分に発揮出来るように、これまで以上にAEDの適切な維持管理が必要であり、設置施設等に対し協力を求めていく必要があります。

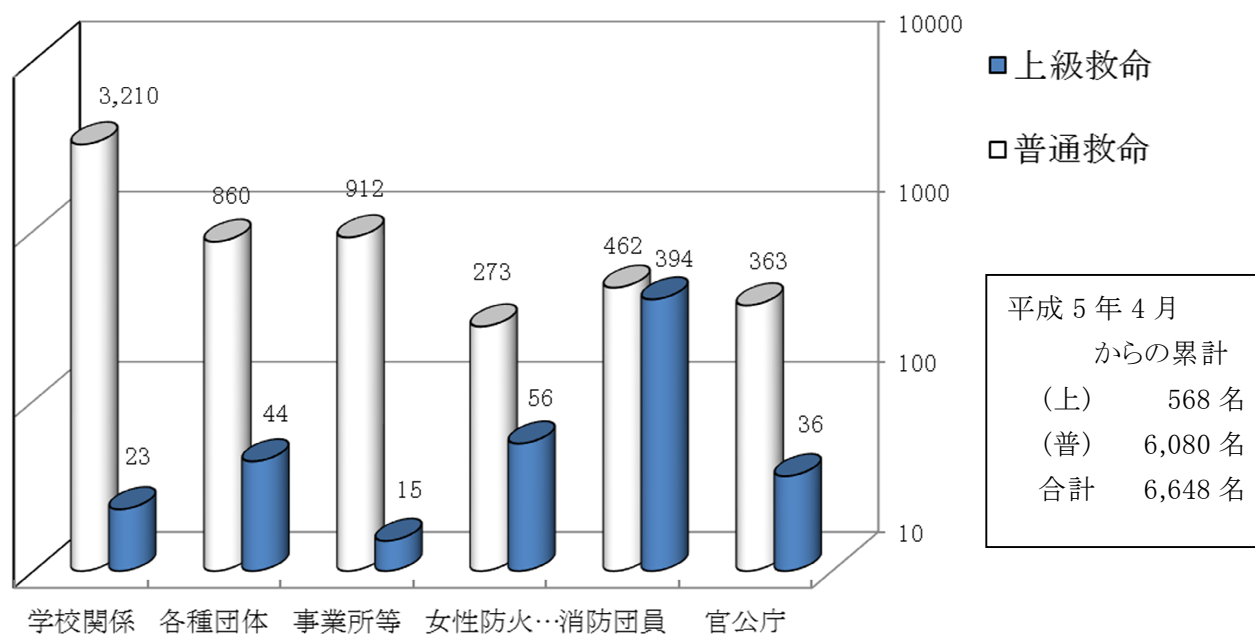
普通救命講習の主な受講者は、学生、女性防火クラブ員・地域住民・各種団体関係者となっており、特に中学生の受講率が高く毎年新入生の受講と合わせて、すでに受講済みの生徒に対して再講習等が実施され、知識・技術の維持に重要とされる反復訓練が行える体制が確立されています。これにより、小学生から実施している入門コースとあわせて生涯教育の一環として位置付け、命の尊さを理解するとともに救命技能の向上が期待できるものと考えています。

これらのことから、久万高原町内で開催される各種イベント等において使用できるよう貸出可能なAEDを整備し、貸出事業を行い救命率の向上を図っています。

＜AED(自動体外式除細動器)の設置状況＞ 64施設 (平成31年4月1日現在)

地区	施設名	地区	施設名	地区	施設名	地区	施設名
久万	役場「本庁」	久万	久万高原ふるさと旅行村	久万	大宝寺	美川	役場「美川支所」
久万	久万 B&G 海洋センター	久万	畑野川歯科	久万	久保建設	美川	美川小学校
久万	養護老人ホーム「ささゆり荘」	久万	久万高原警察署	久万	石丸建設	美川	仕七川小学校
久万	老人保健施設「あけぼの」	久万	四国電力久万営業所	久万	くま安心館	美川	美川中学校
久万	久万高原町産業文化会館	久万	久万こども園	久万	グループホーム「サマリア」	美川	岩屋寺
久万	久万高原町教育委員会	久万	伊予銀行久万支店	久万	グループホーム「メサイア」	美川	仕七川駐在所
久万	久万小学校	久万	松山市農協久万支所	久万	久万ボクシングジム	美川	小椋商店
久万	直瀬小学校	久万	うつのみや内科	久万	まちなか交流館	美川	美川中学校「若竹寮」
久万	明神小学校	久万	高橋歯科医院			美川	みかわクリニック
久万	父二峰小学校	久万	わたなべ歯科医院	面河	面河体育館		
久万	畑野川小学校	久万	IC ランド土居	面河	面河小学校	柳谷	役場「柳谷支所」
久万	久万中学校	久万	道の駅天空の郷さんさん	面河	おもご高齢者生活支援ハウス	柳谷	柳谷小学校
久万	上浮穴高等学校	久万	道の駅防災センター	面河	若山集会所	柳谷	四国電力面河発電所
久万	久万高原町立病院	久万	久万カントリークラブ	面河	相ノ峰公民館	柳谷	消防団多機能車両
久万	父二峰診療所	久万	高原ゴルフ倶楽部	面河	面河診療所	柳谷	中津公民館
久万	国民宿舎「古岩屋荘」	久万	入野福祉館	面河	消防団多機能車両	柳谷	古味集会所
久万	久万スキーランド	久万	農業公園アグリピア				

<上級・普通救命講習受講人数>



<救命入門コース等実施状況>

(平成30年)

区分	学校	女性防火クラブ	官公庁	消防団	会社事業所	地域自主防	各種団体	合計
実施回数	8	-	1	-	3	1	1	14回
参加人員	303	-	9	-	42	11	71	436人

<普通・上級救命講習実施状況>

(平成30年)

区分	学校	女性防火クラブ	官公庁	消防団	会社事業所	地域自主防	各種団体	合計
普通	回数	8	-	-	5	-	6	19回
	人員	222	-	-	72	-	76	370人
上級	回数	1	-	-	-	-	-	1回
	人員	3	-	-	-	-	-	3人

〔救命率の向上〕・・・救急救命士・高規格救急自動車の運用から 22 年

久万高原町消防本部(旧上浮穴消防本部)においては、平成 8 年1月から救急救命士1名により救命処置の行える高規格救急自動車 1 台の運用を開始し、平成 31 年 4 月1日現在、高規格救急自動車 4 台と救急救命士 12 名、救急科修了者 21 名、救急Ⅱ課程修了者 1 名で救急隊の運用を行っています。

＜救急隊員の資格状況＞

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

項目・名称	救急救命士	救急科	救急Ⅱ課程	合計
資格者数	15	22	4	41 名
運用者数	12	21	1	34 名

〔救急救命士の状況〕・・・12 名の救急救命士が活動中(救急救命士有資格者は 15 名)

救急隊員が救急救命士の資格を取得するためには、救急科(救急Ⅰ課程+救急Ⅱ課程)の教育訓練を受けたものが、救急救命士養成課程(5 年以上又は 2,000 時間以上の実務経験を有する救急隊員に対する 835 時間以上の教育訓練)を修了した後、国家試験に合格し厚生労働大臣の免許を受けることが必要です。

このようにして、資格を取得した救急救命士の行う救急救命処置の範囲が、平成 4 年 3 月に厚生省より示されました。その後、救急救命士の業務のあり方に関する検討がなされ、平成 15 年 3 月及び平成 26 年 1 月に救急救命処置の範囲の改正が行われ、救急救命士の行う救急救命処置として、医師の包括的指示を受けて行う行為と具体的指示を受けて行う 5 項目が定められています。

1. 医師の包括的指示に基づくもの(抜粋)

- ① AED(自動体外式除細動器)による除細動
- ② 血糖値測定

2. 医師の具体的指示に基づくもの

- ① 乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液
- ② 食道閉鎖式エアウェイ、ラリングアルマスク又は気管内チューブによる気道確保
- ③ 救急薬剤(アドレナリン1剤)の投与
- ④ 心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液
- ⑤ 低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与

〔救急業務高度化教育〕・・・救急隊員・救急救命士の教育

久万高原町消防本部では町民の負託にこたえるため、救急業務高度化計画に基づき、計画的に(財)救急振興財団救急救命九州研修所や消防学校救急科、消防大学校救急科等、救急救命士養成教育・薬剤投与追加講習・救急隊員養成教育等に派遣しています。

また、メディカルコントロール体制のもと、救急救命士就業前研修や救急救命士再教育、さらには救急救命士気管挿管実習として、指定医療機関等に派遣し救急隊員の資質の向上に努めています。

さらに、町内の医療機関と合同で症例検討会や意見交換会を定期的実施し、救急隊員の資質の向上に努めています。

<平成 30 年中の主な救急隊員外部研修>

番号 ・ 研修内容	研修場所 ・ 実施機関	人員	派遣期間等
1, 救急救命士再教育及び病院実習	中予地域の 4 医療機関	12	40 時間以上
2, 救急救命士新規養成	北九州市・救急振興財団	1	8 月 31 日～3 月 11 日
3, 第 29 回中予地域 MC 研修会	松山市保健所・消防合同庁舎	5	3 月 17 日 (13:00～16:00)
4, 救急救命士処置拡大追加講習	愛媛県消防学校	2	12 月 3 日～12 月 7 日 12 月 10 日～12 月 14 日

* 医療機関は愛大医学部附属病院・県立中央病院・松山赤十字病院・松山市民病院

* MCはメディカルコントロールの略

[メディカルコントロール]・・・医学的観点から応急処置等の質を保障

救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置などの質を向上させ、救急業務の更なる高度化を推進するため、県に「愛媛県メディカルコントロール協議会」、東・中・南予に「地域メディカルコントロール協議会」を設置しメディカルコントロール体制の充実が図られています。

1. メディカルコントロール体制とは、消防機関と医療機関との連携による以下の体制を言います。

- ① 救急隊が現場からいつでも迅速に医師に指示・指導・助言が要請できる。
- ② 救急活動時の医学的判断・処置について医師が事後検証を行い、その結果を再教育に活用する。
- ③ 救急救命士の再教育として医療機関において定期的に病院実習を行う。

2. これらメディカルコントロール体制の整備に伴い、救急救命士の救命処置拡大も推進されました。

- ① 気管挿管は、平成 16 年 7 月から講習及び病院実習を修了した救急救命士により実施が可能となり、平成 16 年度から消防学校並びに実習病院に派遣し養成を行い、平成 31 年 4 月 1 日現在 12 名の認定救急救命士が活動しています。
- ② 薬剤投与は、平成 18 年 4 月から救急救命士による救急薬剤(アドレナリン)の使用が可能となりました。しかし、薬剤の使用には高度な専門性を有する講習を修了する必要があるため、平成 18 年度から、救急振興財団救急救命九州研修所及び広島市消防局に派遣、教育と病院実習を修了し、平成 31 年 4 月 1 日現在 12 名の認定救急救命士が活動しています。
- ③ AED(自動体外式除細動器)による除細動は、平成 16 年 7 月に示された厚生労働省告示により、非医療従事者も可能になったことを受け、救急救命士を除く消防職員に研修を行い救急現場での実施が可能となりました。

これらに併せて、久万高原町消防本部では管内の救急告示医療機関との連携をますます強化し、メディカルコントロール体制の整備に合わせた資器材の導入やシステムなどの構築を推進するとともに、救急救命士を含む救急隊員のレベルアップや資質の向上に努めています。

- ④ 心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与は、平成 26 年 1 月 31 日から必要とされるカリキュラムを修了した救急救命士により実施が可能となり、平成 31 年 4 月 1 日現在 11 名の認定救急救命士が活動しています。

〔ヘリ救急への取り組み〕・・・ヘリ救急(医師同乗含む)と愛媛県ドクターヘリ運航

久万高原町は石鎚山系を含む山間地域で広大な面積を有することから、救急現場から医療機関への傷病者搬送に長距離・長時間を要する場合が多く、緊急性や重症度の高い傷病者の搬送に搬送時間の短縮や高次医療機関への早期搬送に威力を発揮するヘリコプターの活用を図ることは重要です。さらに、この消防防災ヘリコプターに医師が同乗することにより、傷病者を早期に医師の管理下に置き医療が開始されることから、傷病者の救命や予後の向上に有用であることは疑うべくもありません。

このことから、平成15年1月に、管内の地理的条件や傷病者の傷病状態を考慮した「消防防災ヘリコプター救急運用マニュアル」を作成し、愛媛県防災航空事務所をはじめ、愛媛県立中央病院・愛媛大学医学部附属病院救急部を含む関係機関の協力のもと、消防防災ヘリコプターでの救急搬送(医師同乗含む)の運用を実施しています。

また、愛媛県においても平成21年8月20日より愛媛県消防防災ヘリコプターのドクターヘリの運航が開始、平成29年2月1日からは、愛媛県ドクターヘリの運航が開始され、早期に医師による治療を開始し医療機関に搬送を行い救命率の向上及び後遺障害の軽減を図り、傷病者の利益を第一とすることを目的として運航されています。

〔ドクターカーとの連携〕・・・愛媛県立中央病院のドクターカー運行

平成22年3月より、愛媛県立中央病院が「ドクターカー」の運行を開始しました。久万高原町消防本部においても、ドクターヘリ(的)運航ができない場合や、転院搬送時における傷病者の急変などを視野にいれ、ドクターヘリ(的)運航と同様に有効活用を図っています。(救急編 ドクターヘリ(的)運航・ドクターヘリ運航・ドクターカー運行状況参照)

〔救急需要への対応〕

全国的には軽症者の搬送が救急搬送全体の約半数を占めている現状に加え、頻回利用やタクシー代わりなどの不適切利用が指摘され、それらの対策として、①軽症利用者等への代替措置の提供(民間の患者搬送事業者などの活用)、②転院搬送業務への病院救急自動車の活用、③119番受信時及び救急現場における緊急度・重症度の選別(トリアージ)などが推進されつつあります。

久万高原町の救急件数は、過疎化や少子・高齢化が進展しているものの横ばい状態にあり、人口減少は続いているが高齢化や独居化及び住民意識の変化に伴い、今後しばらくは横ばい状態を示すものと考察されます。このような状況の中、当消防本部においては、救急搬送全体に占める転院搬送の割合(24.4%)が大きいことから、2台以上の救急車が町外へ転院搬送に出場した場合、町内の救急対応に苦慮することが考えられます。

このことから、医療機関の理解を得ながら、町内の救急対応に不備が生じないよう手段を講じるとともに、民間患者搬送事業者等の活用も考慮するなど、真に緊急を要する傷病者への対応の遅れや救命率に影響が出ないよう努めることが求められています。

〔DMAT〕・・・災害派遣医療チームについて

愛媛県においては、二次医療圏単位で8病院を災害拠点病院に指定し、災害時に多発する傷病者の受入や後方搬送を円滑に行うための体制が構築されています。

併せて、DMAT(災害派遣医療チーム)の災害拠点病院への配備が進められ、平成30年末現在で、8病院22チームが配備されています。

これは、近い将来発生が予測され、四国地域全域に亘り甚大な被害を及ぼすことが危惧されている東南海・南海地震をはじめ、県内外において発生する大小の自然災害や大規模事故等への迅速な対応による救命率の向上を図ることを目的としています。

救助体制

近年、災害の態様が複雑多様化していることに加え、東日本大震災や熊本地震を始めとした地震災害、御嶽山の噴火、全国各地で発生する土砂災害など、大規模な自然災害が全国各地で多発しています。このような状況のなか、西日本を中心に甚大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨」では、県内においても河川の氾濫・浸水害、土砂災害が多発し、多くの尊い命が奪われました。

近年の救助業務においては、これらの災害に対応するため、救助隊員の新たな知識・技術の習得及び救助資器材の充実強化が求められています。また、消防力を結集し被害軽減を図る広域消防連携活動の体制強化が重要視されており、「平成30年7月豪雨」では県内初となる広域消防応援活動が展開されました。このような状況を踏まえ、当消防本部においても他消防本部(局)との合同訓練に参加し、効果的な現場活動が行えるよう連携強化を図っています。

〔救助出動の状況〕・・・主な出動として、救急搬送応援、ヘリ支援、山岳事故が挙げられる

平成30年中の救助活動状況は、救助出動件数49件、救助活動件数42件で救助人員は40人となっています。なかでも、山岳における救助活動は、一旦発生すると多くの人員と時間を要するため、各関係機関が連携協力して対応にあたっています。

＜事故種別の救助活動状況＞（「救助編・救助出動及び活動状況」参照）

事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他					合計	
									高所転落	搬送応援	ヘリ支援	捜索活動	山岳事故		その他
出動件数	3	4	-	-	1	1	-	-	-	15	13	4	5	3	49
活動件数	3	2	-	-	1	-	-	-	-	13	13	4	3	3	42
救助人員	-	2	-	-	1	-	-	-	-	13	13	4	4	3	40

〔救助隊員の育成〕・・・専門的知識と技術の習得

救助隊員には、如何なる災害にも対応できる体力・精神力及び専門的知識・技術を身に付けることが不可欠です。当消防本部では日々訓練に励み救助隊としてのチームワークと個々の能力向上を図っています。

また、消防大学校救助科及び愛媛県消防学校救助科へ職員を入校させ、教育指導者を育成し、救助隊として統制のとれた教育を実施しています。

〔山岳救助隊〕・・・中高年者の事故が多い傾向

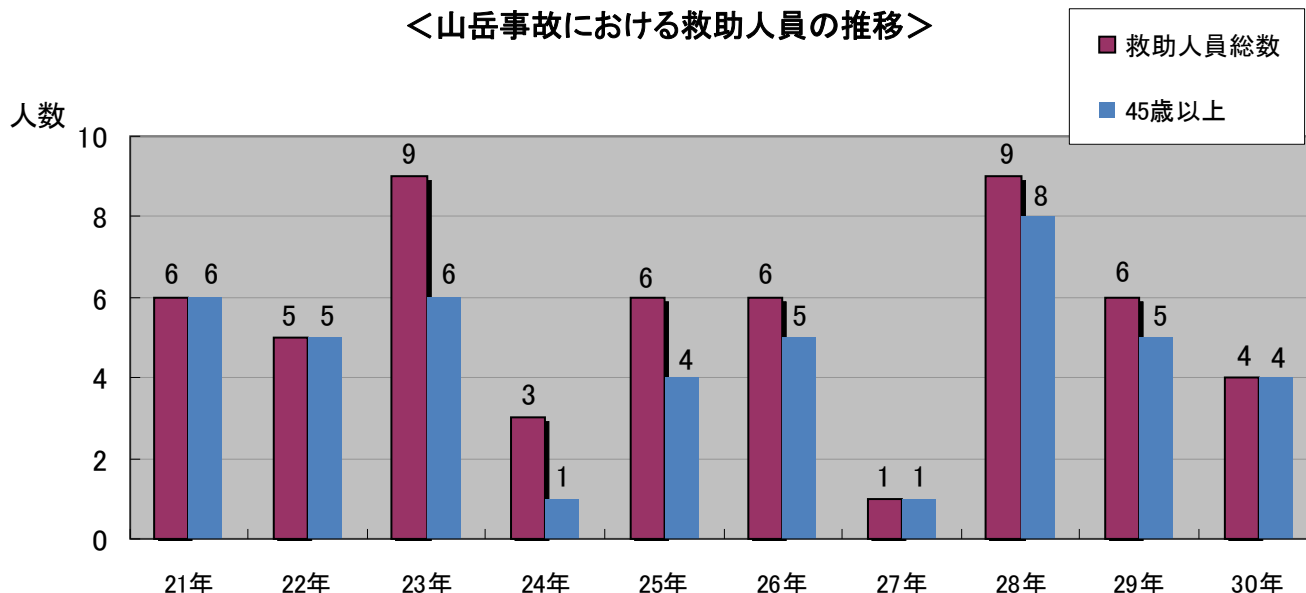
当消防本部は、西日本最高峰の石鎚山を抱え、山岳事故が四季を問わず発生しています。過去10年間の山岳事故に関する救助人員は55人で、そのうち45人(約80%)が45歳以上となっており、近年の中高年者の登山ブームが大きく影響しているものと思われます。

山岳救助対策の取組みとして、山岳救助隊を配置し、山岳における救助技術の向上に努めています。また、毎年、県警主催による冬季山岳救助訓練に参加し、厳冬期における山岳救助技術を向上させています。さらに、山岳救助訓練として、山岳地帯での引揚げ訓練、要救助者の搬送訓練を始め、登山ルートの確認及びヘ

リピックアップポイント,登山所要時間,携帯電話・消防無線感度調査を実施しています。

毎年「石鎚山お山開き大祭」に備え,消防・消防団・警察・日赤・神社等の関係機関が安全対策会議を開催するとともに,7月1日～10日の大祭期間中には協力・連携して警備にあたっており,登山道中間点に救護員・登山道入口に救急隊1隊を配置しています。平成30年の大祭期間中は,「平成30年7月豪雨」の影響で,石鎚スカイラインが土砂崩れにより通行止めとなったため,警備については石鎚スカイラインが通行可能であった3日間のみ実施しています。なお,大祭期間中に山岳事故は発生していません。

＜山岳事故における救助人員の推移＞



〔消防防災ヘリコプターの活用方策〕・・・効果的な連携活動の重要性

愛媛県では,平成8年10月から消防防災ヘリコプター(以下「防災ヘリ」)を運用しています。防災ヘリは災害情報の総合的な把握,林野火災における空中消火,山岳救助活動に極めて有効です。平成30年中の防災ヘリ出動要請件数は4件で,全て山岳事故となっています。

当消防本部では,あらゆる災害現場において防災ヘリを有効的に活用するため,定期的な合同訓練に加え防災ヘリの特性をよく理解し,地上隊として連携の取れた活動が展開できるよう救助技術のレベルアップに努めています。

また,長時間の救急搬送になる地域や,大規模災害時に孤立集落になる恐れのある地域にヘリポートを整備し,より効果的な防災ヘリ運用ができる体制作りを目指しています。平成30年は,面河地区の基幹ヘリポートとして,旧面河第一小学校のグラウンドに愛媛県地域ヘリポート整備支援事業を活用してヘリポートを整備しています。(「救助編・ヘリコプター離着陸場一覧」参照)



総務編

平成30年度おもな行事

4月	2日	辞令交付・職員会・消和会総会
	4	愛媛県消防学校初任教育入校式(3名)
	4	愛媛県消防長会春季総会(東京第一ホテル松山)
	4	第2回中四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練実行委員会
	6	愛媛県消防学校地震体験車操作員研修(2名)
	7	三団交流会(栲原町)
	10	第30回久万高原町消防警察捜索推進協議会(消防本部)
	13	愛媛県消防協会中予支部総会(松山市)
	14	人の輪作戦・交通安全ふれあいフェア(産業文化会館)
	15	操法合同訓練(消防本部)
	15	第1回消防団幹部会(団拠点施設)
	17	愛媛県消防操法担当者打合せ会(消防学校)
	25	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会(消防本部)
	26	全国消防長会四国支部総会・職員意見発表会(阿南市ロイヤルガーデンホテル)
	26	愛媛県消防長会消防救助技術研修会(松山市保健所 消防合同庁舎)
5月	2	愛媛県消防協会第1回会長業務執行理事会・定例理事会(愛媛県消防協会)
	8	土砂災害・防災訓練地区説明会
	10～11	愛媛県消防操法大会審査員打合せ会
	10	松山地区危険物安全協会通常総会
	11	愛媛県消防長会予防事務担当者研修会(松山市保健所 消防合同庁舎)
	11～12	日本救急医学会中四国地方会(広島市)
	16	少年消防クラブ任命式(久万小)
	17	愛媛県消防協会定例評議委員会
	18	少年消防クラブ結団式(美川中)
	19	消防・警察体力錬成会
	23	県消防・合同慰霊祭・消防大会(松山市)
	23	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会理事会
	25	中予地区消防長会総会
	26	久万婦人会・青年団合同防災講習会(消防本部)
	27	土砂災害防止訓練(渋草地区)
	30	上浮穴郡纏会総会(消防本部)
	31～6/1	第70回全国消防長会総会(東京都)
	31～6/2	日本臨床救急医学会総会(福岡市)
6月	1～30	土砂災害防止月間
	1～7	がけ崩れ防災週間
	3	操法大会審査員講習会(消防本部)
	3～9	危険物安全週間
	4～8	救急救命士再教育病院実習(1名)愛大附属病院
	4～15	ビデオ喉頭鏡挿管実習(1名)松山赤十字病院
	6	新規採用職員研修(防災)
	9	中予支部女性消防団員体力錬成大会(砥部町)
	11	愛媛県救助大会運営要員事前説明会(松山西署)
	17	第7回久万高原町消防操法大会(消防本部)
	19	安全運転管理者講習(上浮穴建設会館)
	22	久万納涼まつり実行委員会(産業文化会館)
	25～29	救急救命士再教育病院実習(1名)県立中央病院
	26	町村会臨時総会及び全員連絡会(消防本部他)
	30	救友会八幡浜大会
7月	1～10	石鎚お山開き警備
	1	栲原消防団・女性消防隊連合演習(大越グラウンド)

7月	2～5	久万・美川中学生職場体験学習
	7	中予MC症例検討会(松山市保健所 消防合同庁舎)
	19	自殺未遂者連携検討会(保健センター)
	20	安全運転管理者協議会理事会・総会
	23～27	救急救命士再教育病院実習(1名)県立中央病院
	27	予防技術講習会
	30～8/24	救急救命士就業前研修(1名)県立中央病院
8月	3	久万納涼まつり警備(久万おどり・花火大会)
	4	久万納涼まつり警備(御用木まつり)
	6～10	救急救命士再教育病院実習(1名)松山市民病院
	10	生活・介護支援サポーター養成講座協力
	13～17	初任教育所属研修
	13～17	救急救命士再教育病院実習(1名)愛大附属病院
	18	みかわ納涼まつり警備
	20	救命士再教育病院実習(1名)松山赤十字病院
	23	全国消防協会全国優良消防職員表彰式(京都市)
	25	久万高原町防災士養成講座研修(消防本部会議室)
	27	救急救命士再教育病院実習(1名)松山赤十字病院
	28	愛媛県消防長会違反是正研修会(伊予消防)
	29	中予圏域連携・協力ワーキンググループ会議
	30	全国消防長会四国支部総務事務担当者会(高知市)
9月	1	防災の日
	1～3/11	第36期救急救命士課程入校(1名)
	2	第8回石鎚ヒルクライムレース
	6	7月豪雨被災地視察研修
	7	交通安全運動合同役員会(久万高原署)
	8	初任教育訓練発表会
	9～15	救急医療週間
	9	救急の日救急啓発行事(道の駅)
	13	全国殉職者慰霊祭(東京都・団長)
	21～9/30	秋の全国交通安全運動
	21	初任教育卒業式
10月	1	辞令交付
	1	救急救命士再教育病院実習(1名)松山市民病院
	2	口頭指導技術発表会
	3	県消防長会警防事務担当者研修会
	4	消防実務合同研修会(西予市)
	12	西部四国山地消防相互応援協定連絡会(城川町)
	13	少年消防クラブ指導者交流会(東京都)
	16	消防学校教育担当者会議
	16	救助隊山岳救助訓練
	19	全国消防長会四国支部予防事務担当者会(高松市)
	20	消防団員指導員研修会(愛媛県消防学校)
	24	愛媛県消防長会通信事務担当者研修会(松山市保健所 消防合同庁舎)
	26	防災へり合同訓練
	29～31	実火災体験型訓練施設研修(1名)
31	愛媛県消防長会火災調査担当者研修会(松山市保健所 消防合同庁舎)	
11月	2	愛媛県消防長会違反是正事例研修会(2名)
	4	消防吏員採用試験
	5～	愛媛県消防学校警防科入校(1名)
	8～10	全国女性消防団員活性化滋賀大会
	9～15	秋季全国火災予防運動
	9	愛媛県消防長会秋季総会(東温市)
	9	119番口頭指導技術発表会(1名・松山市保健所 消防合同庁舎)
13	愛媛県消防学校火災調査科入校(1名)	

11月	21	全国消防長会四国支部消防長研修会(徳島市)	
	24	消防吏員採用第2次試験	
	25	町総合防災訓練(秋の火災防御訓練)	
	29	全国消防長会四国支部警防事務担当者会議(松山市保健所 消防合同庁舎)	
	30～12/1	愛媛県消防学校機関員運転研修(2名)	
12月	3～7	救急救命士に対する追加講習第7期(1名)	
	10～14	救急救命士に対する追加講習第8期(1名)	
	10～21	愛媛県消防学校予防査察科入校(1名)	
	13	防火のお便り(畑野川地区)	
	15	久万高原安全・安心を守る交流会	
	16	自治体消防70周年記念消防団活動推進大会(アイテムえひめ)	
	20～1/10	年末・年始特別火災予防運動	
	21	えひめ防災の日	
	25～1/3	年末・年始特別警戒	
	26	中学生消防体験実習(消防学校)	
1月	27～30	消防団年末特別警戒	
	28	消防団年末警戒本部巡視	
	4	町長年頭挨拶・仕事始め式	
	12	砥部町消防出初式	
	13	松前町消防出初式	
	13	愛媛県災害医療研修	
	15	愛媛県消防長会違反是正推進連絡会	
	15	愛媛県消防学校救急科入校式(1名)	
	16	国県市町災害対策本部合同運営訓練	
	20	伊予市消防出初式	
	21	県婦人防火クラブ連絡協議会	
	24	第26回全国救急隊員シンポジウム	
	25	全国MC協議会	
	25	防災へり運行会議	
	26	文化財防火デー	
	27	松山消防出初式	
	28～29	県警合同冬季山岳救助訓練	
	2月	1	県消防協会中予支部役員会
		16	県MC症例検討会・東予地域MC症例検討会
17		久万高原町消防団出初式	
20		県消防協会定例理事会	
26		中予地区消防長会合同訓練	
3月	4	防災まちづくり大賞表彰式	
	5	中四ブロック救急医療対策協議会	
	12	大洲市・内子町婦人防火クラブ交流会	
	16	中予地区メディカルコントロール協議会研修会	
	19	国民保護協議会	
	29	退職職員辞令交付式	

職員の年齢別状況

(平成31年4月1日現在)

階級 年齢	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消 防 士	その他	計						
									1	2	3	4	5	6
18	-	-	-	-	-	-	-	-						
19	-	-	-	-	-	-	-	-						
20	-	-	-	-	-	-	-	-						
21	-	-	-	-	-	1	-	1	■					
22	-	-	-	-	-	3	-	3	■	■	■			
23	-	-	-	-	-	1	-	1	■					
24	-	-	-	-	-	-	-	-						
25	-	-	-	-	-	1	-	1	■					
26	-	-	-	-	-	1	-	1	■					
27	-	-	-	-	-	-	-	-						
28	-	-	-	-	1	-	-	1	■					
29	-	-	-	-	4	-	-	4	■	■	■	■		
30	-	-	-	1	2	-	-	3	■	■	■			
31	-	-	-	-	-	-	-	-						
32	-	-	-	4	-	-	-	4	■	■	■	■		
33	-	-	-	-	-	-	-	-						
34	-	-	-	-	-	-	-	-						
35	-	-	-	1	-	-	-	1	■					
36	-	-	-	-	-	-	-	-						
37	-	-	-	1	-	-	-	1	■					
38	-	-	1	-	-	-	-	1	■					
39	-	-	-	-	-	-	-	-						
40	-	-	2	-	-	-	-	2	■	■				
41	-	-	1	-	-	-	1	2	■	■				
42	-	-	2	-	-	-	-	2	■	■				
43	-	-	-	-	-	-	-	-						
44	-	-	1	-	-	-	-	1	■					
45	-	-	1	-	-	-	-	1	■					
46	-	1	1	-	-	-	-	2	■	■				
47	-	-	2	-	-	-	-	2	■	■				
48	-	1	-	-	-	-	-	1	■					
49	-	-	-	-	-	-	-	-						
50	-	1	1	-	-	-	-	2	■	■				
51	-	-	-	-	-	-	-	-						
52	-	-	-	-	-	-	-	-						
53	-	-	-	-	-	-	-	-						
54	-	-	-	-	-	-	-	-						
55	-	1	-	-	-	-	-	1	■					
56	-	2	-	-	-	-	-	2	■	■				
57	-	-	-	-	-	-	-	-						
58	1	-	-	-	-	-	-	1	■					
59	-	1	-	-	-	-	-	1	■					
人員数	1	7	12	7	7	7	1	42						
平均年齢	58	53	44	33	29	23	41	37.8						

消防職員居住地状況

(平成31年4月1日現在)

階級 町村別	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他	計					
									0	10	20	30	40
久万地区	1	5	8	7	6	5	1	33					
面河地区	-	-	-	-	-	-	-	-					
美川地区	-	-	4	-	1	2	-	7					
柳谷地区	-	2	-	-	-	-	-	2					
合計	1	7	12	7	7	7	1	42					

消防職員出身地状況

階級 町村別	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他	計					
									0	10	20	30	40
久万地区	1	5	6	5	4	3	1	25					
面河地区	-	-	-	-	-	-	-	-					
美川地区	-	-	5	1	2	1	-	9					
柳谷地区	-	2	1	-	-	-	-	3					
町外	-	-	-	1	1	3	-	5					
合計	1	7	12	7	7	7	1	42					

消防吏員の採用及び退職

年 度	採 用 ・ 退 職 別	合 計	階 級 別						採 用 ・ 退 職 区 分									
			消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他	新 規 採 用	村 組 合 内 異 動	役 場 転 職	公 務 死 亡	死 亡 退 職	分 限 免 職	懲 戒 免 職	依 願 退 職	定 年 退 職
昭和53年度	採用	28	1	-	1	-	-	26	-	27	1	-	-	-	-	-	-	-
昭和54年度	採用	5	1	-	-	-	-	4	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
昭和58年度	退職	3	1	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1
昭和59年度	採用	8	1	-	-	-	1	6	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-
昭和63年度	退職	8	1	-	-	4	-	3	-	-	1	1	-	1	-	-	4	1
平成元年度	採用	6	-	-	-	-	-	6	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
平成5年度	退職	5	1	-	1	1	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	3	1
平成6年度	採用	10	-	-	-	-	-	10	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
平成10年度	退職	3	-	-	2	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-
平成11年度	採用	4	-	-	-	-	-	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
平成15年度	退職	4	-	-	1	-	1	2	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-
平成16年度	採用	16	1	-	-	1	1	10	3	10	-	6	-	-	-	-	-	-
平成20年度	退職	14	2	-	3	4	2	1	2	-	6	1	-	-	-	-	2	5
平成21年度	採用	13	-	-	-	-	-	10	3	10	-	3	-	-	-	-	-	-
平成25年度	退職	9	1	2	-	-	-	3	3	-	-	3	-	1	1	-	3	1
平成26年度	採用	7	-	-	-	-	-	6	1	6	-	1	-	-	-	-	-	-
平成30年度	退職	10	1	5	-	1	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	3	6
累 計	採用	97	4	-	1	1	2	82	7	82	5	10	-	-	-	-	-	-
	退職	56	7	7	8	10	4	14	6	-	9	8	-	3	1	1	19	15

消防職員研修状況

(平成31年4月1日現在)

研修内容		年度別	平20 以前	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	計
消 防 大 学 校	本 科		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	幹部科(上級幹部科)		4	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	6
	警防科		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	予防科		3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4
	救急科		4	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	6
	救助科		5	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	7
	火災調査講習会・危機管理セミナー・ 国民保護コース		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛 媛 県 消 防 大 学 校	初任教育		66	-	2	2	2	4	-	-	3	-	2	81
	幹部教育(初級幹部科)		12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	21
	警防科(警防課程)		10	-	1	-	-	1	1	1	1	1	1	17
	警防科(無線通信課程)		16	-	-	1	2	4	-	-	-	-	1	24
	予防科		23	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	33
	救急科(救急Ⅰ・Ⅱ課程)		60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60
	救急科(救急標準課程・救急科)		13	2	-	2	2	2	3	-	3	-	1	28
	救急救命士追加講習		8	-	-	-	-	-	-	3	1	-	2	14
	救助科		11	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	19
	機関員運転研修		-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	6
	火災調査実務研修科		21	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	31
	消防団員教育指導科		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	応急手当指導者研修科		17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
	ポンプ操法幹部(実務)研修科		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
地震体験車操作員講習会		16	-	1	12	-	-	-	3	3	3	2	40	
山岳遭難救助指導者講習会		7	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	9	
火災原因調査入門・基礎講座		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
救急救命士養成所		14	-	1	1	-	-	-	1	1	1	1	20	
救急救命士(薬剤投与追加講習)		5	2	2	1	-	-	-	-	-	2	2	14	
赤十字水上安全法講習会		10	2	-	1	2	-	2	1	-	-	-	18	
救急医療研修会(栃木県)		5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
日本救急医学総会/日本臨床救急医学総会		22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	
日本救急医学会中国四国地方会		23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	
病院研修 救急救命士現任研修 追加研修・就業前研修		97	11	11	11	13	11	10	11	11	10	12	208	
合 計		492	22	23	36	27	26	21	25	30	23	28	753	

消防職員自主研修状況

年 度	研 修 内 容	場 所	申 請 者
平成30年度	第21回 全国消防救助シンポジウム	東京都	1名

消防職員特殊技能有資格状況

(平成31年4月1日現在)

資格種別	階級	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	計
自動車普通免許一種		1	7	13	7	7	7	42
大型自動車免許一種		1	7	13	7	7	3	38
大型特殊自動車免許		-	-	2	1	-	-	3
自動二輪自動車免許		1	4	7	4	3	4	23
ショベルローター等運転技術者		-	2	1	-	-	-	3
消防設備士乙1		-	1	-	-	-	-	1
消防設備士乙4		-	2	2	-	-	-	4
消防設備士乙5		-	2	1	-	-	-	3
消防設備士乙6		1	3	4	1	3	-	12
消防設備士乙7		-	1	1	-	1	-	3
消防設備点検資格者(第1種・2種)		-	2	1	-	-	-	3
危険物取扱者甲種		-	-	1	-	-	-	1
危険物取扱者乙1		-	3	2	3	2	2	12
危険物取扱者乙2		-	2	4	2	1	-	9
危険物取扱者乙3		-	3	5	1	2	-	11
危険物取扱者乙4		1	5	9	7	5	2	29
危険物取扱者乙5		-	2	5	2	2	-	11
危険物取扱者乙6		-	3	4	3	1	1	12
防災士		1	6	12	1	-	-	20
特殊無線技士乙・第3級陸上		1	7	12	7	7	5	39
救急隊員資格Ⅱ課程・標準課程		1	7	11	7	7	5	38
救急救命士		-	4	8	2	-	1	15
JPTECプロバイター・インストラクター		-	1	4	5	-	1	11
ACLSプロバイター・インストラクター		-	-	1	-	-	-	1
MCLSプロバイター・インストラクター		-	2	1	1	-	-	4
日赤救急法指導員		-	1	1	-	-	-	2
日赤水上安全法救助員		1	4	4	1	3	-	13
山岳遭難救助研修会		-	3	3	-	-	-	6
ガス・アーク溶接		-	3	2	1	-	1	7
有機溶剤作業主任者		-	1	-	-	-	-	1
酸素欠乏危険作業主任者		-	3	2	-	3	-	8
足場組立作業主任者		-	-	1	-	-	-	1
玉掛け技能講習会		-	2	4	1	-	-	7
小型船舶操縦士		-	1	2	1	1	-	5
浄化槽管理技術者		-	1	-	-	-	-	1
廃棄物処理技術者		-	1	-	-	-	-	1
第2種電気工事士		-	-	1	-	-	-	1
アマチュア無線技士		1	2	5	-	2	-	10
柔道(初段以上)		-	2	1	1	2	-	6
剣道(初段以上)		-	-	3	-	2	1	6

消防職員諸手当支給状況

(平成31年4月1日現在)

	区分	支給単位	金額	適 要
諸手当				
管 理 職 手 当		月	職務の級 6級 — 44,000円 5級 — 33,000円 4級 — 22,000円	
管理職員特別勤務手当		1 回	6,000円 (6時間を超える場合1.5倍) 8,000円 (6時間を超える場合1.5倍)	
時間外勤務手当 (60時間以内の場合)	時間	正 規 の 勤 務 日	$\frac{125}{100} \cdot \frac{150}{100}$	管 理 職 を 除 く 全 員
		週 休 日	$\frac{135}{100} \cdot \frac{160}{100}$	
		週休日の振替勤務	$\frac{25}{100}$	
夜間勤務手当		時間	$\frac{25}{100}$	
休日勤務手当	時間	当務12×	$\frac{135}{100}$	管 理 職 を 除 く 隔 日 勤 務 者
		非番4×	$\frac{135}{100}$	
		週休8×	$\frac{135}{100}$	
特殊勤務手当	勤務日手当	日	350円 (平成20年4月1日 施行)	消 防 職 員
	救急・消防・防災業務	1 回	100円 (平成20年4月1日 施行)	消 防 職 員
	救急救命士 出動手当	1 回	150円 (平成20年4月1日 施行)	救 急 救 命 士

消防費にかかる一世帯当たり及び一人当たりの金額

(平成29年度)

区分	消 防 費 (千円)	一世帯当たりの額 (円)	人口一人当たりの額 (円)
町村名			
久 万 高 原 町	458,869	103,465	55,762

平成29年度会計決算額と消防費決算額の割合

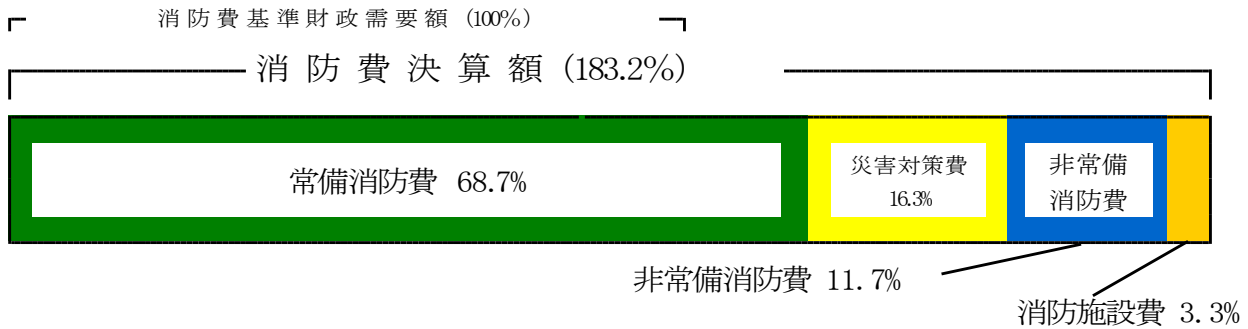
(単位:千円)

区分	一般会計決算額	消防費決算額	割 合 (%)
町村名			
久 万 高 原 町	10,798,685	458,869	4.2

平成29年度消防費基準財政需要額と消防費関係状況

(単位:千円)

区分 町村名	消防費 基準財政需要額	消防費決算額			
		常備消防費	非常備消防費	消防施設費	災害対策費
久万高原町	250,510	315,230	53,676	15,005	74,958

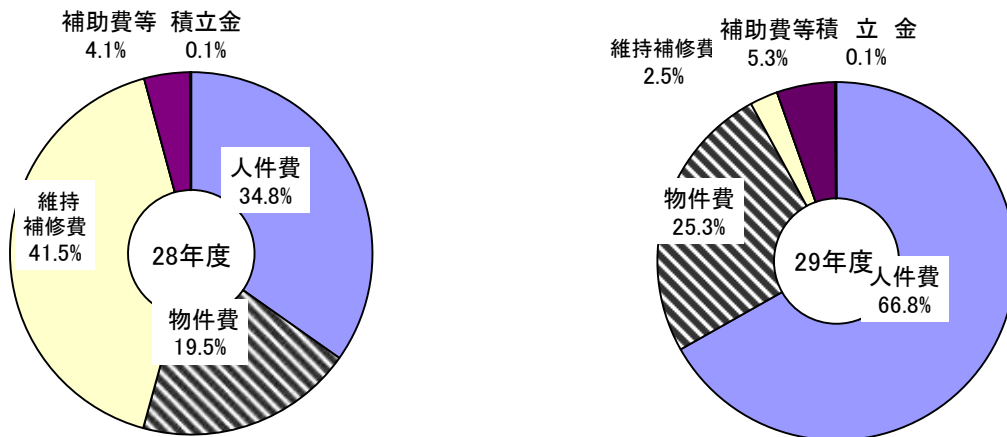


消防費決算内訳状況

(単位:千円)

区分	年度	29年度消防費歳出合計							
		28年度	%	%	常備消防	非常備消防	消防施設費	災害対策費	
人件費	304,475	34.8	306,815	66.8	285,267	21,515	—	33	
物件費	170,045	19.5	116,175	25.3	26,692	13,840	13,840	61,803	
維持補修費	363,307	41.5	11,537	2.5	—	—	—	11,537	
扶助費等	—	—	—	—	—	—	—	—	
補助費等	35,865	4.1	24,271	5.3	3,200	18,321	1,165	1,585	
公債費	—	—	—	—	—	—	—	—	
普通建設事業費	—	—	—	—	—	—	—	—	
積立金	979	0.1	71	0.1	71	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	874,671	100.0	458,869	100.0	315,230	53,676	15,005	74,958	

<平成28・29年度消防費決算状況グラフ比較>



※ 平成28年度, 新庁舎建設に伴い, 維持補修費が増額したものの

ほう賞及び表彰受賞(章)状況

〔消防職員〕

表彰者	表彰種別	年度別	平21 以前	22	23	24	25	26	27	28	29	30	計
消防庁長官	消防防災機器の開発等の 消防庁長官表彰		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	消防功労者 消防庁長官表彰		2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
全国消防長会長	永年勤続功労賞		46	1	2	2	1	1	-	-	-	1	54
	消防特別功労表彰		-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
全国消防長会 四国支部長	優良消防職員表彰		5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
全国消防協会 会長	全国優良消防職員表彰		2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
愛媛県知事	消防功労者定例知事表彰		7	-	-	-	-	1	1	-	1	1	11
	特別知事表彰		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
上浮穴郡生活環境 事務組合 久万高原町	組合長表彰		24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
	消防長賞詞		17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17

〔消防本部〕

表彰者	表彰種別	年度別	平21 以前	22	23	24	25	26	27	28	29	30	計
消防庁長官	防災まちづくり大賞		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
	竿頭綬		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	全国消防広報コンクール入選		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
日本防火協会 会長	優良幼少年婦人 防火委員会表彰		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
上浮穴郡安全協会 久万警察署長	安全運転功労		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪管区气象台	感謝状		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
久万警察署長	感謝状		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県知事	献血推進感謝状		1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
上浮穴郡町村会 久万警察署長	感謝状		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
総務大臣	総務大臣表彰		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
全国消防長会	消防活動功労者表彰		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1

〔関係機関・一般(団体・個人)〕

表彰者	表彰種別	年度別	平21 以前	22	23	24	25	26	27	28	29	30	計
消防庁長官	優良少年消防 クラブ表彰		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
日本防火協会 会長	優良少年消防 クラブ表彰		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
日本消防協会 会長	優良団体表彰		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県婦人防火 クラブ連絡協議会 会長	優良団体表彰		2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3
日本消防協会 会長	優良婦人消防隊 (功績賞)		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1



予 防 編

年間の主な行事

実施月日	行事名	内 容
4月25日	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会	総会及び、視察研修（禰原学園）意見交換会を実施しました。
6月3日～ 6月9日	危険物安全週間	危険物関係事業所に対する査察の実施及び予防広報により、危険物の保安に対する意識の高揚啓発に努めました。
11月9日～ 11月15日	車両による広報	期間中管内を巡回し、火災予防広報を実施しました。
	ポスター 掲示	蛍光桃太郎旗80本の設置及び、防火ポスターを公共施設、事業所等に配布しました。
	放送による広報	期間中、防災行政無線により予防広報を実施しました。
	消防教室の実施	学校・事業所・地域を対象に通報・避難・消火訓練等を実施しました。
	立入検査の実施	防火対象物の立ち入り検査を実施しました。
10月23日～ 11月22日	一人暮らしのお年寄り宅防災診断	管内の一人暮らしのお年寄り世帯(65歳以上733戸)を対象に、ガス設備・風呂・煙突等を中心に危険箇所の点検、健康状況の調査及び災害予防のための調査・指導を実施、併せて住宅用火災警報器の設置推進の活動を実施しました。
11月13日	移動タンク等立入検査の実施	移動タンク・危険物運搬車両の立入検査を久万高原警察署との合同で実施しました。 (国道33号線：露峰国道検問所)
12月20日～ 1月10日	年末年始火災予防特別運動	一般住民の防火意識の高揚を図り、「火災の未然防止」「早期発見」「被害の軽減」を目的に、年末・年始火災予防特別警戒を実施しました。
2月5日	防火ポスター・習字コンクール	小・中学生よりポスターの部191点・防火習字・硬筆の部293点の応募があり153名を表彰しました。表彰作品については管内各施設で展示会を実施しました。
3月1日～ 3月7日	ポスター 掲示	秋季火災予防運動に同じ。
	放送による広報	
	防災教室の実施	
	立入検査の実施	
	後期高齢者夫婦世帯等防災診断 (3月1日～22日)	管内の後期高齢者夫婦世帯等（夫婦共75歳以上）339戸を対象に、ガス設備・風呂・煙突等を中心に危険箇所の点検、健康状況調査及び災害予防のための調査・指導を実施、併せて住宅用火災警報器の設置推進の活動を実施しました。

危険物施設数

(完成検査済証交付施設)

製造所等の別 数量の別	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
	屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	小 計	給 油	一 般	小 計	
5倍以下	2	1	1	6	2	9	-	21	2	2	4	25
5倍をこえ 10倍以下	2	3	-	1	-	-	-	6	2 (2)	-	2	8
10倍をこえ 50倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	3 (3)	2	5	5
50倍をこえ 100倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	7	7
100倍をこえ 150倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	3
150倍をこえ 200倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	2
200倍をこえ 1000倍以下	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1
合 計	4	4	1	8	2	9	0	28	18 (5)	5	23	51

※注 給油取扱所欄()は自家用を再掲

危険物関係事務の処理状況

施設別 種 類 別	貯 蔵 所								取扱所			合 計
	屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	小 計	給 油	一 般	小 計	
設 置 許 可	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
変 更 許 可	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	2
設 置 完 成 検 査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
変 更 完 成 検 査	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	2
予 防 規 程 の 認 可	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	5	5
仮貯蔵・仮取扱承認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仮使用の承認	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1
廃 止 届	-	-	-	-	-	-	4	4	1	1	2	6
譲 渡 引 渡 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
種 類 数 量 変 更 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
変 更 届	-	-	-	1	-	-	-	1	8	-	8	9
保安監督者選・解任届	2	-	-	-	-	-	-	2	4	-	4	6
取扱者選・解任届	-	-	-	2	1	2	-	5	-	2	2	7
休 止 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再 開 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	2	-	-	3	1	2	4	12	21	5	26	38

危険物手数料の徴収状況

(単位:円)

区分	地区別	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	計
	設置許可	-	-	-	-	-
変更許可	52,000	-	-	-	52,000	
設置完成検査	-	-	-	-	-	
変更完成検査	26,000	-	-	-	26,000	
水張(圧)検査	11,000	-	-	-	11,000	
仮貯蔵・仮取扱	-	-	-	-	-	
仮使用	5,400	-	-	-	5,400	
合計	94,400	-	-	-	94,400	

危険物施設に対する査察状況

製造所等の別	査察実績	査察施設数	延回数
屋内貯蔵所	1	1	
屋外タンク貯蔵所	3	3	
屋内タンク貯蔵所	-	-	
地下タンク貯蔵所	7	7	
簡易タンク貯蔵所	1	1	
移動タンク貯蔵所	3	3	
屋外貯蔵所	-	-	
給油取扱所	18	18	
一般取扱所	5	5	
合計	38	38	

消防用設備の設置状況

消防用設備別 防火対象物の区分			消火設備				警報設備					避難設備				
			屋内消火栓設備		スプリンクラー設備		自動火災報知設備		漏電火災警報器		非常警報設備		避難器具		誘導灯	
1	イ	観覧場・劇場	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	
	ロ	公会堂・集会場	9	4	-	-	18	11	1	1	29	9	1	1	32	21
2	イ	キャバレー等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ロ	遊技場等	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	1	
	ハ	性風俗関連店舗等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	イ	料理店等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ロ	飲食店等	-	-	-	-	3	3	1	1	-	-	-	3	3	
4		百貨店等	2	2	-	-	6	6	1	1	1	1	-	-	9	9
5	イ	旅館・ホテル等	8	7	-	-	18	17	2	2	3	3	9	9	18	18
	ロ	共同住宅等	-	-	-	-	21	4	3	2	1	1	-	-	-	-
6	イ	病院・診療所	1	1	1	1	3	3	-	-	2	2	-	-	5	5
	ロ	福祉施設	2	2	9	9	9	9	-	-	-	-	1	1	9	9
	ハ	デイサービス等	-	-	-	-	8	8	-	-	1	1	1	1	8	8
7	イ	幼稚園等	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	1	1	6	6
	ロ	学校等	13	13	-	-	26	26	5	5	4	4	3	3	1	1
8		図書館	2	2	-	-	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1
9	イ	蒸気浴場等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ロ	公衆浴場	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1
10		車輛の停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11		神社・寺院	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	
12	イ	工場・作業場	9	8	-	-	23	20	-	-	-	-	-	-	1	1
	ロ	テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	イ	駐車場・車庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ロ	飛行機の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
14		倉庫	4	4	-	-	10	10	-	-	-	-	-	-	2	2
15		その他の事業所	9	4	-	-	21	18	1	1	8	8	1	1	12	10
16	イ	特定含む混在	7	7	-	-	29	22	1	1	2	2	7	7	29	28
	ロ	その他の混在	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	1	1
17		重要文化財	-	-	-	-	5	3	1	-	-	-	-	-	-	
合計			66	54	10	10	209	169	19	17	56	35	25	25	140	126

防火対象物数

地区別 防火対象物の区分		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	計
		1	イ 劇場・映画館・演芸場	1	-	-
	ロ 公会堂・集会場	19	6	10	6	41
2	イ キャバレー・カフェー・ナイトクラブ	-	-	-	-	-
	ロ 遊技場・ダンスホール	1	-	-	-	1
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等	-	-	-	-	-
	ニ カラオケボックス等	-	-	-	-	-
3	イ 待合・料亭の類	-	-	-	-	-
	ロ 飲食店	4	-	-	-	4
4	百貨店・マーケット・店舗・展示場	10	1	-	-	11
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所等	11	4	2	1	18
	ロ 寄宿舎・下宿・共同住宅	24	3	7	6	40
6	イ 病院・診療所・助産所	5	-	1	-	6
	ロ 老人児童等福祉施設・厚生施設	9	-	-	-	9
	ハ 老人デイサービスセンター	5	1	1	1	8
	ニ 幼稚園・養護学校・盲学校	4	-	2	-	6
7	小中学校・高等学校・各種学校	21	-	9	2	32
8	図書館・博物館・美術館	6	1	-	-	7
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-	-	-
	ロ 公衆浴場	1	-	-	-	1
10	車輛の停車場	-	-	-	-	-
11	神社・寺院・教会	6	-	1	-	7
12	イ 工場・作業場	34	2	8	1	45
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-
13	イ 自動車車庫・駐車場	2	-	1	-	3
	ロ 飛行機等の格納庫	-	-	-	-	-
14	倉庫	37	3	1	2	43
15	官公署・銀行・その他の事業所	85	2	9	17	113
16	イ 特定の複合用途防火対象物	34	4	8	3	49
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	9	1	2	-	12
17	重要文化財・重要美術品	2	-	3	-	5
合 計		330	28	65	39	462

消防用設備等完成検査実施状況

防火対象物の区分		地区別	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	計
1	イ	劇場・映画館・演芸場	-	-	-	-	-
	ロ	公会堂・集会場	-	-	-	-	-
2	イ	キャバレー・カフェー	-	-	-	-	-
	ロ	遊技場等・ダンスホール	-	-	-	-	-
	ハ	性風俗関連店舗等	-	-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	-	-	-	-	-
3	イ	待合・料亭の類	-	-	-	-	-
	ロ	飲食店	-	-	-	-	-
4		百貨店・マーケット・店舗	1	-	-	-	1
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	1	-	-	-	1
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	-	-	-	-	-
6	イ	病院・診療所・助産所	1	-	1	-	2
	ロ	老人児童等福祉施設・厚生施設	1	-	-	-	1
	ハ	デイサービスセンター等	3	-	-	-	3
	ニ	幼稚園・養護学校・盲学校	-	-	-	-	-
7		小中学校・高等学校・各種学校	1	-	-	-	1
8		図書館・博物館・美術館	-	-	-	-	-
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-	-	-
	ロ	公衆浴場	-	-	-	-	-
10		車輛の停車場	-	-	-	-	-
11		神社・寺院・教会	-	-	-	-	-
12	イ	工場・作業場	1	-	-	-	1
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	-	-	-	-	-
	ロ	飛行機等の格納庫	-	-	-	-	-
14		倉庫	-	-	3	-	3
15		官公署・銀行・その他の事業所	-	-	-	-	-
16	イ	特定の複合用途防火対象物	2	-	-	-	2
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	-	-	-	-	-
17		重要文化財・重要美術品	-	-	-	-	-
合 計			11	-	4	-	15

防火対象物予防査察の状況

防火対象物の区分		地 区 別				計
		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	
1	イ	-	-	-	-	-
	ロ	5	-	4	3	12
2	イ	-	-	-	-	-
	ロ	1	-	-	-	1
	ハ	-	-	-	-	-
	ニ	-	-	-	-	-
3	イ	-	-	-	-	-
	ロ	1	-	-	-	1
4		7	-	-	-	7
5	イ	3	1	-	1	5
	ロ	11	3	6	4	24
6	イ	4	-	1	-	5
	ロ	8	-	-	-	8
	ハ	5	1	1	1	8
	ニ	3	-	2	-	5
7		17	-	9	2	28
8		2	1	-	-	3
9	イ	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-
10		-	-	-	-	-
11		-	-	-	-	-
12	イ	8	-	6	-	14
	ロ	-	-	-	-	-
13	イ	-	-	1	-	1
	ロ	-	-	-	-	-
14		13	2	1	1	17
15		21	1	7	2	31
16	イ	11	4	7	2	24
	ロ	2	-	2	-	4
17		-	-	1	-	1
合 計		122	13	48	16	199

消防用設備点検結果の報告状況

(基準日 平成31年3月31日)

地区別 防火対象物の区分		久万地区		面河地区		美川地区		柳谷地区		計	
		対象数	届出数	対象数	届出数	対象数	届出数	対象数	届出数	対象数	届出数
1	イ 劇場・映画館・演芸場	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1
	ロ 公会堂・集会場	19	18	6	1	10	3	6	5	41	27
2	イ キャバレー・カフェー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ 遊技場等・ダンスホール	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1
	ハ 性風俗関連店舗等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	イ 待合・料亭の類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ 飲食店	4	1	-	-	-	-	-	-	4	1
4	百貨店・マーケット・店舗	10	6	1	-	-	-	-	-	11	6
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所等	11	7	4	2	2	1	1	1	18	11
	ロ 寄宿舎・下宿・共同住宅	20	15	3	3	4	4	3	2	30	24
6	イ 病院・診療所・助産所	5	5	-	-	1	1	-	-	6	6
	ロ 老人児童等福祉施設・厚生施設	9	9	-	-	-	-	-	-	9	9
	ハ デイサービスセンター等	5	5	1	1	1	1	1	1	8	8
二 幼稚園・養護学校・盲学校	4	3	-	-	2	2	-	-	6	5	
7	小中学校・高等学校・各種学校	19	19	-	-	9	9	2	2	30	30
8	図書館・博物館・美術館	4	4	1	-	-	-	-	-	5	4
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ 公衆浴場	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1
10	車輛の停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	神社・寺院・教会	3	1	-	-	1	1	-	-	4	2
12	イ 工場・作業場	34	20	2	2	8	6	1	0	45	28
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	イ 自動車車庫・駐車場	2	-	-	-	1	-	-	-	3	-
	ロ 飛行機等の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	倉庫	35	23	3	2	1	1	2	1	41	27
15	官公署・銀行・その他の事業所	61	44	2	2	6	4	16	8	85	58
16	イ 特定の複合用途防火対象物	25	14	4	4	6	5	2	2	37	25
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	5	3	-	-	2	2	-	-	7	5
17	重要文化財・重要美術品	2	-	-	-	3	1	-	-	5	1
合計		280	200	27	17	57	41	34	22	398	280
報告割合		71%		63%		72%		65%		70%	

※対象数とは、点検が必要な対象物数

※届出数とは、報告が必要な期限までに届出がされている対象物数

建築同意事務の処理状況

防火対象物の区分		地 区 別				計	
		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区		
1	イ	劇場・映画館・演芸場	-	-	-	-	-
	ロ	公会堂・集会場	-	-	-	-	-
2	イ	キャバレー・カフェー	-	-	-	-	-
	ロ	遊技場等・ダンスホール	-	-	-	-	-
	ハ	性風俗関連店舗等	-	-	-	-	-
3	イ	待合・料亭の類	-	-	-	-	-
	ロ	飲食店	-	-	-	-	-
4		百貨店・マーケット・店舗	-	-	-	-	-
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	-	-	-	-	-
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	-	-	-	-	-
6	イ	病院・診療所・助産所	-	-	-	-	-
	ロ	老人児童等福祉施設・厚生施設	-	-	-	-	-
	ハ	デイサービスセンター等	-	-	-	-	-
7	イ	幼稚園・養護学校・盲学校	-	-	-	-	-
	ロ		-	-	-	-	-
8		小中学校・高等学校・各種学校	-	-	-	-	-
9		図書館・博物館・美術館	-	-	-	-	-
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-	-	-
	ロ	公衆浴場	-	-	-	-	-
10		車輦の停車場	-	-	-	-	-
11		神社・寺院・教会	-	-	-	-	-
12	イ	工場・作業場	-	-	-	-	-
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	-	-	-	-	-
	ロ	飛行機等の格納庫	-	-	-	-	-
14		倉庫	1	-	-	-	1
15		官公署・銀行・その他の事業所	1	-	-	-	1
16	イ	特定の複合用途防火対象物	2	-	-	-	2
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	-	-	-	-	-
17		重要文化財・重要美術品	-	-	-	-	-
		住 宅	-	-	1	-	1
		工 作 物	-	-	-	-	-
		対 象 外 (1 5 0 m ² 未 満)	1	-	-	-	1
		合 計	5	-	1	-	6

防火管理者の選任状況・消防計画の届出状況

地区別 内 訳 区 分		久万地区			面河地区			美川地区			柳谷地区			計		
		対 象 数	選 任 数	計 画 数	対 象 数	選 任 数	計 画 数	対 象 数	選 任 数	計 画 数	対 象 数	選 任 数	計 画 数	対 象 数	選 任 数	計 画 数
		1	イ 劇場・映画館・演芸場	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	ロ 公会堂・集会場	19	16	8	6	1	1	9	2	2	6	3	3	40	22	14
2	イ キャバレー・カフェー・ナイトクラブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ 遊技場・ダンスホール	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
	ハ 性風俗関連店舗等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	イ 待合・料亭の類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ 飲食店	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
4	百貨店・マーケット・店舗・展示場	6	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	5	4
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所等	9	9	8	3	2	2	2	2	2	1	1	1	15	14	13
	ロ 寄宿舎・下宿・共同住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	イ 病院・診療所・助産所	3	3	3	-	-	-	1	1	1	-	-	-	4	4	4
	ロ 老人児童等福祉施設・厚生施設	9	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	9	9
	ハ ディサービスセンター等	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6	6
	ニ 幼稚園・養護学校・盲学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	小中学校・高等学校・各種学校	2	2	2	-	-	-	1	1	1	1	1	1	4	4	4
8	図書館・博物館・美術館	2	2	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	3	3	3
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ 公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	車輻の停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	神社・寺院・教会	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
12	イ 工場・作業場	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	イ 自動車車庫・駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ 飛行機等の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	倉庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	官公署・銀行・その他の事業所	10	9	9	1	1	1	3	2	2	2	1	1	16	13	13
16	イ 特定の複合用途防火対象物	20	17	17	2	2	2	5	5	5	1	1	1	28	25	25
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
17	重要文化財・重要美術品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計		89	81	71	14	8	8	22	14	14	12	8	8	137	111	101
防火管理者選任及び消防計画届出率		91% 80%			57% 57%			64% 64%			67% 67%			81% 74%		

各種届出事務の処理状況

種 別		地 区 別					計
		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	その他	
消 防 法 関 係	工事整備対象設備等着工届	8	-	1	-	-	9
	消 防 用 設 備 等 設 置 届	20	-	1	-	-	21
	消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告	116	11	20	9	-	156
	防 火 管 理 者 選 任 届	15	2	3	3	-	23
	消 防 計 画 作 成 届	30	3	5	3	-	41
	L P G 等 貯 蔵 ・ 取 扱 届	1	-	-	-	-	1
火 災 予 防 条 例 関 係	防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	4	-	1	1	-	6
	ボ イ ラ ー ・ 炉 等 設 置 届	-	-	-	-	-	-
	発 電 ・ 蓄 電 ・ 変 電 設 備 設 置 届	2	1	1	1	-	5
	火 災 と ま ぎ ら わ し い 行 為 の 届	228	-	23	2	-	253
	煙 火 の 打 ち 上 げ ・ 仕 掛 け 届	4	-	1	-	-	5
	道 路 工 事 届	65	77	22	77	31	272
	少 量 危 険 物 ・ 指 定 可 燃 物 届	-	-	-	-	-	-
そ の 他	森 林 火 入 れ 許 可	-	-	-	-	-	-
	旅 館 等 意 見 書 交 付 申 請	-	-	-	-	-	-
	罹 災 証 明 等 交 付 申 請	2	2	1	3	-	8
合 計		495	96	79	99	31	800



クラブ広報編

幼年消防クラブ

久万保育園幼年消防クラブ

S59.4.1結成

★平成25年度 久万高原町消防団纏会表彰を受ける。

平成30年度	活動報告	代表者 白川 真理	クラブ員 92名
4月	定期避難訓練 (火災想定:引き渡し訓練:紙芝居)		
5月	定期避難訓練 (地震想定:消火訓練・通報訓練)		
6月	定期避難訓練 (火災想定:消火訓練)		
7月	定期避難訓練 (地震想定:消火訓練・紙芝居)		
8月	定期避難訓練 (地震想定:消火訓練)		
9月	合同避難(地震・火災想定:通報訓練) 3施設合同		
10月	定期避難訓練 (地震想定:消火訓練)		
11月	定期避難訓練 (火災想定:消火訓練)		
12月	定期避難訓練 シェイクアウトえひめ (地震想定:消火訓練)		
1月	定期避難訓練 (地震想定:消火訓練)		
2月	定期避難訓練 (火災想定:消火訓練:紙芝居)		
3月	定期避難訓練 (火災想定:消火訓練:紙芝居)		

直瀬幼年消防クラブ

S59.12.1結成

★平成27年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

平成30年度	活動報告	代表者 山下 慎司	クラブ員 7名
6月	救命救急法講習会 (小学校と合同)		
6月	避難訓練 (小学校合同)		
7月	防災キャンプ (小学校合同)		

畑野川幼年消防クラブ

H10.7.9結成

★平成28年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

平成30年度	活動報告	代表者 向井 繁一	クラブ員 18名
6月	避難訓練 (少年・幼年合同)		
6月	救命救急法 (少年・幼年・保護者合同)		
6月	不審者対応避難訓練 (少年・幼年合同)		
10月	避難訓練 地震想定 (少年・幼年合同)		
12月	シェイクアウトえひめ 地震想定 (少年・幼年合同)		

明神幼年消防クラブ

S61.2.27結成

平成30年度	活動報告	代表者 福井 隆也	クラブ員 6名
5月	避難訓練 地震・火災想定(避難経路の確認)		
6月	水難救助訓練 (救命救急講習)		
10月	避難訓練 地震・火災想定(煙体験・消火器訓練実施)		
2月	避難訓練 地震想定(引き渡し訓練実施)		

久万幼稚園幼年消防クラブ

H元.7.14結成

★平成29年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

平成30年度	活動報告	代表者	正岡 高好	クラブ員	35名
5月	避難訓練 火災想定 (小学校合同)				
6月	救急法講習会 親子で学ぶ救急法 (保護者合同)				
11月	降園時引渡訓練 災害時の保護者への引渡し訓練				
12月	避難訓練 火災想定 (小学校合同)				
12月	シェイクアウトえひめ 地震に対する避難訓練 (小学校合同)				
3月	降園時引渡訓練 災害時の保護者への引渡し訓練				

面河幼年消防クラブ

H12.4.1結成

★平成26年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

平成30年度	活動報告	代表者	山下 雅彦	クラブ員	4名
4月	全校避難訓練 (幼小合同)				
5月	茶摘みと製茶 (幼小合同)				
5月～6月	お茶袋制作及び袋詰め				
6月	全校避難訓練 (幼小合同)				
6月	平成30年度少年消防クラブ結団式				
6月	一人暮らしのお年寄り在宅訪問				
7月	防災キャンプ (幼小合同)				
9月	全校避難訓練 (幼小合同)				
11月	緊急地震速報訓練 (幼小合同)				
11月	防火交通茶屋 (婦人防火クラブと合同)				
12月	全校避難訓練 (幼小合同)				
12月～1月	わが家の防火点検				
3月	今年度の反省				

仕七川幼年消防クラブ

H3.12.4結成

平成30年度	活動報告	代表者	西尾 知照	クラブ員	5名
4月	避難訓練				
5月	結団式				
6月	救命救急講習 (日曜参観日に実施) 心肺蘇生法・AED				
9月	少年消防学習会 (熱中症予防について)				
11月	避難訓練				
1月	避難訓練				

柳谷幼年消防クラブ

H27.6.4結成

平成30年度	活動報告	代表者	長谷 哲雄	クラブ員	4名
4月	避難訓練:火災想定 (少年・幼年合同)				
10月	避難訓練:不審者想定 (少年・幼年合同)				
11月	町防災訓練 (各地区消防団合同)				
12月	シェイクアウトえひめ				
2月	防災用品の整備				

少年消防クラブ

<小学校>

直瀬小学校少年消防クラブ

S56.5.29結成

★昭和59年度 全国少年消防クラブ運営指導議会会長(消防庁長官)表彰を受ける。

★平成27年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(地域防災組織育成事業)を受ける。

平成30年度	活動報告	代表者	山下 慎司	クラブ員	8名
6月	救急救命講習				
6月	避難訓練 (消火訓練実施)				
7月	防災キャンプ				
12月～1月	わが家の防火点検				
1月	防火ポスター制作				

畑野川小学校少年消防クラブ

H10.7.9結成

★平成26年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

★平成29年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(地域防災組織育成事業)を受ける。

平成30年度	活動報告	代表者	向井 繁一	クラブ員	14名
4月	活動開始式				
5月	避難訓練 火災想定 (少年・幼年合同)				
9月	避難訓練 地震想定 (少年・幼年合同)				
12月	独居老人訪問				
12月～1月	わが家の防火点検				
9月～3月	防火意識の啓発活動 防火ポスター・習字の制作				

明神小学校少年消防クラブ

S61.2.27結成

★平成25年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(地域防災組織育成事業)を受ける。

平成30年度	活動報告	代表者	福井 隆也	クラブ員	8名
5月	避難訓練 地震・火災想定(避難経路の確認)				
6月	水難救助訓練・救命救急講習				
10月	避難訓練 地震・火災想定訓練 (消火器訓練・煙体験)				
10月	防火の呼び掛け活動 (独り暮らしの高齢者への便りと鉢花の配布)				
冬休み	我が家の防火点検				
1月	防火習字・ポスター制作				
2月	避難訓練 地震想定(避難訓練・引渡訓練)				

久万小学校少年消防クラブ

H10.11.9結成

★平成28年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(地域防災組織育成事業)を受ける。

★平成29年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

平成30年度	活動報告	代表者	正岡 高好	クラブ員	30名
5月	少年消防クラブ任命式				
11月	独居老人訪問				

父二峰小学校少年消防クラブ

H11.7.3結成

★平成29年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(地域防災組織育成事業)を受ける。

平成30年度	活動報告	代表者	渡邊 秀司	クラブ員	12名
6月	避難訓練 火災想定:通報訓練・起震車体験				
6月	一人暮らしのお年寄り宅訪問				
7月	救命救急法講習会 (高学年・保護者対象)				
7月～12月	防火ポスター・習字作成				
11月	父二峰地区合同防災訓練 (地域訓練)				

面河小学校少年消防クラブ

H12.4.1結成

★平成24年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(地域防災組織育成事業)を受ける。

平成30年度	活動報告	代表者	山下 雅彦	クラブ員	8名
4月	全校避難訓練 (幼少合同)				
5月	茶摘みと製茶 (幼小合同・保護者参加)				
5月	お茶袋制作及び袋詰め				
6月	全校避難訓練 (少年・幼年合同)				
6月	少年消防クラブ結団式 (隊長の任命)				
6月	一人暮らしのお年寄り宅訪問 (自校製茶の配布)				
7月	防災キャンプ (幼小合同)				
9月	全校避難訓練 (幼小合同)				
11月	緊急地震速報訓練 (幼小合同)				
11月	防火交通茶屋 (婦人防火クラブ合同)				
12月	全校避難訓練 (幼小合同)				
12月～1月	わが家の防火点検				
3月	今年度の反省				

仕七川小学校少年消防クラブ

H3.12.4結成

平成30年度	活動報告	代表者	西尾 知照	クラブ員	8名
4月	避難訓練 (少年・幼年合同)				
5月	少年消防クラブ結団式				
6月	救急救命講習 (日曜参観日に実施) 心肺蘇生法・AED				
9月	少年消防学習会 (熱中症予防について)				
9月上旬	防火ポスター・防火習字作成				
11月	防火ポスター・防火習字・硬筆 作成				
冬休み	防火点検 (わが家の防火点検)				
1月	避難訓練				
3月	校内防災点検・活動のまとめ				

柳谷小学校少年消防クラブ		H27.6.4結成	
平成30年度	活動報告	代表者 長谷 哲雄	クラブ員 8名
4月	避難訓練:火災想定 (少年・幼年合同)		
10月	避難訓練:不審者想定 (少年・幼年合同)		
11月	町防災訓練 (各地区消防団合同)		
12月	シェイクアウトえひめ (少年・幼年合同)		
1月	防火習字・防火ポスターの制作		
2月	防災用品の整備		

< 中学校 >

久万中学校少年消防クラブ		H12.7.4結成	
★平成22年度 モデル少年消防クラブに選定(少年消防クラブ活性化推進会議)され、『安全で災害に強い地域づくり推進事業』(日本消防協会)において、消防防災実践活動モデル事業の助成を受ける。			
★平成27年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。			
平成30年度	活動報告	代表者 小田 哲志	クラブ員 37名
5月	避難訓練:地震想定		
5月	救急救命法講習会		
12月	地震防災訓練 シェイクアウトえひめ		

美川中学校少年消防クラブ		H12.7.4結成	
★平成22年度 モデル少年消防クラブに選定(少年消防クラブ活性化推進会議)され、『安全で災害に強い地域づくり推進事業』(日本消防協会)において、消防防災実践活動モデル事業の助成を受ける。			
★平成28年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。			
平成30年度	活動報告	代表者 久保 雄	クラブ員 25名
5月	避難訓練(火災)・少年消防クラブ結成式		
6月	普通救命講習		
12月	シェイクアウトえひめ:地震想定・煙体験		
12月～1月	我が家の防火点検		

女性防火クラブ

上直瀬女性防火クラブ

S56.2.26結成

★昭和56年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ(D-1級)の寄贈を受ける。

★昭和58年度 (財)自治総会センターのコミュニティー助成事業を受ける。

★昭和60年度 上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。

★平成02年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ(D-1級)の寄贈を受ける。

★平成26年度 愛媛県消防協会会長表彰を受ける。

平成30年度 活動報告	部長 大野 由美	クラブ員 26名
4月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会 (1名参加)	
6月	久万高原町消防操法大会見学 (1名参加)	
10月	独居老人防災診断 (2名参加)	
11月	独居老人防火の呼びかけ(15名参加)	
1月	女性防火クラブ愛媛県大会 (1名参加)	
3月	女性防火クラブ交流会 (5名参加)	
3月	30年度上直瀬女性防火クラブ総会 (12名参加)	

下直瀬女性防火クラブ

S56.4.4結成

★昭和57年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ(D-1級)の寄贈を受ける。

★昭和58年度 (財)自治総会センターのコミュニティー助成事業を受ける。

★昭和60年度 上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。

★平成12年度 愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会会長表彰を受ける。

★平成21年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ(D-1級)の寄贈を受ける。

平成30年度 活動報告	部長 光田 幸枝	クラブ員 33名
4月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会 (2名参加)	
7月	軽可搬ポンプ小屋周辺草刈 (3名参加)	
10月	軽可搬ポンプ点検 (2名)	
11月	愛の一声運動 (2名参加)	
3月	下直瀬女性防火クラブ総会 (15名参加)	
3月	大洲市・内子町婦人防火クラブ連絡協議会との交流会 (5名参加)	

上畑野川女性防火クラブ

S59.2.15結成

★昭和62年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ(D-1級)の寄贈を受ける。

★平成6年度 上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。

★平成7年度 愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会会長表彰を受ける。

★平成10年度 日本消防協会より防災資器材の寄贈を受ける。

★平成20年度 日本消防協会より経過半ポンプ(D-1級)の寄贈を受ける。

★平成29年度 愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

平成30年度 活動報告	部長 八塚 美紀子	クラブ員 24名
4月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会 町外研修 (1名参加)	
5月	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会、愛媛県消防大会 (1名参加)	
6月	畑野川小学校防災キャンプ打合せ会 (1名参加)	
6月	久万高原町消防操法大会 (5名参加)	
7月	畑野川小学校防災キャンプ (3名参加)	
12月	一人暮らしのお年寄宅訪問 (1名参加)	
1月	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会研修会 (1名参加)	
2月	上畑野川公民館まつり (12名参加)	
2月	出初式 (1名参加)	
3月	大洲市・内子町防火クラブ連絡協議会との交流会 (2名参加)	

下畑野川女性防火クラブ

S59.2.15結成

★昭和62年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ(D-1級)の寄贈を受ける。

★平成22年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ(D-1級)の寄贈を受ける。

★平成28年度 愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会会長表彰を受ける。

平成30年度 活動報告	部長 小黒 五月	クラブ員 42名
4月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会 (2名参加)	
5月	愛媛県消防大会 (1名参加)	
6月	久万高原町消防団操法大会 (1名参加)	
7月	畑野川小学校防災キャンプ打合せ会 (1名参加)	
7月	畑野川小学校防災キャンプ (2名参加)	
11月	久万高原町防災訓練	
12月	一人暮らしのお年寄宅訪問 (1名参加)	
1月	どんど焼き (2名参加)	
1月	女性防火クラブ県大会 (1名参加)	
2月	出初め式 (1名参加)	
3月	消防庁表彰授賞式	
3月	大洲市防火クラブとの交流会 (1名参加)	

露峰女性防火クラブ

H9.3.1結成

★平成10年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ(D-1級)の寄贈を受ける。

★平成23年度 愛媛県消防協会会長表彰を受ける。

平成30年度 活動報告	部長 川本 洋子	クラブ員 73名
4月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会 (1名参加)	
5月	愛媛県消防大会 (1名参加)	
6月	久万高原町消防団操法大会 (1名参加)	
6月	一人暮らし高齢者宅訪問 (4名参加)	
10月	父二峰地区防災訓練準備委員会 (1名参加)	
11月	一人暮らし高齢者宅訪問 16日 (1名参加)	
11月	一人暮らし高齢者宅訪問 19日 (1名参加)	
11月	父二峰地区防災訓練 (20名参加)	
1月	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会研修会 (1名参加)	
2月	久万高原町消防団出初式 (1名参加)	
3月	大洲市・内子町婦人防火クラブ連絡協議会との交流会 (2名参加)	

渋草女性防火クラブ

H6.7.28結成

★平成6年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ(D-1級)の寄贈を受ける。

★平成9年度 上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。

★平成12年度 上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。(応急手当の普及推進)

★平成18年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ(D-1級)の寄贈を受ける。

★平成19年度 自治体消防制度60周年記念日本防火協会会長表彰を受ける。

平成30年度 活動報告	部長 高岡 薫子	クラブ員 9名
7月	救命救急講習会 (6名参加)	
10月	防火交通茶屋マスコット作成 (8名参加)	
10月	一人暮らし高齢者宅防災診断 (5名参加)	
11月	防火交通茶屋 (4名参加)	
12月	防火夜廻り (8名参加)	
3月	後期高齢者夫婦世帯訪問 (3名参加)	
3月	大洲市・内子町防火クラブ交流会 (4名参加)	
3月	渋草女性防火クラブ総会 (6名参加)	

表彰及び助成事業状況

部門 クラブ名	全国少年消防クラブ運営指導議会 (消防庁長官) 会長表彰
直瀬小学校 少年消防クラブ	昭和59年度

部門 クラブ名	日本消防協会 優良少年消防クラブ表彰
明神小学校 少年消防クラブ	平成 3年

部門 クラブ名	『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 消防防災実践活動モデル事業 (日本消防協会)
柳谷中学校 少年消防クラブ	平成21年度
久万中学校 少年消防クラブ	平成22年度
美川中学校 少年消防クラブ	平成22年度

部門 クラブ名	表 彰						助 成 事 業		
	上浮穴郡 生活環境 事務組合 組合長表彰	愛媛県婦人 防火クラブ 連絡協議会 会長表彰	自治体消防 制度60周年 日本消防協会 会長表彰	愛媛県 消防協会 会長表彰	日本消防協会 優良表彰	久万高原町消防団 纏会表彰	日本消防協会 『安全で災害に 強い地域づくり 推進事業』	日本消防協会 防災資器材	(財)自治総会センター コミュニティ助成事業
上直瀬 女性防火クラブ	昭和60年度			平成26年度	昭和59年度		昭和56年度 平成 2年度		昭和58年度
下直瀬 女性防火クラブ	昭和60年度	平成12年度					昭和57年度 平成21年度		昭和58年度
上畑野川 女性防火クラブ	平成 6年度	平成 7年度		平成29年度			昭和62年度 平成20年度	平成10年度	
下畑野川 女性防火クラブ		平成28年度					昭和62年度 平成22年度		
露峰 女性防火クラブ				平成23年度			平成10年度		
渋草 女性防火クラブ	平成 9年度 平成12年度		平成19年度			平成21年度	平成 6年度 平成18年度		
久万保育園 幼年消防クラブ						平成25年度			
久万幼稚園 幼年消防クラブ				平成29年度					
畑野川 幼年消防クラブ				平成28年度					
おもご幼稚園 幼年消防クラブ				平成26年度					
直瀬 幼年消防クラブ				平成27年度					
明神小学校 少年消防クラブ									平成25年度
久万小学校 少年消防クラブ				平成29年度					平成28年度
畑野川小学校 少年消防クラブ				平成26年度					平成29年度
直瀬小学校 少年消防クラブ									平成27年度
父二峰小学校 少年消防クラブ									平成29年度
面河小学校 少年消防クラブ				平成24年度		平成24年度			平成24年度
久万中学校 少年消防クラブ				平成27年度					
美川中学校 少年消防クラブ				平成28年度		平成25年度			

少年消防クラブ助成事業

◎『安全で災害に強い地域づくり推進事業』

○消防防災実践活動モデル事業（モデル少年消防クラブ）

設置年度	設置クラブ名
平成21年度	柳谷中学校
平成22年度	久万中学校 美川中学校

〈資機材 配備状況〉

	品名	規格等	配備数		
			柳谷中	久万中	美川中
1	防災倉庫〔兼 救助工具収納箱〕	タクボ物置	1式	—	—
2	防災倉庫	タクボ物置	—	1式	1式
3	救助工具収納箱	AK型	—	1式	1式
4	簡易テント	E-ZUP DXA45	—	1台	1台
5	発電機	ホンダ EU16 i	1台	1台	1台
6	チェンソー	ハスクバーナ 340型	1台	—	—
7	投光器（スタンド付）	ハロゲン1灯式	1台	1台	1台
8	コードリール	防雨型	1台	1台	1台
9	リヤカー（ノーパンクタイヤ）	折りたたみ式	1台	1台	1台
10	ハンド型メガホン	防雨型（サイレン付）	1台	1台	1台
11	防塵ゴーグル	YG-5080	1個	—	—
12	ガソリン携行缶	20ℓ用	1缶	—	—
13	一輪車	—	1台	1台	1台
14	脚立	—	1台	1台	1台
15	担架	A式担架2型	1台	1台	1台
16	災害組織用救急箱	約20人用	1箱	1箱	1箱
17	LEDライト	ヘッドライト	—	10個	10個
18	LEDライト	ハンドライト	—	10個	10個
19	ヘルメット	PU-NI-L	5個	20個	20個
20	手袋	ケブラー	5双	20双	20双
21	手袋（軍手）	メクセル(12双入)	5箱	—	—
22	防塵マスク	ハイラック 350型(10枚入)	5箱	2箱	2箱

〈活動服 配備状況〉

	柳谷中学校	久万中学校	美川中学校
配備数	13着	64着	53着

（活動服 内訳）

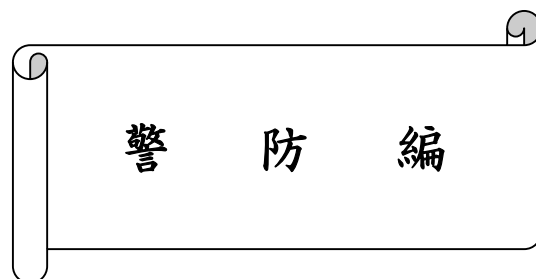
- ①長袖シャツ
- ②カーゴパンツ
- ③帽子
- ④ベルト
- ⑤ヘルメット

少年消防クラブ コミュニティ助成事業

設 置 年 度	設 置 ク ラ ブ 名
平成 24 年 度	面 河 小 学 校
平成 25 年 度	明 神 小 学 校
平成 27 年 度	直 瀬 小 学 校
平成 28 年 度	久 万 小 学 校

〈 資 機 材 配 備 状 況 〉

	品 名	規 格 等	配 備 数	配 備 数	配 備 数	配 備 数
			面河小	明神小	直瀬小	久万小
1	防災備蓄倉庫	タクボ物置	一式	一式	一式	一式
2	簡易テント	E-ZUP DXA45 DX45 アルミ TA-34	一式	一式	一式	一式
3	簡易担架	A式担架2型 アルミ	1台	1台	1台	1台
4	リヤカー (ノーバンク)	折りたたみ式	1台	1台	1台	1台
5	発電機	ホンダ EU16 i ホンダ EU9iK1JN1	1台	1台	1台	1台
6	投光器 (スタンド付)	ハロゲン1灯式 ハロゲン2灯式 ハヤタ PHCX-305	1台	1台	1台	1台
7	コードリール	防雨型	1台	1台	1台	1台
8	ハンド型メガホン	防雨型 (サイレン付)	1台	1台	1台	1台
9	LEDライト	ヘッドライト	10個	10個	10個	10個
10	ヘルメット	PU-NI-L 148EZ-W1-J	10個	10個	10個	10個
11	手袋	ケブラー	10双	10双	10双	10双
12	防塵マスク	ハイラック 350型(10枚入) 使い捨て型	1箱	1箱	1箱	1箱
13	移動式カマド	船山 EG600A 自主防エコノミーU型	一式	一式	一式	一式
14	チェンソー	ゼノア GZ3850EZ			1台	
15	ガソリン携行缶	20ℓ			1個	1個
16	難燃毛布	災害備蓄用パック式			20枚	20枚
17	トランシーバー	ケンウッド UBZ-LP20			5台	5台
18	一輪車 (ノーバンク)					5台
19	はしご兼用脚立	PRT-20FX				1脚
20	伸縮脚付き足場台	PXGE-1012FK				1脚



警 防 編

保有消防車両

(平成30年12月31日現在)

車名	号車	車種	出力	登録番号	備考	配置年	年数	走行距離	配置部署	取得・寄贈
指令車 兼 人員輸送車	消防 1号	トヨタ ブラド	2.69KW	愛媛 800 さ 93-17	4WD	H17. 3. 10	12	78,545 k m	本部署	単 独
消防用査察 指導車	消防 2号	トヨタ エステイマ	2.36KW	愛媛 800 す 27-38	4WD	H21. 10. 27	8	69,524 k m	本部署	平成20年度地域活性化 生活対策臨時交付金事業
水槽付ポンプ車	消防 3号	ヒノ レンジャー	7.96KW	愛媛 800 は ・426	4WD モリタA-1	H15. 3. 3	14	37,499 k m	本部署	日本損害保険協会 寄贈
積載兼工作車	消防 4号	三菱 キャンター	5.249KW	愛媛 830 は ・119	4WD ラビットB-3	H15. 8. 20	15	33,167 k m	本部署	単 独
小型動力ポンプ 付水槽車	消防 5号	ヒノ レンジャー	6.40KW	愛媛 800 は 55-67	FR車 トーハツB-3	H22. 6. 18	8	11,384 k m	本部署	平成21年度地域活性化 生活対策臨時交付金事業
水槽付ポンプ車	消防 6号	三菱 ファイター	8.20KW	愛媛 800 は ・154	4WD モリタA-2	H11. 11. 30	19	38,859 k m	美川支署	国庫補助
資器材運搬車	消防 7号	スズキ エブリーワゴン	0.65KW	愛媛 880 あ 16-10	4WD	H27. 1. 26	4	31,138 k m	本部署	平成26年度石油貯蔵施設 立地対策等交付金事業
査察広報車	消防 8号	ニッサン エクストレイル	1.99KW	愛媛 800 さ 93-13	4WD	H17. 12. 15	13	163,165 k m	本部署	単 独
資器材運搬車	消防 9号	スバル サンバー	0.65KW	愛媛 80 あ 18-99	4WD	H18. 9. 1	12	57,816 k m	本部署	柳谷方面隊より移管
訓練指導車	消防11号	マツダ タイタン	1.99KW	愛媛 100 す 11-91	FR車	H18. 8. 30	12	16,842 k m	本部署	宝くじ協会寄贈
高規格救急車	救急 1号	ニッサン エルブランド	3.49KW	愛媛 800 す 63-72	4WD	H28. 4. 1	3	17,251 k m	本部署	緊急消防援助隊 設備補助事業
高規格救急車	救急 2号	トヨタ ハイエース	2.69KW	愛媛 800 す 15-64	4WD	H20. 1. 11	10	150,769 k m	美川支署 (4月～)	全国共済農業協同組合連合会 愛媛県本部 寄贈
高規格救急車	救急 3号	トヨタ ハイエース	2.69KW	愛媛 800 す 41-33	4WD	H24. 3. 12	6	33,901 k m	本部署	電源立地地域対策交付金事業
高規格救急車	救急 5号	ニッサン エルブランド	3.49KW	愛媛 800 さ 90-01	4WD	H16. 11. 4	14	169,434 k m	本部署 (4月～)	国庫補助

消防機械器具の保有状況

(平成30年12月31日現在)

機 材 名		規 格	製 作 所	装 備 数	配 置 年
放	ポ ン プ	小型動力ポンプ	B-3 P476A	富士ロビン	1 15
		〃	B-3 TF-35	シバウラ	1 63
		〃	B-3 VF-53AS	トーハツ	1 22
		高圧送水ポンプ	WICK-250	ピーシー販売	1 18
		〃	WICK-375	〃	1 22
		軽可搬ポンプ	D-2 (背負式)	富士ロビン	1 10
ホ ー ス	呼 称	65mm	2A 1A	芦森工業. 帝国繊維	119 2. 3. 7. 13. 14. 30
		50mm	2A 1A ProAR16	帝国繊維 上田消防	22 13. 28. 29
		40mm	30M	ピーシー販売	20 18
		40mm	2A 1A	帝国繊維	4 61
		70mm	多量送水用	芦森工業	2 10
水	発 泡 器	簡易高発泡	東消式	三愛石油	1 55
		MX-65	FN-65MX	芦森工業	1 10
		低発泡	SP=200	福田工業	5 55. 58. 3
		LX-65	FN-65LX	芦森工業	1 10
		プロパック	PKS-25	YONE	1 9
器 具		放水銃用泡管槍	フォームノズル	〃	1 14
		背負式消火水囊	FR-02-(18)	興田科学工業	38 60. 61. 62. 63. 3. 9. 10
		布水槽	360		2 60. 63
		プロジェクトガン	40mm	YONE	3 58
		泡・噴霧兼用管槍	50mm(バブルカップノズル)	〃	2 14
		手動式 放水銃用噴霧管槍	65mm(ミッドストリームノズル)	〃	1 14
		クアドラノズル	NH-50QF	〃	1 28
		耐熱服	A型	赤尾	1 59
		水幕ホース	噴出孔5mm・30cm間隔	芦森工業	3 61
		ホースカー	人力式	森田ポンプ	2 3. 14
		マルチジョイント	呼称65mm・50mm	立売堀製作所	2 3
ラインプロポーションナー	65mm・50mm	フクダ・ニシタニ	3 58. 3. 10		
ターボポンプ (水力動力)	汲上げ高揚程ポンプ	タスコ	1 9		
照 明 器 具	発 電 機	EM400	100V-400VA	ホンダ	2 58. 59
		EB550	100V-550VA	〃	1 60
		EM1500X	100VA-1500VA	〃	1 3
	投 光 機	BER2300CX		〃	1 15
		GE-3800SS-IV	ポータブル型	デンヨー	1 24
		400W	コードリール付き30m		1 58. 59
ラ イ ト	200W	〃		2 58. 59	
	WL401	バルーン式	和光機械工業	1 24	
林 野 火 災 用 具		SIREAINライト	3C		8 15. 16
		フラッシャー合図灯	非常 (赤点滅)	トグ	3 4. 12
		チェンソー	E-305・G370	新ダイワ. 小松ゼノア	3 53. 4
		スコップ	剣・角		21 53. 61. 3. 21
		トレンチショベル	剣 (折りたたみ式)		10 5
		火たたき	ステンレス板鋼管柄		5 5
		下刈鎌	造林. 柄鎌. 厚鎌		16 53. 5
地 堀	ツルハシ. 掘切		10 53		
水 筒	1. 8L		10 53		

機 材 名			規 格	製 作 所	装 備 数	配 置 年	
整 備 器 具	充 電 器	6～12 V 用	HR-MAX-50	D E N G E N	1	3	
		6～24 V 用	〃	I Y A S A K A	1	12	
	ガ レ ー ジ ジ ャ ッ キ	1.5 t 用	MSG-1.5S	三協油圧工業	1	58	
		5.0 t 用	NLG-5	長崎製作所	1	20	
5.0 t 用		SJ-50H	マサダ油圧工業	1	17		
作 業 用 器 具	コンプレッサー		SH-04	富士	1	55	
	塗装工具				1	55	
	携帯電気ドリル		Bue-SH313	神鋼電気	1	8	
	電気ジグソー			マキタ	1	7	
	携帯ディスクグラインダー		T-100-6	日立工機	2	56	
	電気丸のこ		PSB-6A160	〃	1	56	
	卓上グラインダー		GPK 2 150mm	〃	1	56	
	電気溶接機		TS-150 W200V	東洋変圧器	1	56	
	ホース修理機		グルーガン260	B o s t i k	1	59	
	万 力				1	59	
	ギアレンチ			パーマン	2	17	
	そ の 他	拡声装置		TPM-119S・WD-340	ナショナル	6	3. 5. 11. 12
		トランジスターメガホン		TS-511・TS-513L	ノボル電気	7	21. 25
ホースブリッジ		L型 (ネオプレン)		8	11. 15. 22		
カッター		丸刃カッター	16mmREC-16	内藤工業	1	58	
		導線カッター	12mmREC-12	〃	2	58	
予備燃料缶		10L		4	59. 10		
		20L		6	57. 61. 11. 15		
ヘッドライト (個人貸与)		BF=172・BD70736MG	ナショナル・BD	50	60. 17. 18		
ポリッシャー		NVP-SR-3型	日立	1	63		
高温・高圧洗浄機		HDS4/7C	ケルヒャー	1	30		
動力刈払機		TRZ235L, TRZ275L-DC	ゼノア	2	29		
吸水式土嚢		ジャストストップ・土のう袋	芦森工業	50	1. 14		
スバリ (検索棒付)		水難用 YO-ZIRI	ヨーゾリ	4	4		
スバリ (先針のみ)		〃	〃	10	4		
ポリクロスロープ		水難用 200m		1	4		
ナイロンスリング		75mmx3m 2.5t	シライ	4	4		
〃		75mmx5m 2.5t	〃	4	4		
簡易バリケード		伸縮式		1	4		
塩素吸収剤散布機		20型	クロレス	2	6		
鉄蓋ジャッキ				1	7		
ホース巻機		手動式		3	11		
エアーテント		20㎡ SAT-453G		1	17		
自立式大型水槽		4,545ℓ	ピーシー販売	1	18		
防雨型コードリール		SA-50K	小川ポンプ工業	3	30		

化学消火薬剤保有状況

(平成30年12月31日現在)

区 分	薬 剤 名 ・ 規 格	メーカ-	個 数	備 考
た ん 白 系	ニュー・マイティフォーム	ヤマト	20L × 4缶	
	ニュー・マイティフォーム	ヤマト	20L × 13缶	水溶性液体用
		合 計	20L × 17缶	340 リットル
合成界面活性剤	プロフォーム (3%)	ヤマト	20L × 24缶	
	プロフォーム (3%)	ヤマト	20L × 7缶	耐寒用
		合 計	20L × 31缶	620 リットル
水溶性液体用 泡消火薬剤	ニューアルコジェットフォーム	ヤマト	20L × 3缶	耐アルコール用
	ニューアルコジェットフォーム	ハッタ	20L × 3缶	耐アルコール用
		合 計	20L × 6缶	120 リットル
水性膜泡 消火薬剤	フォレックスパン-S	YONE	20L × 1缶	20 リットル
	メガフォーム	大日本インキ	20L × 5缶	100 リットル
		合 計	20L × 6缶	120 リットル

※ 使用中の容器の数は含まない。

油処理剤保有状況

(平成30年12月31日現在)

区 分	薬 剤 名 ・ 規 格	メーカ-	個 数	備 考
油 処 理 剤	ヤマトクリーン (S480)	ヤマト	18L × 1缶	18 リットル
	シーグリーン (805)	ヤマト	18L × 5缶	90 リットル
油吸着マット	BL-65型	三 井	46枚	
油・液体吸着剤	ACライト (4.5kg入り)	谷口商会	32袋	144 kg
	ACライト (10kg入り)	谷口商会	4袋	40 Kg

※ 使用中の端数は数に含まない。

消防水利の状況

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

区 分		地区別				合 計
		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	
消 火 栓 65mm	公 設	453	3	124	28	608
	私 設	—	5	—	—	5
	小 計	453	8	124	28	613
防 火 水 槽 40t以上	公 設	69	37	15	6	127
	私 設	—	—	—	—	—
	小 計	69	37	15	6	127
防 火 水 槽 20 t 以 上 40 t 未 満		20	1	27	45	93
そ の 他	河 川 ・ 溝 等	62	6	6	11	85
	海 ・ 湖	—	—	—	—	—
	プ ー ル	8	2	2	4	16
	濠 ・ 池 等	8	4	—	2	14
	下 水 道	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	
小 計	78	12	8	17	115	
合 計 (現有数)		600	57	147	51	855
基 準 数		718	187	363	187	1,455
消 防 水 利 充 足 数		646	126	176	73	1,021
不 足 数		72	61	187	114	434
充 足 率 (%)		90.0	67.4	48.5	39.0	70.2

耐震性防火水槽設置状況

久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	合 計
28	17	7	6	58

平成 30 年度新設消防水利の状況

区 分		地区別				合 計
		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	
消 火 栓 65 mm		—	—	—	—	0
防 火 水 槽 40 t 以 上	40t以上	—	—	—	—	0
	40t未満	1	—	—	—	1
そ の 他 の 水 利 (A級)		—	—	—	1	1
合 計		1	0	0	1	2

※消火栓:50mm 以下は除く。防火水槽:40t 未満は合計数に含まず。

年間出動状況及び燃料消費量

(平成30年12月31日現在)

出 動 別	車名 区分	消防1号	消防2号	消防3号	消防4号	消防5号	消防6号	消防7号	消防8号
		指令車	査察・指導車	水槽付ポンプ車	積載工作車	小型ポンプ付水槽車	水槽付ポンプ車	資器材搬送車	査察広報車
火 災 出 動	回 数	-	-	6	6	6	5	4	1
	走行距離	-	-	184	177	182	161	125	52
救 急 出 動	回 数	4	-	-	-	-	-	-	1
	走行距離	144	-	-	-	-	-	-	3
救 助 出 動	回 数	12	-	-	10	1	2	1	8
	走行距離	563	-	-	217	50	49	108	421
風 水 害 出 動	回 数	1	-	-	-	-	-	1	3
	走行距離	5	-	-	-	-	-	97	132
捜 索 ・ 遭 難	回 数	1	-	1	1	-	-	3	2
	走行距離	34	-	4	4	-	-	74	38
演 習 訓 練	回 数	40	7	62	68	47	37	3	72
	走行距離	2,545	198	241	177	228	384	244	4,169
訓 練 指 導	回 数	7	2	10	12	5	1	7	9
	走行距離	245	90	48	58	13	5	305	370
警 防 調 査	回 数	4	1	9	9	-	-	4	8
	走行距離	466	65	93	90	-	-	419	402
予 防 調 査	回 数	9	1	11	17	1	-	55	53
	走行距離	679	21	80	124	4	-	1,922	3,151
原 因 調 査	回 数	1	-	-	-	1	-	1	2
	走行距離	38	-	-	-	27	-	41	26
特 別 警 戒	回 数	5	1	9	2	5	11	2	2
	走行距離	444	70	149	8	63	321	25	122
予 防 広 報	回 数	-	1	3	3	1	-	-	-
	走行距離	-	19	91	46	26	-	-	-
そ の 他	回 数	37	73	27	27	12	16	442	50
	走行距離	1,297	4,874	154	158	90	192	4,758	1,600
誤 報 ・ 確 認	回 数	-	-	3	1	1	3	-	-
	走行距離	-	-	51	30	32	9	-	-
合 計	回 数	121	86	141	156	80	75	523	211
	走行距離	6,460	5,337	1,095	1,089	715	1,121	8,118	10,486
消費燃料	ガソリン	882	465	-	-	-	-	652	1,068
	軽 油	-	-	389	280	260	307	-	-
年 間 距 離 指 数		6,460km	5,337km	1,095km	1,089km	715km	1,121km	8,118km	10,486km

出 動 別	車名 区分	消防9号	消防11号	救急1号	救急2号	救急3号	救急5号	合 計
		資器材搬送車	訓練指導車	高規格車	高規格車	高規格車	高規格車	
火 災 出 動	回 数	4	-	-	-	1	-	33
	走行距離	113	-	-	-	50	-	1,044
救 急 出 動	回 数	1	-	163	174	187	58	588
	走行距離	1	-	6,603	9,197	5,635	2,821	24,404
救 助 出 動	回 数	2	-	1	2	-	1	40
	走行距離	28	-	32	24	-	16	1,508
風 水 害 出 動	回 数	5	-	-	-	-	-	10
	走行距離	87	-	-	-	-	-	321
捜 索 ・ 遭 難	回 数	1	-	-	3	-	-	12
	走行距離	11	-	-	88	-	-	253
演 習 訓 練	回 数	7	6	15	59	14	16	453
	走行距離	189	142	182	1,149	87	221	10,156
訓 練 指 導	回 数	5	47	7	11	6	6	135
	走行距離	110	620	25	151	29	27	2,096
警 防 調 査	回 数	9	-	5	31	6	5	91
	走行距離	662	-	53	783	49	144	3,226
予 防 調 査	回 数	9	3	11	26	15	7	218
	走行距離	50	110	115	686	92	139	7,173
原 因 調 査	回 数	2	-	-	-	-	-	7
	走行距離	19	-	-	-	-	-	151
特 別 警 戒	回 数	3	-	1	4	1	1	47
	走行距離	98	-	3	274	3	36	1,616
予 防 広 報	回 数	-	4	1	14	1	20	48
	走行距離	-	409	10	329	19	400	1,349
そ の 他	回 数	280	16	41	195	38	73	1,327
	走行距離	3,037	853	274	2,662	195	755	20,899
誤 報 ・ 確 認	回 数	-	-	-	7	-	1	16
	走行距離	-	-	-	24	-	1	147
合 計	回 数	328	76	245	526	269	188	3,025
	走行距離	4,405	2,134	7,297	15,367	6,159	4,560	74,343
消費燃料	ガソリン	297	323	1,540	2,475	1,224	995	9,921
	軽 油	-	-	-	-	-	-	1,236
年 間 距 離 指 数		4,405km	2,134km	7,297km	15,367km	6,159km	4,560km	74,343km

備考 ※ 救急出動には医師搬送、不搬送件数を含む。
 ※ 救助出動には応援出動、出場途中帰署件数を含む。
 ※ 特別警戒には石鎚移動支署を含む。

月別出動状況

(平成30年12月31日現在)

種別	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	回数	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	1	-	6
	延べ人員	-	-	32	-	16	-	35	-	-	-	14	-	97
	延べ車両	-	-	11	-	5	-	12	-	-	-	5	-	33
救急	回数	69	41	43	41	63	33	52	47	38	52	57	51	587
	延べ人員	198	120	120	120	249	94	154	132	109	138	174	136	1,744
	延べ車両	69	41	43	41	63	33	52	47	38	52	57	51	587
救助	回数	3	4	3	2	3	1	5	6	1	6	6	1	41
	延べ人員	8	9	5	4	83	5	15	16	5	17	10	3	180
	延べ車両	3	4	2	1	3	2	6	6	2	7	4	-	40
風水害等の災害	回数	-	-	-	-	-	-	5	1	2	-	-	-	8
	延べ人員	-	-	-	-	-	-	10	2	9	-	-	-	21
	延べ車両	-	-	-	-	-	-	5	1	4	-	-	-	10
捜索遭難	回数	-	-	1	1	1	-	-	-	1	-	-	1	5
	延べ人員	-	-	4	9	8	-	-	-	3	-	-	4	28
	延べ車両	-	-	2	4	3	-	-	-	1	-	-	2	12
演習訓練	回数	9	5	10	25	31	24	16	38	18	17	15	9	217
	延べ人員	53	32	51	88	103	81	58	100	95	118	85	52	916
	延べ車両	27	26	28	34	46	40	25	64	48	55	45	25	463
訓練指導	回数	1	9	5	6	11	24	9	1	7	8	16	10	107
	延べ人員	3	18	10	23	53	73	19	2	14	11	38	21	285
	延べ車両	1	9	6	9	18	35	12	1	8	10	19	11	139
警防調査	回数	3	2	1	14	4	2	14	4	3	6	2	1	56
	延べ人員	10	9	3	55	16	9	41	15	15	35	12	6	226
	延べ車両	5	3	1	23	5	3	18	7	6	9	4	2	86
予防調査	回数	5	2	25	8	10	12	8	13	6	15	26	14	144
	延べ人員	15	10	102	28	35	41	27	39	25	49	97	39	507
	延べ車両	5	4	48	10	13	17	10	16	9	22	47	17	218
原因調査	回数	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	4
	延べ人員	-	-	2	-	5	-	13	-	-	-	-	-	20
	延べ車両	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	-	-	7
特別警戒	回数	4	-	-	-	1	-	9	4	1	1	-	18	38
	延べ人員	11	-	-	-	4	-	20	29	4	3	-	47	118
	延べ車両	4	-	-	-	1	-	9	13	1	1	-	18	47
広報	回数	7	4	18	2	1	1	-	2	-	2	8	3	48
	延べ人員	19	10	39	4	3	3	-	4	-	4	24	9	119
	延べ車両	7	4	18	2	1	1	-	2	-	2	8	3	48
その他	回数	91	129	117	96	111	86	118	120	92	138	138	109	1,345
	延べ人員	175	234	189	190	233	144	213	205	177	222	246	225	2,453
	延べ車両	91	129	117	96	111	86	118	120	92	138	138	109	1,345
誤報・確認	回数	-	1	1	-	-	-	3	4	1	-	-	1	11
	延べ人員	-	3	3	-	-	-	8	9	3	-	-	3	29
	延べ車両	-	1	1	-	-	-	3	4	1	-	-	1	11
合計	回数	192	197	227	195	238	183	243	240	170	245	269	218	2,617
	延べ人員	492	445	560	521	808	450	613	553	459	597	700	545	6,743
	延べ車両	212	221	278	220	271	217	274	281	210	296	327	239	3,046

※ 火災出動は軽微な火災出動も含む。

※ 救助・捜索遭難に関しては各車年間出動状況と一致しない。

緊急通報受信状況

	月 災害別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
		受 信 数	火 災			2		1		2				1
救 急	66		43	44	41	60	31	48	45	35	48	57	51	569
救 助							1							1
救急救助	1			1		3		4	2		1	1		13
確認出動									1		2			3
その他			1		2		1	2	6	2			2	16
間違い	5		4	4	7	4	4	4	4	3	4	2	2	47
いたずら			1								1			2
試 験	5		1	6	5	6	1	2	1	6	3	5	2	43
訓 練			2	3	3	3	5	3		3		7	5	34
問い合わせ	2		2	1	1	3	1	3	3	1	2	3	3	25
計	79	54	61	59	80	44	68	62	50	61	76	65	759	

携帯119転送受信状況

	月 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
		転送 送受信	送信	1			1	2		5	2		1	2
受信			1	1	2				1			2	2	9
計	1		1	1	3	2	0	5	3	0	1	4	4	25

覚知方法別受信状況

覚知別	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
		1 1 9	26	22	28	25	37	22	26	15	25	22	39	36
携 帯 1 1 9	19	14	12	17	21	7	23	28	12	17	16	13	199	
I P 1 1 9	1												1	
衛 星 1 1 9								1		1			2	
一 般 加 入	27	15	16	13	17	12	11	11	10	15	15	9	171	
一般加入(美川)			2		1			2	1		4	2	12	
一般加入(警察)	1		1				1			1			4	
一般加入(介護)											1	1	2	
転 送	1			3	2		5	2		1		1	15	
自 己 覚 知	3	3	1		2	2	2	1	2	2	1	2	21	
駆 け 付 け	1		1	1		1		2		2		1	9	
計	79	54	61	59	80	44	68	62	50	61	76	65	759	

携帯電話別受信件数

携帯電話業者別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
ド コ モ	13	9	8	12	12	6	17	18	8	11	11	11	136
a u	3	3	4	3	9	1	5	7	3	5	4	2	49
ソフトバンク	3	2		2			1	3	1	1	1		14
計	19	14	12	17	21	7	23	28	12	17	16	13	199

久万高原町における気象記録

久万高原町消防本部観測(昭和54年～平成30年)

※平成30年の最大記録

久万高原町の最大瞬間風速記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	方 位	風 速	原 因
1	平成 16年 8月 30日	15:00	南	35.0m	台 風
2	平成 30年 7月 10日	11:17	西	30.1m	台 風
3	昭和 55年 9月 11日	8:00	南	30.0m	台 風
※	平成 30年 7月 10日	11:17	西	30.1m	台 風

久万高原町の平均風速最大記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	方 位	風 速	原 因
1	昭和 55年 9月 11日	18:00	南	22.0m	台 風
2	平成 3年 9月 27日	20:00	南東	15.0m	台 風
3	平成 7年 9月 24日	15:00	北西	14.5m	台 風
※	平成 30年 1月 10日	19:50	北北西	8.0m	低気圧

久万高原町の最低気温記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	気 温
1	平成 7年 12月 31日	7:00	-15.0℃
2	平成 8年 2月 10日	8:00	-14.0℃
3	平成 30年 2月 9日	6:59	-13.3℃
※	平成 30年 2月 9日	6:59	-13.3℃

久万高原町の最高気温記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	気 温
1	平成 6年 8月 7日	13:00	35.7℃
2	平成 6年 7月 16日	13:00	35.6℃
3	平成 25年 8月 20日	13:00	35.5℃
※	平成 30年 7月 17日	13:07	35.2℃

久万高原町の日雨量の最大記録

順位	発 生 年 月 日	雨 量	降雨原因
1	平成 17年 9月 6日	309.5mm	台 風
2	平成 16年 8月 30日	286.0mm	台 風
3	平成 30年 9月 30日	238.5mm	台 風
※	平成 30年 9月 30日	238.5mm	台 風

久万高原町の積雪最大記録

順位	発 生 年 月 日	積雪量
1	昭和 59年 1月 31日	72cm
2	平成 17年 12月 17日	65cm
3	平成 22年 12月 27日	60cm
※	平成 30年 2月 13日	56.9cm

久万高原町の1時間雨量の最大記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	雨 量	降 雨 原 因
1	昭和 58年 7月 16日	18:00 ~ 19:00	56.5mm	前線の停滞
2	平成 29年 9月 17日	14:00 ~ 15:00	50.0mm	台風第18号
3	平成 17年 7月 3日	7:00 ~ 8:00	48.0mm	前線の停滞
※	平成 30年 7月 6日	6:00 ~ 7:00	38.5mm	豪 雨

久万高原町の継続雨量の最大記録

順位	発 生 年	月 / 日	～ 月 / 日	雨 量	降 雨 原 因
1	平成 17年	7 / 1	～ 7 / 6	414.0mm	前線の停滞
2	昭和 54年	6 / 27	～ 6 / 30	411.5mm	梅雨前線の停滞
3	平成 15年	6 / 28	～ 7 / 5	384.0mm	前線の停滞
※	平成 30年	7 / 5	～ 7 / 7	280.5mm	豪 雨

気象観測年報

内訳		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均 極 値
気 温 ℃	平 均	平均	0.8	-0.8	7.0	12.2	15.9	19.6	24.5	24.4	19.9	13.5	7.5	4.3	12.4
		最高	6.8	4.6	12.0	16.2	22.5	24.4	27.2	26.1	23.4	22.5	14.4	14.5	27.2
		最低	-4.9	-5.7	1.2	3.1	10.4	16.5	20.8	20.4	15.8	9.1	1.6	-1.2	-5.7
温 度 ℃	極 値	最高	10.7	13.9	21.7	28.2	29.7	32.4	35.2	34.1	30.4	27.2	21.1	21.4	35.2
		起日	8	27	28	21	25	25	17	5	7	6	8	4	7/17
		最低	-10.8	-13.3	-5.2	-2.2	1.2	7.9	18.3	13.2	9.7	2.9	-3.8	-5.6	-13.3
		起日	31	9	11	9	5	2	9	18	28	29	24	31	2/9
湿 度 %	平 均	平均	78.3	74.5	72.8	70.5	73.7	79.7	79.5	77.0	86.1	81.0	82.8	81.5	78.1
		最低	14.9	20.6	6.9	6.9	10.0	20.4	34.1	20.4	20.9	22.0	19.3	25.6	6.9
		起日	31	9	26	9	5	22	14	8	19	21	10	25	4/9
風 速 m/s	平 均	平均	0.8	0.9	1.0	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0	0.8	0.9	0.6	0.8	0.9
		瞬間	13.7	14.4	15.0	13.3	14.6	11.2	30.1	12.6	18.1	15.2	12.6	13.1	30.1
		風向	NW	N	NW	NNW	NW	SE	W	SE	NNW	NNE	NNE	N	W
		起日	9	17	1	14	4	17	10	24	30	6	10	28	7/10
最多風向			NNW	NNW	NNW	SSE	SSE	SSE	SSE	SE	SSE	NNW	SSE	NNW	NNW
日照時間h			86.6	116.9	192.2	188.1	166.6	141.0	182.1	214.5	92.0	133.4	132.1	69.8	1,715.3
降 水 量 mm	合計		131.5	102.5	152.0	135.0	263.5	279.5	433.0	133.0	650.5	120.5	47.0	137.0	2,585.0
	最 大	日量	23.0	25.0	33.0	71.0	91.5	109.0	137.5	44.5	238.5	74.0	17.0	23.0	238.5
		起日	8	12	16	24	7	20	6	23	30	5	22	4	9/30
		1時間	5.5	5.0	10.0	23.5	12.0	31.5	38.5	8.5	30.5	14.0	4.0	10.0	38.5
		起日	8	10	5	24	7	29	6	23	9	5	12	4	7/6
降 雪 量 mm	降雪日数		18	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	42
	最 大	日量	26.7	44.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.1	44.1
		起日	10	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	2/12
		1時間	8.3	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	8.3
		起日	27	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	1/27

地震発生時における久万高原町内の震度

地 区 名		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区
1月	発 生 日 時	平成30年4月9日 1時32分			
	震 源 地	島根県西部			
~	震 源 の 深 さ	12km			
	地 震 の 規 模	マグニチュード 6.1			
12月	震 度	2	1	1	0
	被 害 額	なし			

警報・注意報の発表回数

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
特別警報	大雨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	暴風	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	暴風雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	大雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
警報	大雨	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-	-	-	5
	洪水	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	3
	暴風	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	4
	暴風雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	大雪	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
注意報	大雨	-	-	-	1	2	1	2	1	3	2	-	-	12
	洪水	-	-	-	-	1	1	2	1	2	1	-	-	8
	強風	3	3	4	4	2	-	3	3	3	2	2	2	31
	風雪	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
	大雪	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	雷	3	3	5	5	6	7	12	17	6	5	1	2	72
	濃霧	1	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	5
	乾燥	3	4	4	5	2	-	-	-	-	1	-	-	19
	低温	8	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
	霜	-	-	14	3	1	-	-	-	-	-	-	-	18
	着雪	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	なだれ	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3

1 翌月にまたがる警報・注意報の発表は、前月分として集計しています。

2 切り替えの発表回数は計上していません。

3 平成25年8月31日より、特別警報の発表を開始。

災害対策本部設置回数

<警報発表時、また必要に応じ災害対策本部を設置します。>

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
久万高原町	消防本部	-	1	-	-	-	-	3	1	3	-	-	-	8
久万高原町	消防本部	-	1	-	-	-	-	3	1	3	-	-	-	8



火災統計編

火災発生状況

年		平成30年	平成29年	増 減	増 減 率		
区 分	年	平成30年	平成29年	増 減	増 減 率		
		(A)	(B)	A-B (C)	C/B %		
火災件数	総件数		6	5	1	20.0%	
	種 別	建 物	3	4	△1	△25.0%	
		林 野	1	1	0	0.0%	
		車 両	0	0	0	0.0%	
		そ の 他	2	0	2	増	
焼損状況	焼損棟数		5	13	△7	△53.8%	
	程 度	全 焼	3	10	△6	△60.0%	
		半 焼	1	0	1	増	
		部 分 焼	1	3	△2	△66.7%	
		ぼ や	0	0	0	0.0%	
面積	建物床	m ²	321	705	△384	△54.5%	
	建物表	m ²	6	11	△5	△45.5%	
	林 野	a	3	1	2	200.0%	
り災状況	総世帯		2	3	△1	△33.3%	
	程 度	全 損	2	3	△1	△33.3%	
		半 損	0	0	0	0.0%	
		小 損	0	0	0	0.0%	
死傷	人 員	人	2	7	△5	△71.4%	
	死 者	人	0	1	△1	△100.0%	
	傷 者	人	1	0	1	増	
損害状況	総損害額		2,484	10,377	△7,893	△76.1%	
	種 別	建 物	千円	2,153	10,376	△8,223	△79.3%
		林 野	千円	5	1	4	400.0%
		車 両	千円	0	0	0	0.0%
		そ の 他	千円	326	0	326	増
出 火 率		万人当り	7.0	5.8	1.2	20.7%	

* 増減率は、表示単位未満を四捨五入した。

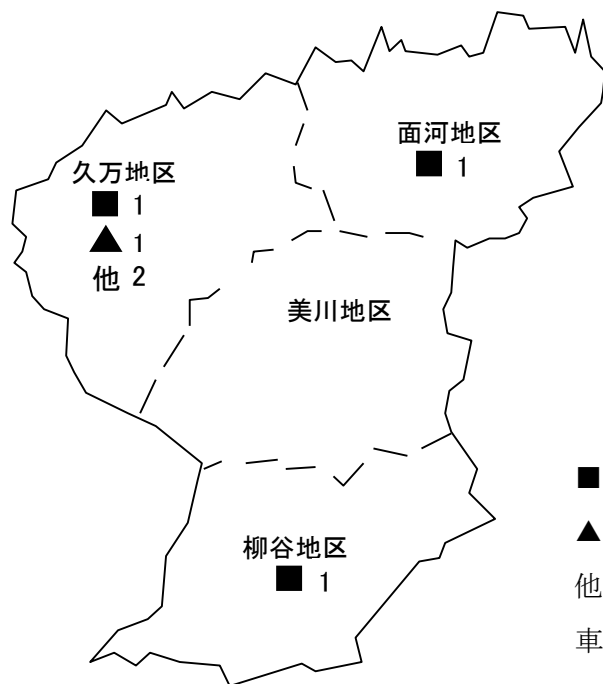
* 数値は、平成31年3月31日の確定値。

火災一覧表

火災番号	出火月日	火災種別	出火地区	出火時刻	覚知時刻	鎮火時刻	天候	風速	湿度	焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)	焼損面積 (a)	損害額 (千円)	火元用途	構造燃焼物	出火原因
1	3/13	その他	久万地区	11:00	15:50	16:10	晴れ	1.1	69			25	326	農地	—	消えたはずの集め焼きが再燃し枯草に燃え移ったもの
2	3/28	林野	久万地区	14:30	14:47	15:20	晴れ	2.0	63			3	5	田	—	枯草を焼却処分中、周囲の枯草に燃え移ったもの
3	5/18	建物	久万地区	19:50	20:53	21:30	雨	0.6	92	145			46	倉庫	木造	枯草を焼却した灰の再燃
4	7/12	建物	面河地区	1:50	2:11	3:50	曇り	1.1	76	63			1,164	住宅	木造	燃えさしが板張に落下、着火し出火したもの
5	7/28	建物	柳谷地区	0:00	0:28	2:00	曇り	0.6	82	113	6		943	住宅	準耐火	不明
6	11/8	その他	久万地区	13:50	13:54	14:25	晴れ	3.4	57			1	0	田	—	刈草焼却中強風に煽られ、枯草に燃え移り延焼したもの

※数値は、平成31年3月31日の確定値。

地区別火災発生状況



出火月日	火災種別	発生地区
3月13日	その他	久万地区
3月28日	林野	久万地区
5月18日	建物	久万地区
7月12日	建物	面河地区
7月28日	建物	柳谷地区
11月 8日	その他	久万地区

区分		地区別					
		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町	
火災 件数	総件数		4	1	—	1	6
	種 別	建物	1	1	—	1	3
		林野	1	—	—	—	1
		車両	—	—	—	—	—
		その他	2	—	—	—	2
損害 状況	損害額		377	1,164	—	943	2,484
	種 別	建物	46	1,164	—	943	2,153
		林野	5	—	—	—	5
		車両	—	—	—	—	—
		その他	326	—	—	—	326
焼損棟数		1	1	—	3	5	
り災	世帯		—	1	—	1	2
	人員	—	1	—	1	2	
死者		—	—	—	—	—	
負傷者		—	—	—	1	1	

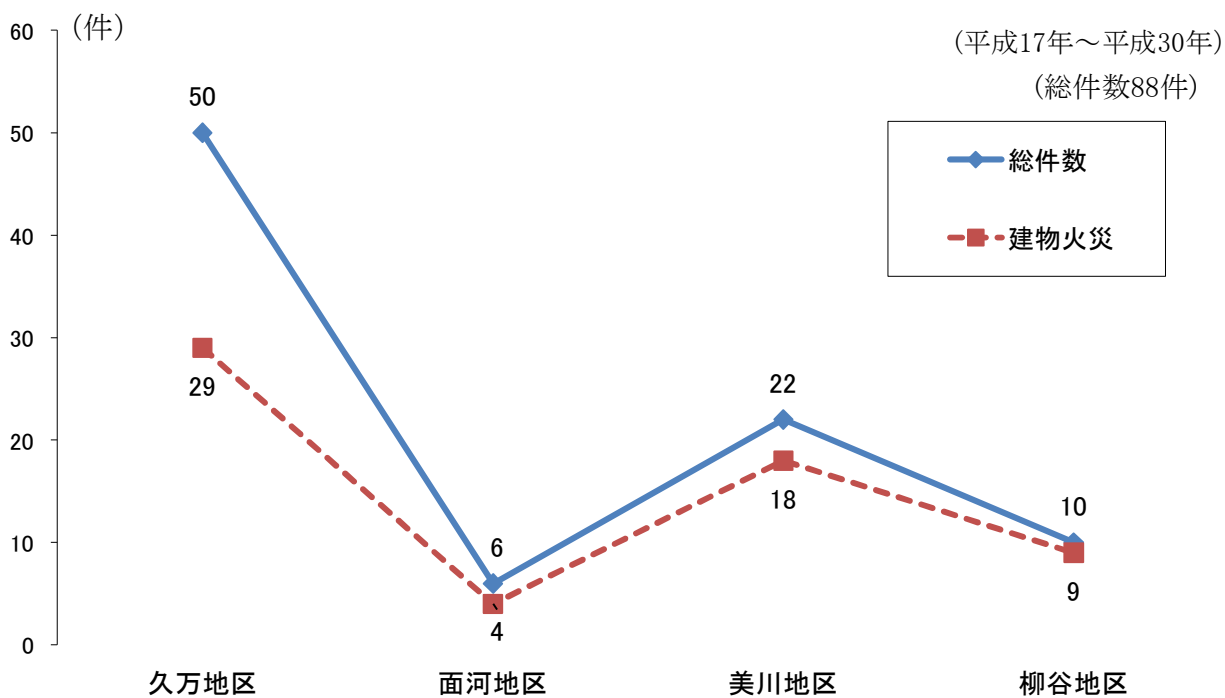
※数値は、平成31年3月31日の確定値。

月別・季節別火災発生状況

季節 区分		春季			夏季			秋季			冬季			合計	
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
火災 件数	総件数		2	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-	-	6
	種 別	建物	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3
		林野	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
焼損 状況	焼損棟数		-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	6	
	程 度	全焼	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4
		半焼	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
		部分焼	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
		ぼや	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
面積	建物床	m ²	-	-	145	-	176	-	-	-	-	-	-	321	
	建物表	m ²	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	6	
	林野	a	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
り 災	世帯		-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	
	人員		-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	
死 傷	死者		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	傷者		-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
損 害 状 況	損害額		331	-	46	-	2,107	-	-	-	-	-	-	2,484	
	種 別	建物	-	-	46	-	2,107	-	-	-	-	-	-	2,153	
		林野	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
		車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		その他	326	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	326	

※数値は、平成31年3月31日の確定値。

地区別火災発生状況

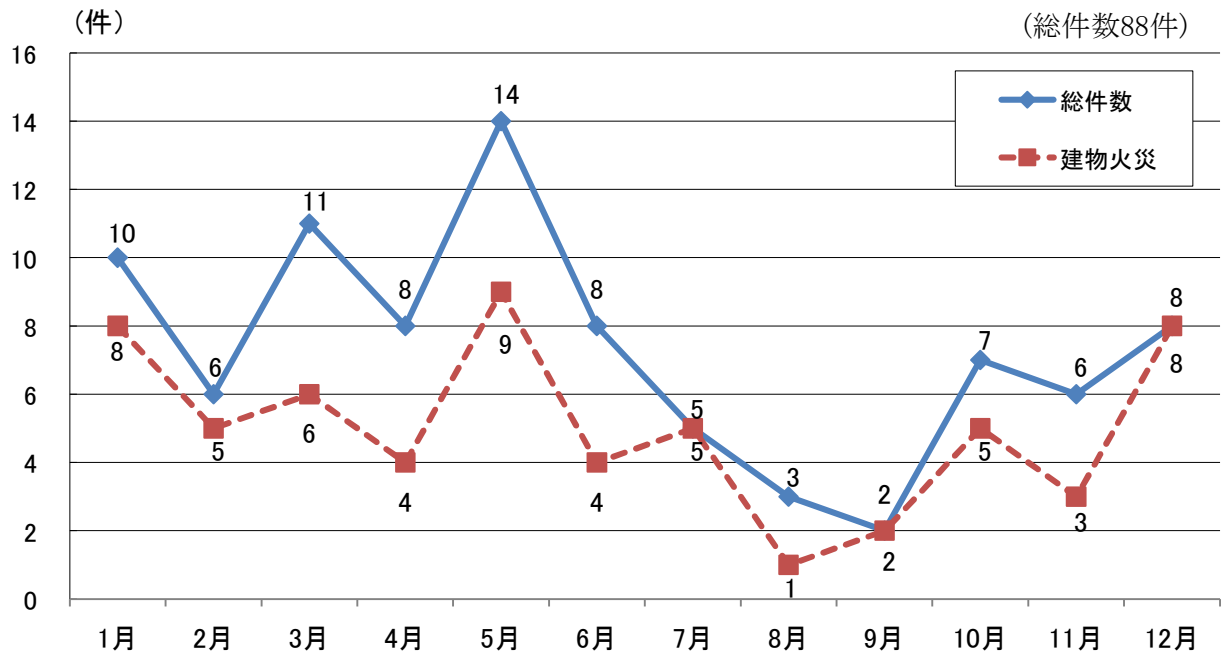


区分		地区別					
		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町	
火災件数	総件数	50	6	22	10	88	
	種別	建物	29	4	18	9	60
		林野	11	1	3	1	16
		車両	5	1	—	—	6
		その他	5	—	1	—	6
焼損状況	焼損棟数	36	17	36	26	115	
	程度	全焼	19	13	22	18	72
		半焼	5	1	2	2	10
		部分焼	9	2	10	3	24
		ぼや	3	1	2	3	9
面積	建物床	1,492	785	1,535	1,257	5,069	
	建物表	194	128	97	100	519	
	林野	120	1	194	10	325	
り災	世帯	14	7	13	7	41	
	人員	25	12	29	11	77	
死傷	死者	—	1	1	—	2	
	傷者	1	1	—	3	5	
損害状況	損害額	41,733	14,100	36,027	19,989	111,849	
	種別	建物	40,122	13,296	33,882	19,855	107,155
		林野	541	1	2,145	134	2,821
		車両	735	803	—	—	1,538
		その他	335	—	—	—	335

月別火災発生状況

(平成17年～平成30年)

(総件数88件)

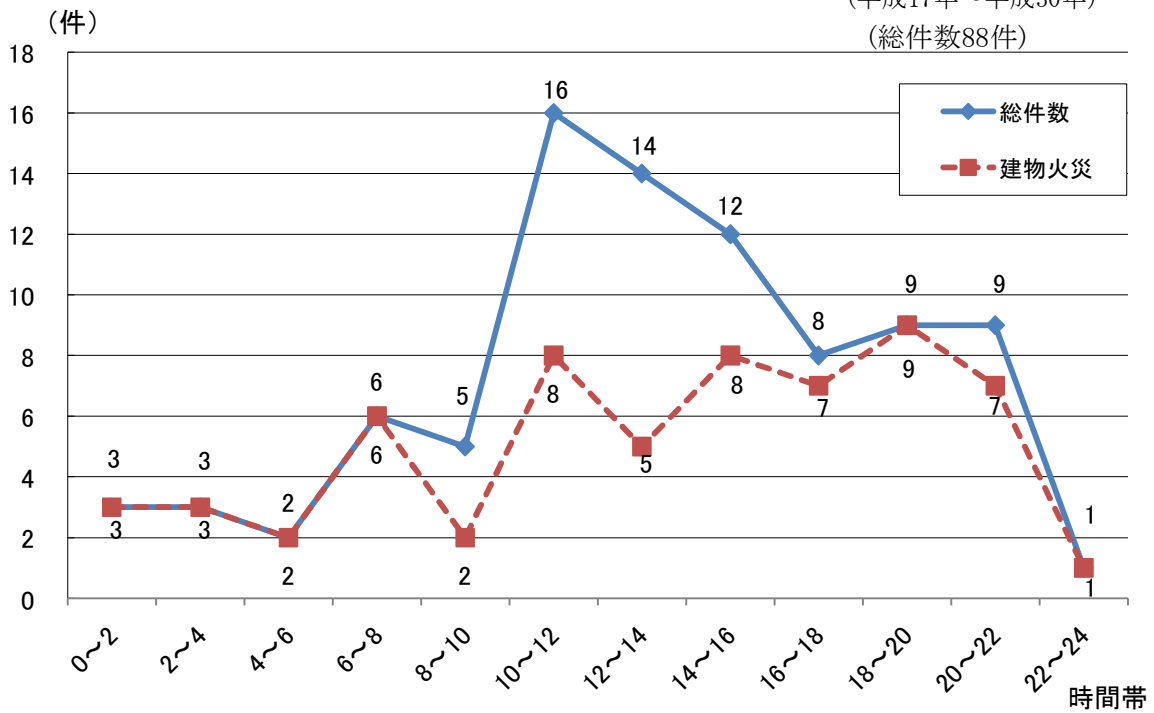


種別 年	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		
	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	
平成17年	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
平成18年	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
平成19年	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
平成20年	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
平成21年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
平成22年	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	2	-	
平成23年	-	-	1	1	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成24年	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	
平成25年	2	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	
平成26年	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
平成27年	1	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
平成28年	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	
平成29年	1	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
平成30年	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	8	1	5	1	6	3	4	2	9	4	4	2	5	-	1	2	2	-	5	-	3	1	8	-	
車両	1				1						2								1		1				
その他					1		2		1										1		1				
合計(88)	10		6		11		8		14		8		5		3		2		7		6		8		

時間帯別火災発生状況

(平成17年～平成30年)

(総件数88件)



種別 年	0時		2時		4時		6時		8時		10時		12時		14時		16時		18時		20時		22時	
	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野
平成17年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
平成18年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
平成19年	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
平成20年	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成21年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成22年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-
平成23年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	2	-	-	-
平成24年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
平成25年	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
平成26年	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	2	1	-	-
平成27年	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
平成28年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-
平成29年	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-
平成30年	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
計	3	-	3	-	2	-	6	-	2	-	8	5	5	4	7	5	7	1	9	-	7	1	1	-
車両	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計(88)	3	-	3	-	2	-	6	-	5	-	16	-	14	-	12	-	8	-	9	-	9	-	1	-

地区別火災発生一覧表

(平成17年～平成30年)

区分 地区	出火件数				焼損面積			焼 損 棟 数	り 災		死 傷 者		損 害 額 千 円
	統計	建物	林野	他	床面積(m ²)	表面積(m ²)	林野(a)		世帯	人員	死者	傷者	
久万地区	50	29	11	10	1,492	194	120	36	14	25	-	1	41,733
東明神	4	2	-	2	50	-	13	2	-	-	-	-	650
西明神	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
入野	4	3	-	1	199	-	8	3	2	2	-	-	2,878
久万	7	7	-	-	243	7	-	8	8	13	-	-	5,761
野尻	6	4	-	2	1	101	-	4	-	-	-	-	3,418
菅生	6	3	2	1	165	34	33	5	1	3	-	-	10,089
上畑野川	4	1	3	-	112	-	12	1	-	10	-	-	1,382
下畑野川	3	-	1	2	-	-	42	-	-	-	-	-	595
直瀬	7	3	3	1	192	10	6	4	-	-	-	1	884
父野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
露峰	4	2	1	1	164	-	-	2	1	4	-	-	7,127
二名	5	4	1	-	366	42	6	7	2	3	-	-	8,949
面河地区	6	4	1	1	785	128	1	17	7	12	1	1	14,100
相の木	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	803
笠方	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
前組	1	1	-	-	294	-	-	5	1	3	1	-	3,521
洪草大成	3	3	-	-	491	128	-	12	6	9	-	1	9,775
中組本組	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
若山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美川地区	22	18	3	1	1,535	97	194	36	13	29	1	-	36,027
有枝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大川	2	2	-	-	145	32	-	3	1	3	-	-	1,991
上黒岩	3	2	1	-	4	-	-	2	-	-	-	-	439
中黒岩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沢渡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日野浦	5	4	1	-	359	11	8	9	3	5	1	-	9,280
仕出	1	1	-	-	30	17	-	3	-	-	-	-	652
七鳥	5	4	-	1	228	23	-	5	3	9	-	-	5,542
東川	4	4	-	-	510	14	-	10	5	10	-	-	13,151
黒藤川	2	1	1	-	259	-	186	4	1	2	-	-	4,972
柳谷地区	10	9	1	-	1,257	100	10	26	7	11	-	3	19,989
柳井川	5	4	1	-	387	59	4	9	3	5	-	3	6,291
西谷	4	4	-	-	783	41	6	14	4	6	-	-	12,845
中津	1	1	-	-	87	-	-	3	-	-	-	-	853
久万高原町	88	60	16	12	5,069	519	325	115	41	77	2	5	111,849

※数値は、平成31年3月31日の確定値。



救 急 編

年別救急活動状況

<救急出場件数>

事故別 年次	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院	その他		
													医師	資器材	その他
平成18年	597	—	—	—	28	5	1	83	—	5	251	218	1	—	5
平成19年	629	—	—	—	45	5	8	81	—	7	266	214	—	—	3
平成20年	570	—	—	—	41	4	2	81	1	7	262	166	—	—	6
平成21年	587	—	—	1	29	8	2	81	—	7	287	170	1	1	—
平成22年	617	—	—	1	31	7	5	99	1	3	273	196	—	—	1
平成23年	625	—	—	1	27	6	8	96	1	4	278	202	—	—	2
平成24年	610	—	—	1	26	4	6	86	—	9	282	193	—	—	3
平成25年	608	—	—	—	27	7	5	86	—	6	280	195	—	—	2
平成26年	607	—	—	—	44	8	3	101	—	8	247	194	—	—	2
平成27年	594	—	—	1	36	7	4	89	2	6	283	164	—	—	2
平成28年	585	—	—	—	33	2	4	82	—	4	294	165	—	—	1
平成29年	588	—	—	—	38	5	6	87	3	7	283	153	3	—	3
平成30年	587	—	—	—	32	7	—	91	—	4	301	143	—	—	9
合計	7,804	0	0	5	437	75	54	1,143	8	77	3,587	2,373	5	1	39

<救急搬送人員>

事故別 年次	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院	その他		
													医師	資器材	その他
平成18年	577	—	—	—	28	5	1	82	—	3	239	217	—	—	2
平成19年	618	—	—	—	48	4	8	79	—	6	254	214	—	—	5
平成20年	556	—	—	—	47	4	2	79	—	4	249	166	—	—	5
平成21年	562	—	—	1	33	8	2	78	—	4	266	170	—	—	—
平成22年	608	—	—	1	33	6	6	95	1	2	266	196	—	—	2
平成23年	602	—	—	—	30	6	8	89	1	3	261	202	—	—	2
平成24年	593	—	—	1	29	4	6	85	—	5	267	193	—	—	3
平成25年	588	—	—	—	26	5	5	81	—	5	270	195	—	—	1
平成26年	584	—	—	—	44	9	3	97	—	6	228	195	—	—	2
平成27年	573	—	—	1	40	7	4	85	1	2	266	165	—	—	2
平成28年	560	—	—	—	34	2	4	77	—	3	276	164	—	—	—
平成29年	561	—	—	—	40	4	6	83	3	4	265	153	—	—	3
平成30年	553	—	—	—	32	7	—	87	—	2	281	143	—	—	1
合計	7,535	0	0	4	464	71	55	1,097	6	49	3,388	2,373	0	0	28

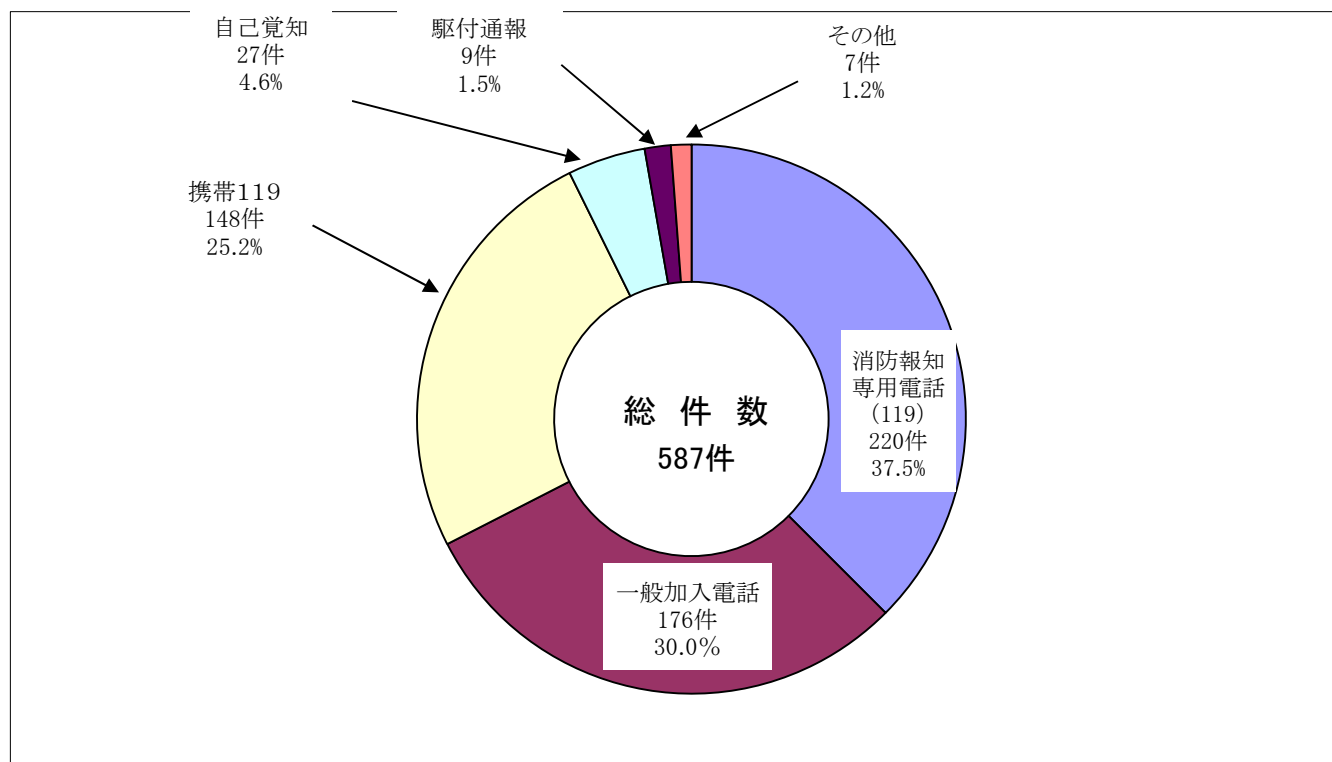
月別救急活動状況

月別 項目		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
		出場件数	587	68	42	43	41	63	33	52	47	38	52	57	51
搬送人員	553	63	38	40	38	63	31	47	47	35	46	54	51		
火災	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	人員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
自然災害	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	人員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
水難	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	人員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
交通事故	件数	32	1	2	—	4	3	2	3	5	2	4	1	5	
	人員	32	1	2	—	4	3	2	3	5	2	3	1	6	
労働災害	件数	7	1	1	—	—	—	—	1	1	—	1	1	1	
	人員	7	1	1	—	—	—	—	1	1	—	1	1	1	
運動競技	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	人員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
一般負傷	件数	91	9	4	10	3	9	6	9	6	9	9	12	5	
	人員	87	8	4	8	3	10	6	8	6	8	9	12	5	
加害	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	人員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
自損行為	件数	4	1	—	—	—	1	—	1	—	—	—	1	—	
	人員	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	
急病	件数	301	31	24	20	22	38	13	30	24	17	29	26	27	
	人員	281	29	20	19	20	37	12	27	24	17	26	24	26	
その他	転院	件数	143	24	10	13	11	12	11	8	11	8	7	15	13
		人員	143	24	10	13	11	12	11	8	11	8	7	15	13
	医師	件数	4	1	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—
	資器材	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	件数	5	—	1	—	1	—	1	—	—	1	—	1	—
		人員	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

署・地区別救急活動状況

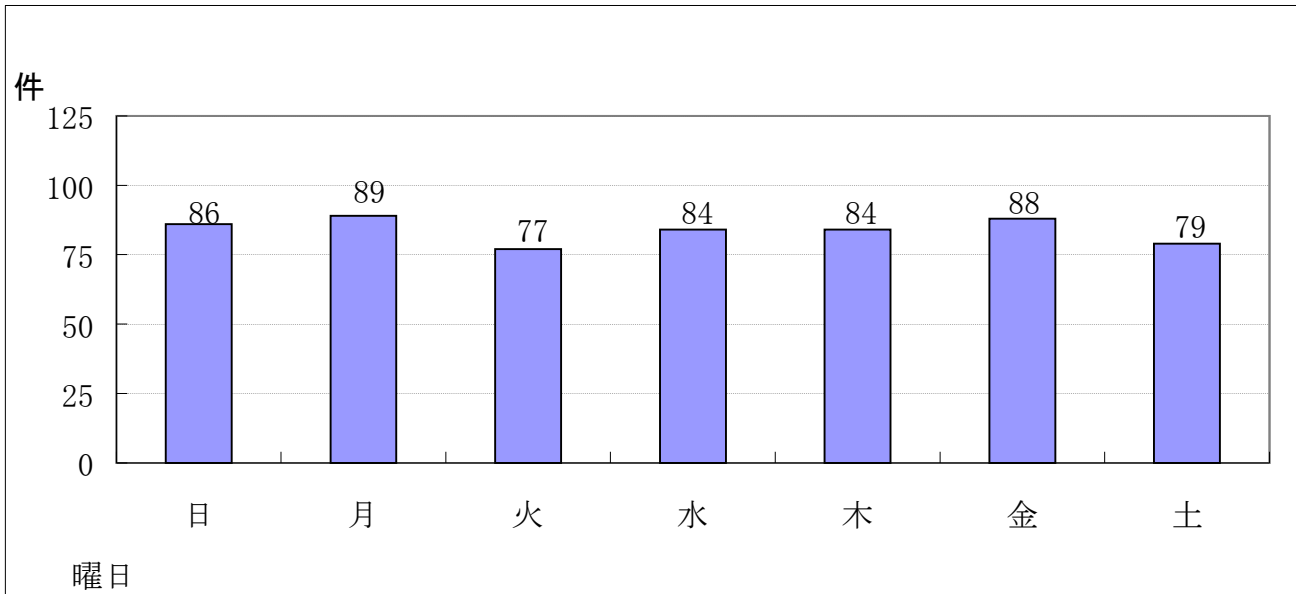
事故種別	合 計	火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他				
												転院	医師	資器材	その他	
休 日	169	—	—	—	13	—	—	34	—	—	90	27	3	—	2	
休日以外	418	—	—	—	19	7	—	57	—	4	211	116	1	—	3	
消防署(本署)	386	—	—	—	22	4	—	57	—	3	185	109	4	—	2	
美川支署	201	—	—	—	10	3	—	34	—	1	116	34	—	—	3	
出場件数	587	—	—	—	32	7	—	91	—	4	301	143	—	—	9	
搬送人員	553	—	—	—	32	7	—	87	—	2	281	143	—	—	1	
区 分	合 計	火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他				
												転院	医師	資器材	その他	
久万高原町	久万地区	389	—	—	—	20	4	—	55	—	3	179	126	1	—	1
	面河地区	51	—	—	—	2	1	—	12	—	—	34	—	1	—	1
	美川地区	91	—	—	—	5	2	—	16	—	1	57	9	1	—	—
	柳谷地区	51	—	—	—	4	—	—	8	—	—	28	8	1	—	2
町 外	5	—	—	—	1	—	—	—	—	—	3	—	—	—	1	

覚知方法別状況



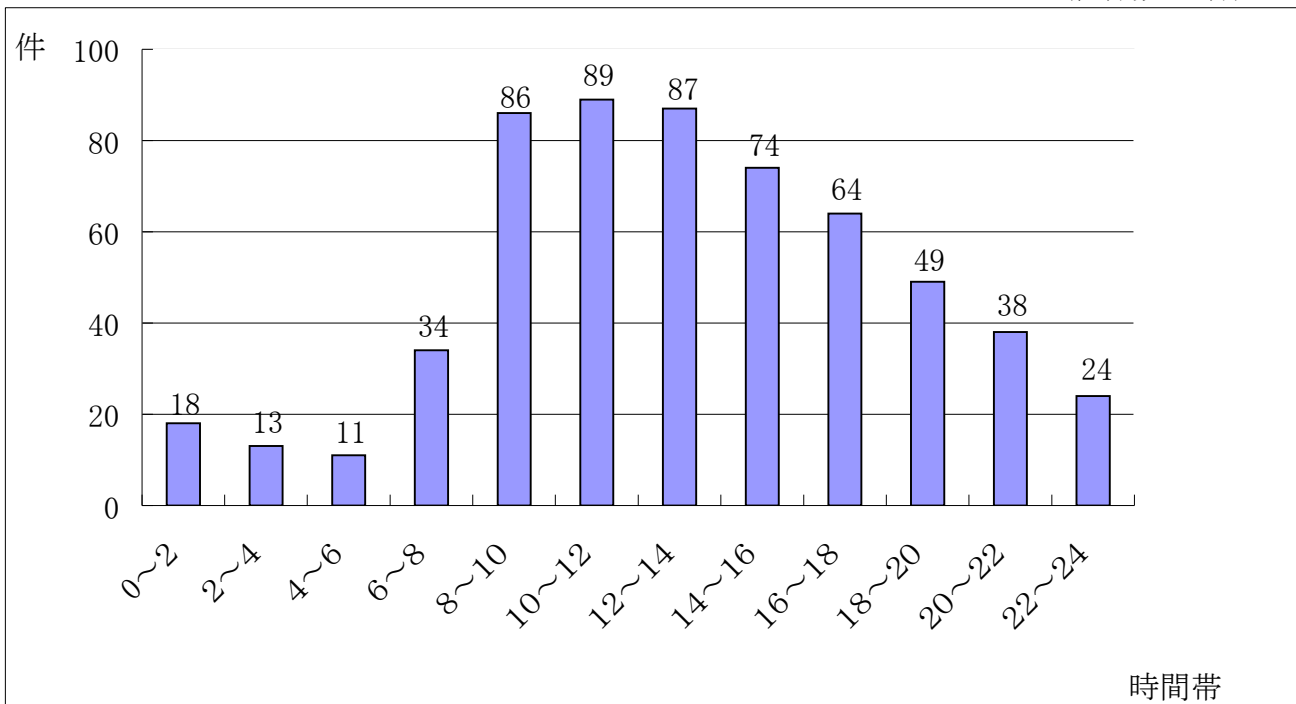
曜日別発生件数状況

(総件数587件)



時間帯別発生件数状況

(総件数587件)



居住区別搬送人員の対人口比

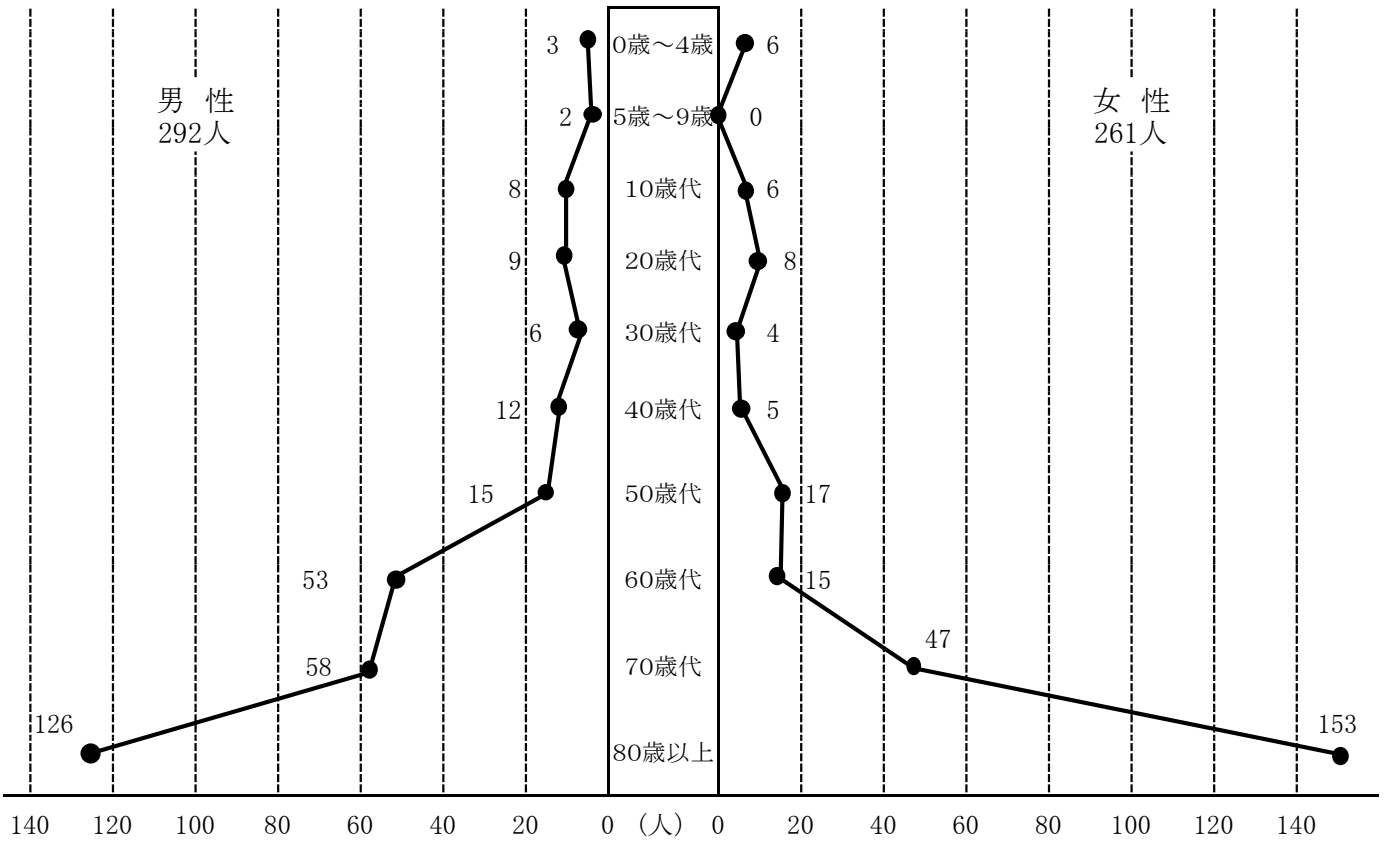
※ 地区別人口は平成31年3月31日現在を使用

項目	久万高原町				町外	合計
	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区		
居住別搬送人員	271	52	92	56	82	553
人口	5,610	524	1,376	724	—	8,234
対人口比	21人に1人	10人に1人	15人に1人	13人に1人	—	15人に1人

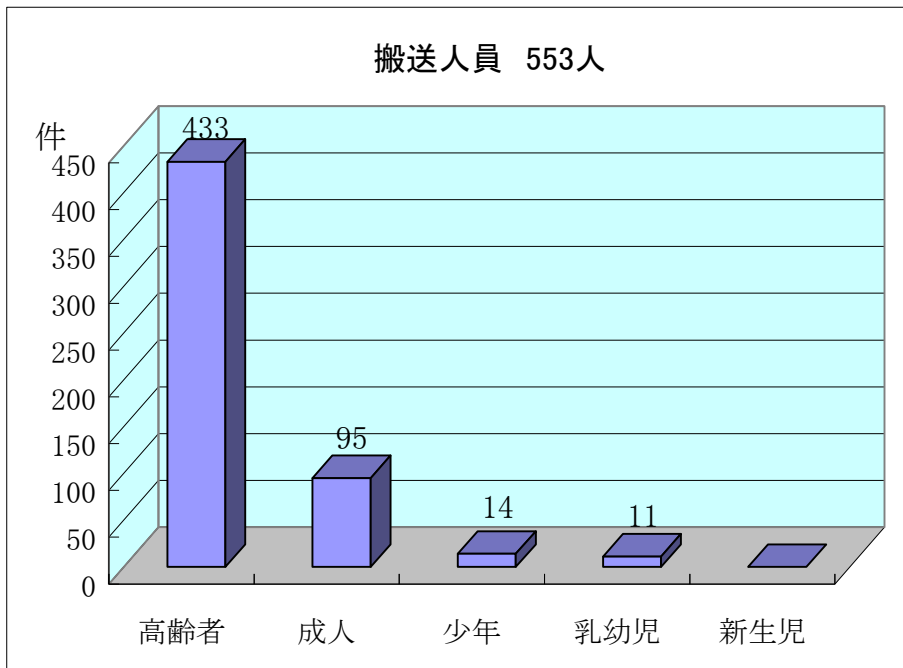
※久万高原町居住者搬送(471人)を、人口割すると17人に1人の搬送となる。

年齢性別区分搬送人員状況

<その1>



<その2>



- 新生児 生後28日未満
- 乳幼児 生後28日～7歳未満
- 少年 7歳～18歳未満
- 成人 18歳～65歳未満
- 高齢者 65歳以上

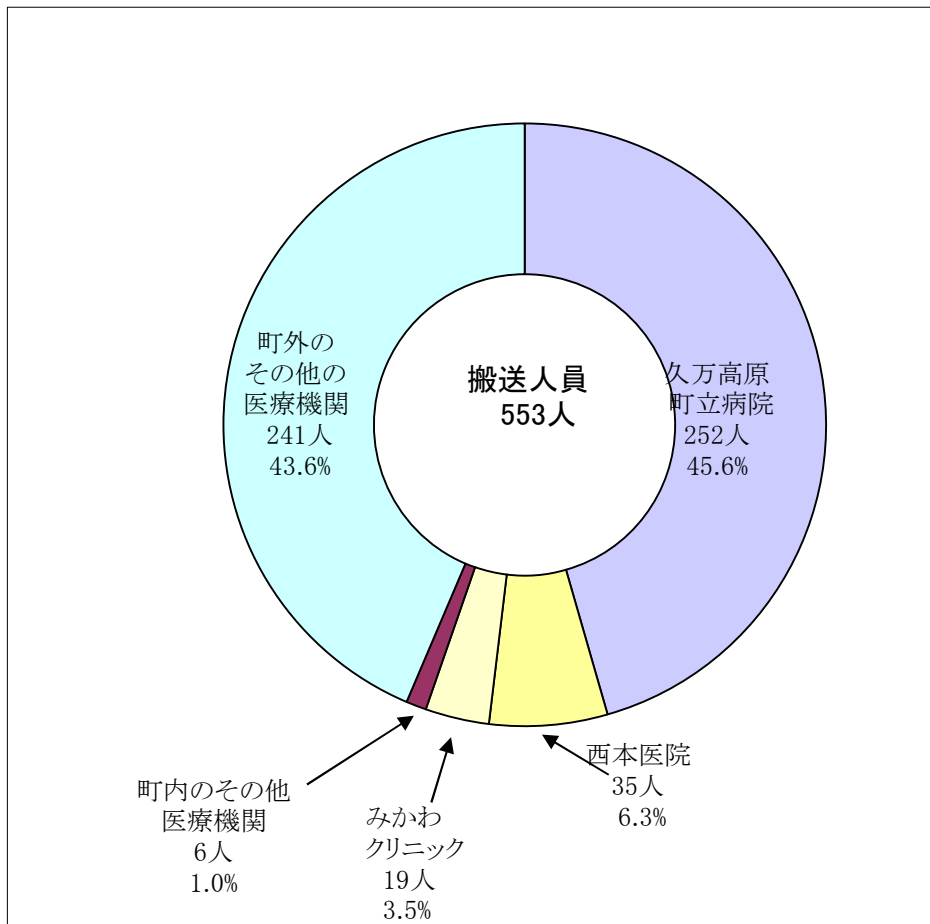
年齢区分

医療機関別収容人員の状況

()は転院計

大区分	小区分	医療機関名	区分	収容人員	内転院	小区分計	大区分	総計
救急告示医療機関	町内	久万高原町立病院	公立	252	9	287 (10)	471 (114)	553 (143)
		社団マリナ会西本医院	私的	35	1			
	町外	愛媛医療センター	国立	13	6	184 (104)		
		県立中央病院	公立	49	31			
		松山赤十字病院	公的	34	20			
		済生会松山病院	公的	24	17			
		松山市民病院	私的	17	11			
		南松山病院	私的	12	3			
		愛媛生協病院	私的	9	4			
		奥島病院	私的	7	3			
		野本記念病院	私的	1	—			
		平成脳神経外科病院	私的	8	1			
		梶浦病院	私的	6	5			
		浦屋病院	私的	1	—			
渡辺病院	私的	1	1					
笠置記念病院	私的	2	2					
非救急告示医療機関	町内	みかわクリニック	私的	19	—	25 (—)		
		その他医療機関	私的	6	—			
	町外	愛大医学部附属病院	国立	6	3	37 (24)		
		救命救急センター	公立	28	19			
		松山記念病院	私的	1	1			
		福井整形外科・麻酔科	私的	1	1			
ばらのいずみクリニック	私的	1	—					
その他	中継搬送(高吾北)			1	—	20 (5)		
	ドクターヘリ			19	5			
	久万高原町警察署・その他			—	—			

収容機関別状況



※ 町外のその他の医療機関の搬送人員241人中133人は転院搬送によるもの。

事故種別・傷病程度

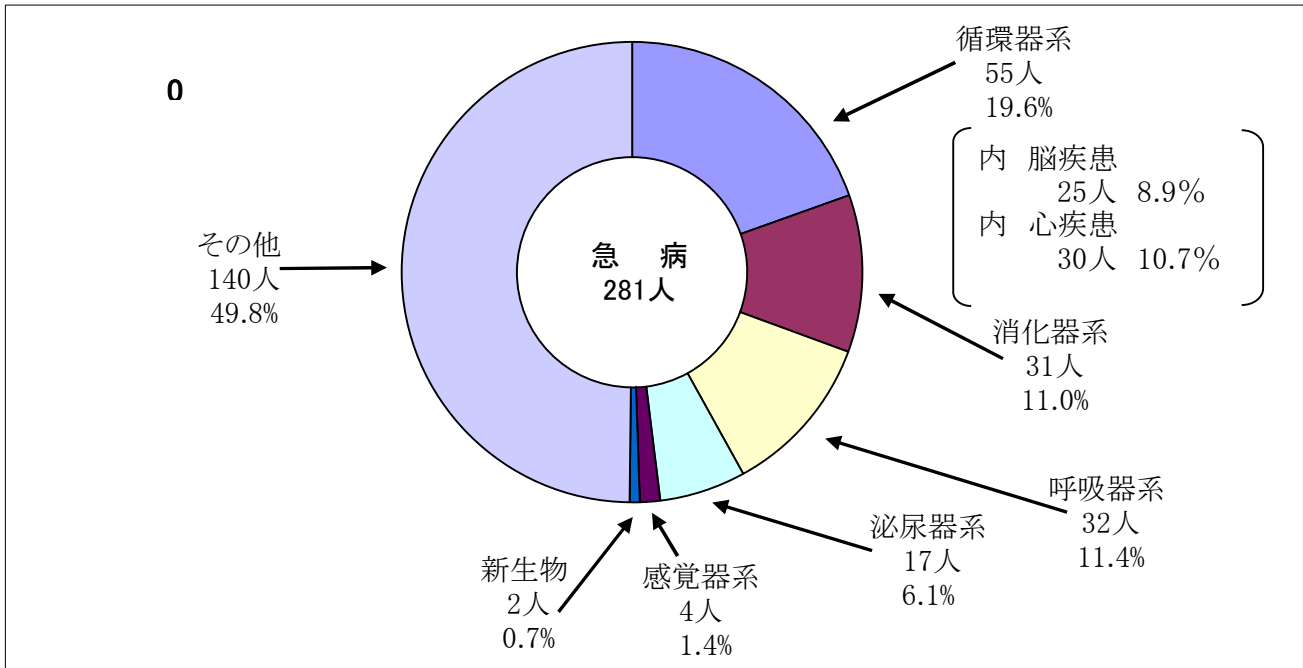
事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計	割合
	死亡	—	—	—	—	—	—	—	—	1	14	1	16
重症	—	—	—	4	1	—	16	—	1	27	44	93	17.9%
中等症	—	—	—	7	4	—	38	—	—	121	79	249	47.8%
軽症	—	—	—	20	2	—	30	—	—	95	16	163	31.3%
計	—	—	—	31	7	0	84	0	2	257	140	521	100.0%

※その他32名(傷病名不明・未回収等含む)

急病疾患別内訳

(急病搬送人員 281人)

疾患別	循環器系		消化器系	呼吸器系	泌尿器系	精神系	新生物	感覚器系	その他
	脳疾患	心疾患							
	25	30	31	32	17	0	2	4	140



事故種別・理由別不搬送

事故種別 不搬送理由	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院	医師	資器材	その他
緊急性なし	8	—	—	—	—	—	—	2	—	—	6	—	—	—	—
傷病者なし	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
拒否	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—
酔酩	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
死亡	13	—	—	—	—	—	—	1	—	2	10	—	—	—	—
現場処置	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
誤報・いたづら	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	10	—	—	—	—	—	—	2	—	—	4	—	4	—	—
計	34	—	—	—	1	—	—	5	—	2	22	—	4	—	—

緊急電話受信時における口頭指導内容

(全指導回数19回,22件)

口頭指導内容	件数	口頭指導内容	件数
胸骨圧迫・人工呼吸などに関するもの	15	その他(異物除去・保温・体位管理)	3
止血・被覆などに関するもの	2		
AEDの準備などに関するもの	2		

* 指導回数には複数項目の場合が存在するため回数と件数は一致しない

応急処置及び拡大処置件数

事故種別	応急処置 対象人員	止血	固定	被覆	保温	人工呼吸	胸骨圧迫	心肺蘇生法	うち自動心マ使用	酸素吸入	気道確保				
											用手含む総数	うちA	うちB	うちC	うちD
急病	281	1	2	2	42	3	2	9	2	84	18	2	1	6	—
交通	32	4	15	13	3	—	—	—	—	6	—	—	—	—	—
一般負傷	87	10	24	22	16	—	1	—	—	14	—	—	—	—	—
その他	153	3	19	6	21	—	—	1	1	55	4	—	—	—	—
計	553	18	60	43	82	3	3	10	3	159	22	2	1	6	0

事故種別	応急処置	在宅療法	ショックパンプ	血圧測定	心音・呼吸音聴診	血中酸素飽和度	心電図	除細動	静脈路確保	心肺機能停止前	静脈路確保	薬剤投与	アドレナリン	ブドウ糖	薬剤投与	血糖測定	その他	合計	拡大された応急処置と特定行為	うち特定行為
交通	—	—	32	9	32	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23	146	82	0	
一般負傷	—	—	85	7	85	15	—	—	1	—	—	—	—	—	—	66	346	193	1	
その他	—	—	149	8	150	62	—	—	—	—	—	—	—	—	—	126	604	370	0	
計	0	0	529	58	537	196	1	0	2	0	0	0	0	0	479	2,202	1,335	8		

※ については、拡大された処置

※ 気道確保 A 経鼻エアウェイ使用

※ については、特定行為

B 喉頭鏡・鉗子を使用した異物除去

C ラリングアルマスク等使用

D 気管挿管

現場到着所要時間

	3分未満	3分～5分 未満	5分～10分 未満	10分～20分 未満	20分以上	計	現場到着 平均所要時間
急病	9	13	118	84	77	301	14.2
交通	1	1	9	16	5	32	14.2
一般負傷	1	6	26	36	22	91	15.0
その他	0	0	6	7	6	19	19.7
計	11	20	159	143	110	443	14.6
転院	21	41	63	15	3	143	5.3
総計	32	61	222	158	113	586	12.3

医療機関収容所要時間状況

	10分未満	10分～20分 未満	20分～30分 未満	30分～60分 未満	60分～120分 未満	120分以上	計	収容平均 所要時間
急病	—	21	64	99	91	6	281	50.2
交通	—	2	4	14	11	1	32	55.0
一般負傷	—	10	15	24	36	2	87	53.3
その他	—	—	1	3	5	1	10	59.8
計	0	33	84	140	143	10	410	51.5
転院	—	4	4	108	27	—	143	51.9
総計	0	37	88	248	170	10	553	51.6

平均出場時間

	平成30年		平成29年	
総出場件数	587		588	
出場件数	町内搬送	町外搬送	町内搬送	町外搬送
	367	220	333	255
総出場時間	969時間27分		937時間59分	
出場時間	462時間28分	506時間59分	411時間40分	526時間19分
平均時間	1時間16分	2時間18分	1時間14分	2時間4分
全平均時間	1時間39分		1時間36分	

ドクターヘリの運航・ドクターヘリ運航・ドクターカー運行状況

<ドクターヘリの運航状況一覧表>

年次	件数 (No)	種別	傷病名または要因	程度	収容医療機関
21年	1	一般	出血性ショック	重症	救命救急センター
22年	1	一般	多発外傷	その他	救命救急センター
	2	急病	狭心症疑い	軽症	救命救急センター
	3	一般	左下腿開放骨折	重症	救命救急センター
	4	急病	AMI	その他	救命救急センター
	5	労災	頭部外傷	中等症	救命救急センター
23年	1	交通	自転車での転倒	重症	救命救急センター
	2	労災	木材運搬車の下敷	その他	高知医療センター
25年	1	交通	高エネルギー外傷	重症	救命救急センター
27年	1	一般	左下腿挫滅創	重症	救命救急センター
	2	労災	多発外傷	中等症	救命救急センター
	3	交通	右前腕・踵骨骨折	重症	救命救急センター
	4	交通	CPA	死亡	救命救急センター

<ドクターカー運行状況一覧表>

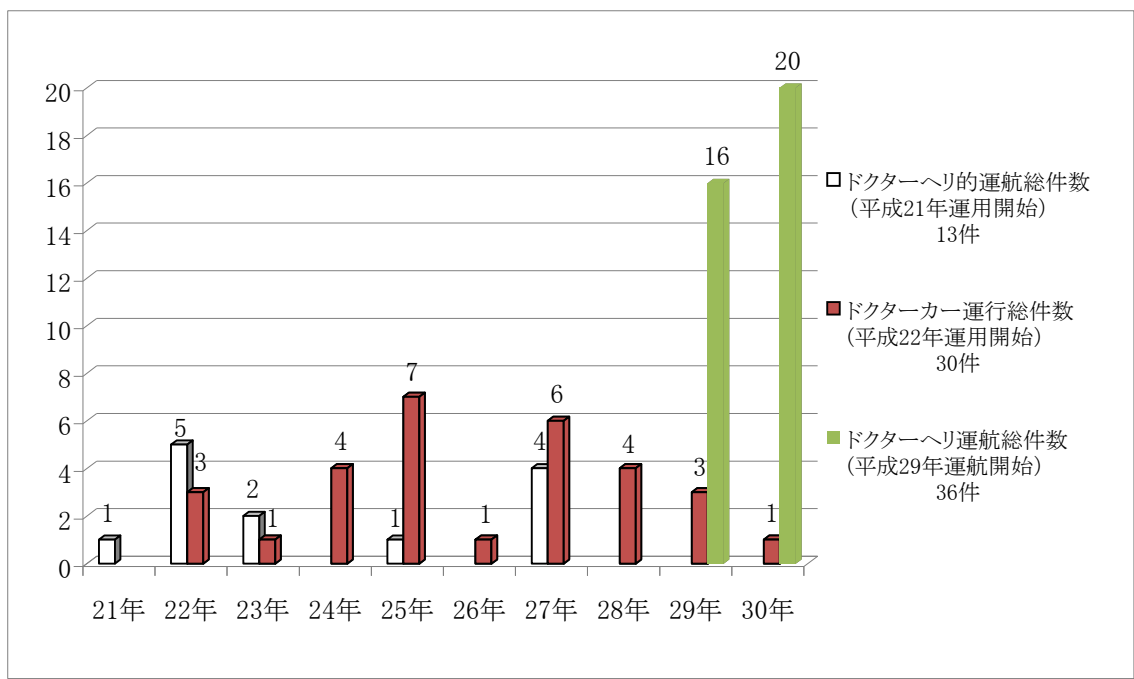
年次	件数 (No)	種別	傷病名	程度	収容医療機関
22年	1	労災	急性硬膜外血腫	重症	救命救急センター
	2	一般	右大腿切創	中等症	救命救急センター
	3	一般	左前腕開放骨折	重症	救命救急センター
23年	1	一般	頸髄損傷	重症	救命救急センター
24年	1	交通	仙骨開放骨折	重症	救命救急センター
	2	労災	脳挫傷・外傷性SAH	重症	救命救急センター
	3	転院	痙攣重積	中等症	救命救急センター
	4	急病	ACS・CPA蘇生後	重症	救命救急センター
25年	1	一般	右脛骨・左大腿骨骨折	重症	救命救急センター
	2	交通	左膝蓋骨開放骨折	重症	救命救急センター
	3	交通	顔面複雑骨折	重篤	救命救急センター
	4	転院	骨盤骨折	重症	救命救急センター
	5	転院	くも膜下出血	重篤	救命救急センター
	6	転院	頸髄損傷	重篤	救命救急センター
	7	交通	左視床出血・全身打撲	重症	※高知消防防災ヘリ
26年	1	交通	熱傷	重症	救命救急センター
27年	1	急病	急性心不全	重症	救命救急センター
	2	一般	胸髄損傷	重症	救命救急センター
	3	交通	多発骨折	重症	救命救急センター
	4	一般	熱傷	軽症	救命救急センター
	5	交通	腹腔内出血	重症	救命救急センター
	6	労災	脊髄損傷疑い	軽症	救命救急センター
28年	1	急病	てんかん重積状態	重症	救命救急センター
	2	一般	圧挫傷	中等症	救命救急センター
	3	交通	多発性外傷	重症	救命救急センター
	4	交通	多発性外傷	中等症	救命救急センター
29年	1	転院	急性呼吸不全	重症	救命救急センター
	2	急病	急性冠症候群	中等症	救命救急センター
	3	急病	急性心不全	重症	救命救急センター
30年	1	急病	急性冠症候群	重症	救命救急センター

※ドクターヘリの運航・ドクターカー同時運行

<ドクターヘリ運航状況一覧表>

年次	件数 (No)	種別	傷病名	程度	収容医療機関
30年	1	一般	頭部外傷	死亡	久万高原警察署
	2	労災	頭部多発割創	中等症	済生会松山病院
	3	転院	急性出血性胃潰瘍	中等症	救命救急センター
	4	一般	中足骨開放骨折	重症	救命救急センター
	5	一般	末梢神経損傷	中等症	救命救急センター
	6	交通	多発性外傷	重症	救命救急センター
	7	交通	左鎖骨骨折	中等症	久万高原町立病院
	8	一般	血管迷走神経反射性失神	軽症	救命救急センター
	9	一般	腓骨開放性粉碎骨折	重症	救命救急センター
	10	転院	アナフィラキシーショック	重症	救命救急センター
	11	急病	穿孔性腹膜炎	重症	救命救急センター
	12	急病	脳梗塞	重症	救命救急センター
	13	一般	アナフィラキシーショック	中等症	救命救急センター
	14	一般	外傷性出血性ショック	重症	救命救急センター
	15	一般	胸部外傷	中等症	愛媛大学医学部附属病院
	16	労災	頸椎損傷	重症	救命救急センター
	17	転院	肥大型心筋症	軽症	救命救急センター
	18	急病	脳梗塞	重症	救命救急センター
	19	一般	大腿骨骨幹部骨折	重症	救命救急センター
	20	転院	発作性心房細動	中等症	救命救急センター

ドクターヘリの運航・ドクターヘリ運航・ドクターカー運行状況





救 助 編

救助出動及び活動状況

事故種別 区分	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他						合 計
									高 所 転 落	搬 送 応 援	へ り 支 援	捜 索 活 動	山 岳 事 故	そ の 他	
出 動 件 数	3	4	-	-	1	1	-	-	-	15	13	4	5	3	49
活 動 件 数	3	2	-	-	1	-	-	-	-	13	13	4	3	3	42
救 助 人 員	-	2	-	-	1	-	-	-	-	13	13	4	4	3	40
活 動 人 員	救 助 隊 員	11	7	-	-	2	-	-	-	23	16	8	10	7	84
	消 防 隊 員	33	7	-	-	1	-	-	-	21	18	12	7	6	105
	救 急 隊 員	-	16	-	-	3	-	-	-	45	44	6	3	6	123
	消 防 団 員	215	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43	-	-	258
計	259	30	-	-	6	-	-	-	-	89	78	69	20	19	570
活 動 車 両	救 助 工 作 車	3	3	-	-	1	-	-	-	2	1	1	-	1	12
	消 防 ポ ン プ 車	6	2	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	10
	救 急 車	1	5	-	-	1	-	-	-	13	20	2	4	1	47
	そ の 他 の 車 両	7	-	-	-	1	-	-	-	11	6	7	5	1	38
防 災 へ り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
計	17	10	-	-	3	-	-	-	-	26	28	11	11	3	109

(注) 山岳事故については、応援協定に基づく西条消防等の協力を受けての活動件数を含む。

年間の主な訓練と行事

実施月日	訓練及び実施行事	訓練結果・行事内容
1月28日 ～ 1月29日	冬季山岳遭難救助訓練 (愛媛県警合同)	1.冬山登山訓練(物資搬送訓練) 2.担架作成・搬送訓練 3.ラッセル・アイゼン装着歩行訓練 4.滑落停止訓練
7月1日 ～ 7月10日	石鎚山中間点警備	石鎚山お山開きに伴う山岳警備
10月26日	愛媛県消防防災航空隊合同訓練	1.機体誘導訓練・場外警戒要領・無線交信 2.ホイストによる隊員投入回収訓練 3.山岳事故想定訓練
11月26日	第21回 全国消防救助シンポジウム (東京都)	救助活動事例の教訓を踏まえ検証した 効果的な救助手法

救助関係資器材の保有状況

〈救助用機械器具等〉

一般救助用器具					重量物排除用器具					切断用器具					破壊器具				隊員保護用器具															
かぎ付きはしご	三連はしご	空気式救助マット	救命索発射銃	グ又は救助用縛帯 サバイバースリン	エバックハーネス	平担架	油圧ジャッキ	油圧スプレッダー	可搬ウインチ	ジャッキ マット型空気	大型油圧 スプレッダー	チェーンブロック	油圧切断機	エンジンカッター	チェーンソー	ガス溶断器	鉄線カッター	大型油圧切断機	空気鋸	万能斧	ハンマー	削岩機	ハンマドリル	耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱服	防塵メガネ	防塵マスク	防塵マスコ	化学防護服	肘プロテクター	膝プロテクター
1	3	1	1	3	1	1	1	1	2	5	2	1	2	1	3	1	1	2	1	4	2	1	1	2	2	2	2	1	10	10	9	6	6	

〈体力練成用器具〉

検索用具		測定用具		呼吸保護用具			その他の救助用器具																									
熱画像赤外線	カメラ	簡易画像探索機	ガス測定器	空気呼吸器	酸素呼吸器	送排風機	応急処置セット	緩降機	救命胴衣	救命ボート	救命浮環	流水救助器具	エアテント	アームトレーナー	鉄アレイ	バーベル	テンションバー	シットアップベンチ	コンビネーション	ダンベル	握力計	背筋計	ランニングマシン	トレッドミル	アップライトバイク	ローイングフィット	マルチジム	ストレッチングス	マルチベンチ	フラットベンチ	ジムボール	トレーニングマット
1	1	1	4	8	4	1	2	1	10	1	6	2	1	1	5	1	3	5	1	13	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	8

〈山岳救助資器材〉

団 体 装 備													個 人 装 備							搬送用資器材														
テント	スノーボード	カラビナ	ザイル	懸垂降下器	登はん器具	ランタン	コンパス	サブザック	ナタ	双眼鏡	ポリタンク	携帯GPS	ウォーター	バック	フレームザック	ヘルメット	登山靴	アイゼン	かんじき	シユラフ	ピッケル	食器・ポリタンク	ハーネス	あぶみ	雨具	登山服・装備	バスケット型担架	減圧担架	キヤリング	シート	キヤリングラック	ストレッツチャー サーモソフト	ストレッツチャー	バーティカル
3	1	40	6	10	4	2	7	14	2	2	10	3	2	11	10	11	10	9	10	10	10	8	1	15	12	3	1	1	1	1	1	1	1	

消防救助技術指導会等入賞結果一覧表

(1) 愛媛県消防救助技術大会

平成 28 年	第 1 回	7/1	愛媛県:松山市	ロープブリッジ渡過	25.6 秒
				ロープブリッジ渡過	26.4 秒

※平成 29 年:第 2 回愛媛県大会については台風により中止となる。

※平成 30 年:第 3 回愛媛県大会については平成 30 年 7 月豪雨により中止となる。

(2) 消防救助技術四国地区指導会

年 度		日	開 催 地	入 賞 種 目	
平成 21 年	第 38 回	7/23	徳島県:徳島市	ロープブリッジ渡過	21.9 秒
				引揚救助	132.1 秒
平成 22 年	第 39 回	7/22	徳島県:徳島市	引揚救助	118.1 秒
平成 24 年	第 41 回	7/11	愛媛県:松山市	ロープブリッジ渡過	21.6 秒
				ロープ応用登はん	17.7 秒
				基本泳法	43.9 秒
平成 25 年	第 42 回	7/19	愛媛県:松山市	ロープブリッジ渡過	23.0 秒
				ロープブリッジ救出	71.1 秒
				ほふく救出	50.9 秒
平成 26 年	第 43 回	7/25	香川県:高松市	ロープブリッジ渡過	21.0 秒
				ロープブリッジ救出	67.4 秒
				はしご登はん	16.8 秒
				基本泳法	41.0 秒
平成 27 年	第 44 回	7/24	香川県:高松市	ロープブリッジ救出	62.9 秒
				基本泳法	38.5 秒
平成 28 年	第 45 回	7/29	愛媛県:松山市	ロープブリッジ渡過	24.2 秒
				ロープブリッジ救出	57.0 秒
平成 29 年	第 46 回	7/21	徳島県:徳島市	ロープブリッジ渡過	20.4 秒
				ロープブリッジ渡過	22.6 秒

※平成 23 年:第 40 回消防救助技術四国地区指導会については東日本大震災により中止となる。

※平成 30 年:第 47 回消防救助技術四国地区指導会については平成 30 年 7 月豪雨により中止となる。

(3) 全国消防救助技術大会

平成 25 年	第 42 回	8/22	広島県:広島市	ほふく救出	53.9 秒
---------	--------	------	---------	-------	--------

ヘリコプター離着陸場一覧

No.	区分	大字	名称	管理者	路面状況
久万地区					
1	A	上野尻	笛ヶ滝公園ラグビー場	久万高原町 教育委員会	芝 生
2	B (準)	上畑野川	畑野川小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
3	B (準)	下畑野川	千本高原グラウンド	久万高原町 ふるさと創生課	真砂土転圧
4	A	菅生	久万公園グラウンド	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
5	A	菅生	久万高原ラグビー場	久万高原町 教育委員会	人 工 芝
6	C	菅生	榎谷分校跡	久万高原町 総務課	真砂土転圧
7	B (準)	直瀬	直瀬小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
8	B (準)	東明神	明神小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
9	B (適)	露峰	父二峰小学校	久万高原町 教育委員会	アスファルト
10	B (適)	下野尻	久万高原消防ヘリポート	久万高原町 消防本部	アスファルト
美川地区					
11	A	上黒岩	美川中学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
12	A	日野浦	美川スキー場駐車場	久万高原町 ふるさと創生課	アスファルト
13	B (準)	東川	仕七川小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
14	B (準)	東川	山村広場	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
15	B (適)	日野浦	日野浦ヘリポート	久万高原町 教育委員会	アスファルト
16	B (適)	黒藤川	二箇ヘリポート	久万高原町 教育委員会	アスファルト
17	B (適)	黒藤川	黒藤川ヘリポート	久万高原町 教育委員会	アスファルト
面河地区					
18	C	大成	大成神社	久万高原町 総務課	砂利転圧
19	A	筈方	面河ダム	久万高原町 ふるさと創生課	真砂土転圧
20	B (準)	渋草	面河小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
21	B (適)	中組	面河ヘリポート	久万高原町 教育委員会	アスファルト
22	B (適)	相ノ峰	相ノ峰ヘリポート	久万高原町 総務課	アスファルト
柳谷地区					
23	A	柳井川	柳谷小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
24	B (適)	西谷	姫鶴運動場	姫鶴荘	真砂土転圧
25	B (準)	西谷	四国電力ヘリポート	四国電力(松山支店電力部土木建築課)	アスファルト
26	B (適)	西谷	中久保ヘリポート	久万高原町 総務課	アスファルト
27	B (適)	西谷	川成ヘリポート	久万高原町 総務課	アスファルト
28	B (適)	中津	休場ヘリポート	久万高原町 総務課	アスファルト
石鎚山関係					
29	B (適)	石鎚山系	石鎚山土小屋第2駐車場	愛媛県自然保護課	アスファルト
30	B (準)	石鎚山系	石鎚スカイライン中間展望台	中予地方局 久万土木事務所	砂利転圧

A: 地域拠点飛行場外離着陸場

航空法第79条ただし書きに基づき、国土交通大臣の許可を常時得た場外離着陸場で、平時の訓練及び緊急患者搬送や災害時などに即応して、直ちに使用できる状態を確保している場外離着陸場。

B: 緊急時離着陸場

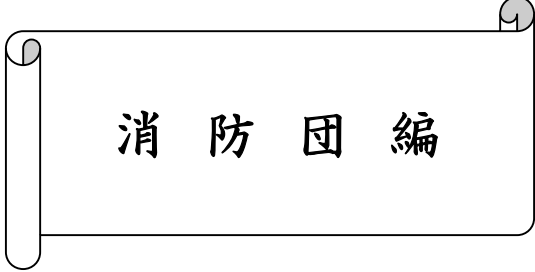
事故若しくは災害発生時等緊急時に使用する離着陸場。

(適): 離着陸に関し散水の必要が無い場所

(準): 離着陸に関し散水が必要な場所

C: 孤立地区対策緊急時離着陸場

町が孤立地区対策として指定する離着陸場で、事故若しくは災害発生時等、緊急時に離着陸し、またはホイストにより吊り上げを行う緊急時の離着陸場。



消 防 団 編

消防団の沿革

平成 16 年 8 月 1 日、久万町、面河村、美川村、柳谷村の 4 町村が合併し、久万高原町が誕生しました。これに伴い、消防団も合併し、団長に大野健二氏を選任、条例定数 717 名（平成 16 年 8 月 1 日実員 683 名）17 分団 31 部とし、旧町村の消防機材（消防ポンプ車 2 台、消防ポンプ積載車 47 台、小型動力ポンプ 71 台）を引継ぎ、久万高原町消防団が発足しました。

合併初年度である平成 16 年度事業として、団員の士気の向上を図ることを目的に、活動服の統一を実施するとともに、更なる消防力の強化を目的として、耐用年数を大幅に経過した積載車 2 台（久万・美川各 1 台）を更新整備しました。

平成 17 年 4 月 1 日、機構改革による再編成を行い、旧町村消防団単位の呼称を方面隊に改め、4 名の方面隊長（うち 1 名は副団長を兼務）を置き、12 分団 36 部としました。

また、石油貯蔵施設立地対策等交付金事業及び電源立地地域対策交付金事業等を活用し、積載車等資機材を年次計画により更新しております。

町村合併から 10 年以上が経過し、平成 31 年 3 月 31 日現在、町の総人口は 8,234 人、高齢化率は県内で最も高い 47.5% に達しており、地域防災の要である消防団への負託は年々大きくなっております。しかしながら、労働人口の町外流出、住民の高齢化は消防団にとっても深刻な問題であり、地域によっては団員確保が困難な状況となっております。

そのため、分団の配置、出動態勢の見直し等、消防団の組織再編を早急に検討し、地域防災力の維持・強化に努める必要があります。

平成 16 年	8 月	1 日	町村合併により久万高原町消防団となる
平成 17 年	2 月	21 日	久万第 3 分団第 4 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） 美川第 1 分団第 3 部積載車更新（日本損害保険協会寄贈）
	3 月	6 日	愛媛県消防協会長表彰（竿頭綬）を受章
	4 月	1 日	機構改革により 12 分団 36 部に再編成
	10 月	20 日	第 17 回全国女性消防操法大会出場（美川方面隊古味女性消防隊）
	11 月	25 日	久万第 2 分団第 2 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成 18 年	4 月	1 日	女性消防団員 21 名となる
	7 月	23 日	第 1 回久万高原町消防操法大会
平成 19 年	2 月	19 日	日本消防協会長表彰（竿頭綬）を受章
		27 日	久万第 4 分団第 2 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4 月	1 日	女性消防団員 24 名となる
	10 月	22 日	久万第 3 分団第 1 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	11 月	7 日	携帯用投光器 197 個配備（消防基金安全装備品助成事業）
	11 月	7 日	投光器一式 8 基配備（消防基金安全装備品助成事業）
平成 20 年	3 月	7 日	消防庁長官表彰（表彰旗）を受章
	4 月	1 日	消防団幹部（副分団長以上）3 年任期により役員改選
	6 月	29 日	第 2 回久万高原町消防操法大会
	12 月	6 日	携帯用投光器 270 個配備（消防基金安全装備品助成事業）
平成 21 年	2 月	20 日	久万第 4 分団第 3 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
		20 日	美川第 2 分団第 4 部積載車更新（電源立地地域対策交付金事業）
	7 月	11 日	小型動力ポンプ更新整備事業 6 台（地域活性化・生活対策臨時交付金事業）

	10月	9日	久万第3分団第3部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	11月	24日	消防団管理積載車に搭載していない可搬ポンプ22台を地域移管
	12月	20日	携帯用投光器250個配備（消防基金安全装備品助成事業）
平成22年	3月	2日	美川第2分団第2部小型動力ポンプ付き積載車更新（電源立地地域対策交付金事業）
		29日	久万第2分団第1部ポンプ自動車更新（電源立地地域対策交付金事業）
		31日	消防団車庫50施設中13施設修繕工事実施（町単独事業）
	4月	30日	消防団車庫50施設中8施設新築工事実施（地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業）
	6月	20日	第3回久万高原町消防操法大会
	11月	12日	ケブラー手袋230双配備（消防基金安全装備品助成事業）
		29日	久万第1分団第2部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成23年	1月	21日	柳谷第1分団第1部多機能型車両受領（日本消防協会）
	2月	23日	面河第1分団第2部及び第3部並びに美川第1分団第2部及び第3分団第3部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新（電源立地地域対策交付金事業）
	3月	30日	久万高原町消防団本部拠点施設新築工事竣工（地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業）
	4月	1日	消防団幹部（副分団長以上）3年任期により役員改選
		15日	久万第2分団第2部詰所車庫改築工事竣工（地域活性化・きめ細やかな臨時交付金事業）
平成24年	2月	6日	ケブラー手袋230双配備（消防基金安全装備品助成事業）
	3月	16日	久万第3分団第2部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	6月	24日	第4回久万高原町消防操法大会
	6月	28日	バルーン式投光器5台配備（消防団安全対策設備整備費補助事業）
	9月	28日	テント3張、パイプイス30台配備（コミュニティ助成事業）
	11月	29日	ケブラー手袋257双配備（消防基金安全装備品助成事業）
	12月	21日	久万第2分団第3部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成25年	1月	18日	雨衣401着配備（町単独事業）
	2月	26日	日本消防協会会長表彰（竿頭綬）を受章
	4月	1日	女性消防団員23名となる
	7月	1日	女性消防団員25名となる
		29日	雨衣323着配備（町単独事業）
	10月	31日	久万第4分団第1部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	11月	25日	消防団120年・自治体消防65周年記念大会参加
		26日	及び東日本大震災被災地復興視察

平成 26 年	3 月	2 日	愛媛県消防協会長表彰（竿頭綬）を受章
		21 日	面河第 1 分団第 1 部多機能型車両及び拠点資機材等受領（総務省消防庁）
	4 月	1 日	消防団幹部（副分団長以上）3 年任期により役員改選 女性消防団員 26 名となる
	5 月	16 日	土居団長，愛媛県消防協会長へ就任
	6 月	1 日	女性消防団員 24 名となる
平成 27 年	6 月	11 日	土居団長，日本消防協会監事及び全日本消防人共済会総代へ就任
		22 日	第 5 回久万高原町消防操法大会
	11 月	12 日	救助用半長靴 700 足配備（消防基金安全装備品助成事業）
	2 月	1 日	全方面隊合同訓練（ふるさと旅行村）
	5 月	1 日	女性消防団員 25 名となる
平成 28 年	6 月	13 日	広島市土砂災害視察（幹部研修）（～14 日）
	10 月	11 日	新任団員研修会
	12 月		消防団組織再編に向けた方面隊現状確認
	1 月	1 日	女性消防団員 24 名となる
	5 月	17 日	土居団長，愛媛県消防協会長を留任
平成 29 年	6 月	17 日	土居団長，日本消防協会理事へ就任
		19 日	第 6 回久万高原町消防操法大会
	8 月	24 日	全国救助技術大会視察（幹部研修）
	11 月	29 日	団本部防災活動車（三菱デリカ）を受領（日本消防協会）
	3 月	7 日	日本消防協会特別表彰「まとい」を受章
平成 30 年	4 月	1 日	女性消防団員 23 名となる
	5 月	10 日	面河地区前組の火災出動範囲を変更（久万 3-1, 3-2 を加える）
		27 日	特別表彰「まとい」受章祝賀会を開催
	6 月	1 日	役場本庁職員 15 人体制で団本部消防隊を結成
	11 月	30 日	面河第 2 分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成 31 年	3 月	7 日	消防団 125 年・自治体消防 70 周年記念大会参加
	5 月	18 日	土居団長，愛媛県消防協会長を留任
	6 月	1 日	女性消防団員 26 名となる
		15 日	土居団長，日本消防協会副会長へ就任
		17 日	第 7 回久万高原町消防操法大会
平成 31 年	7 月	1 日	女性消防団員 25 名となる
	8 月	28 日	救助用半長靴兼防火用長靴を面河方面隊に配備（コミュニティ助成事業）
	10 月	17 日	ヘルメット更新配備 665 個（町単独事業）
	23 日	活動服更新配備 700 着（町単独事業）	
			アポロキャップ配備 700 個（町単独事業）
平成 31 年	3 月	5 日	日本消防協会長表彰（竿頭綬）を受章

※旧町村別消防団の沿革については，平成 24 年度版年報以前を参照

階級別消防団員数

・・・消防団員の高齢化対策が今後の課題

(平成31年4月1日現在)

区 別	20歳 以下	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 ～ 60歳	61歳 ～ 64歳	65歳 以上	合 計
団 長	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
副 団 長	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4
分 団 長	-	-	-	-	-	1	-	2	5	4	-	12
副分団長	-	-	-	-	-	1	2	1	3	4	1	12
部 長	-	-	-	-	-	2	6	8	9	9	2	36
班 長	-	-	4	4	9	15	22	15	12	7	6	94
団 員	4	17	28	30	41	66	53	52	76	48	82	497
(うち女性団員)	-	1	2	-	-	5	6	3	2	5	1	25
合 計	4	17	32	34	50	85	83	78	105	72	96	656

消防団員の職業構成

(平成31年4月1日現在)

区 別	久万方面隊	面河方面隊	美川方面隊	柳谷方面隊	本 部	合 計
農 業	31	11	19	2	2	65
林 業	25	11	12	19	-	67
漁 業	-	-	-	1	-	1
鉱 業	1	-	-	-	-	1
建 設 業	31	21	42	12	-	106
製 造 業	14	-	5	-	-	19
電気・ガス・水道業	6	1	4	2	-	13
運輸・通信業	11	-	11	-	-	22
御・小売飲食業	10	1	7	2	2	22
金融保険業	-	1	1	-	-	2
不動産業	-	-	-	-	-	0
サービス業	30	17	20	12	-	79
公 務 員	44	18	30	8	24	124
特殊法人(農協等)	48	3	14	5	-	70
日本郵政公社	3	3	3	-	-	9
その他(無職等)	10	12	12	20	2	56
合 計	264	99	180	83	30	656

年齢別消防団員数

(平成31年4月1日現在)

区 別	20歳 以下	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 以上	合 計	平均 年齢
久万高原町消防団	4	17	32	34	50	85	83	78	273	656	50.8
(内女性団員)	—	(1)	(2)	—	—	(5)	(6)	(3)	(8)	(25)	(49.1)

在職年数別消防団員数

(平成31年4月1日現在)

区 分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
久万高原町消防団	100	96	100	60	85	71	144	656
(内女性団員)	(6)	(9)	(9)	(1)	—	—	—	(25)

消防団員の退職・新任状況

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

区 分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
退職	4	6	4	2	5	1	16	38
区 分	25歳以下	26歳以上 30歳以下	31歳以上 35歳以下	36歳以上 40歳以下	41歳以上 45歳以下	46歳以上 50歳以下	51歳以上	合 計
新任	2	3	2	3	1	1	12	24

消防団年俸調べ

(平成31年4月1日現在)

団 長	副団長 (本部付)	副団長 (方面隊長兼務)	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
127,000	100,000	80,000	58,000	47,000	44,000	32,000	29,000

消防団手当調べ

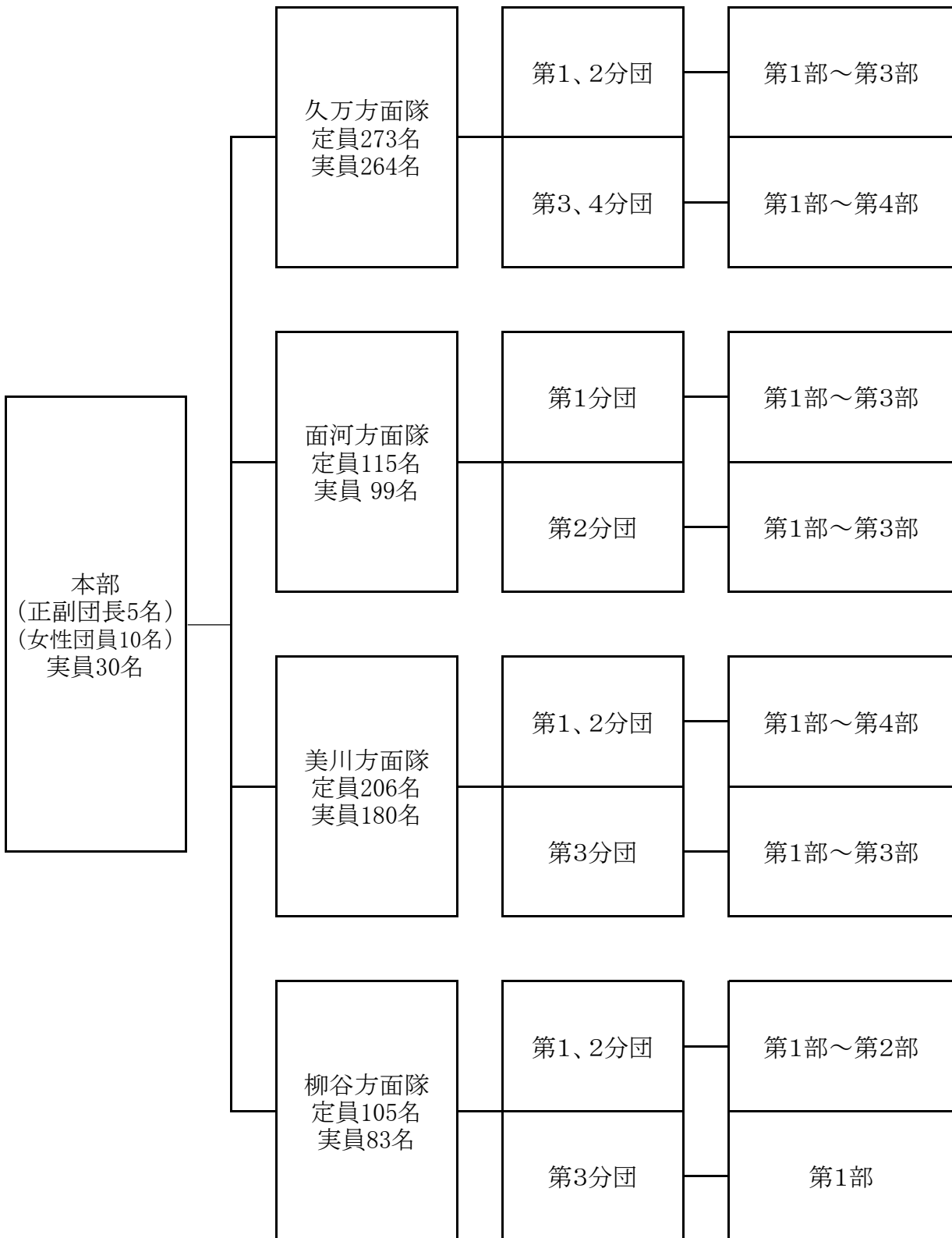
(平成31年4月1日現在)

火災出動手当	風水害出動手当	警戒出動手当	訓練出動手当	その他の手当
2,000(4時間未満)	2,000(4時間未満)	2,000(4時間未満)		
4,000(4時間以上)	4,000(4時間以上)	4,000(4時間以上)	4,300	2,000

久万高原町消防団組織図

(平成31年4月1日現在)

(部所属女性団員15名)



各方面隊別出動範囲

方面隊	分団	管轄		出動範囲	
久万方面隊	第1分団	東明神	全域	第1分団・第2分団管轄内	
		西明神			
		入野			
		久万	住安・本町・辻		
		菅生	槻之沢・北村・高野・東国(一部)		
	第2分団	久万	桂町・福井・曙・緑ヶ丘・旭ヶ丘		
		菅生	中組・中通・東国(一部)・中野村・槇谷		
		上野尻	全域		
		下野尻			
	第3分団	上畑野川	全域		第3分団管轄内 面河地区前組(第2部、第3部)
		下畑野川			
		直瀬			
	第4分団	露峰	全域		第4分団管轄内
父野川					
二名					
面河方面隊	第1分団	渋草	方面隊管轄内		
		笠方			
		前組			
		相の峰			
		大成			
	第2分団	本組			
		中組			
		若山			
		河の子			
		相の木			
美川方面隊	第1分団	上黒岩	第1分団管轄内		
		有枝			
		中黒岩			
		大川			
		沢渡			
	第2分団	七鳥	第2分団管轄内		
		仕出			
		東川			
	第3分団	日野浦	第3分団管轄内		
黒藤川					
柳谷方面隊	第1分団	柳井川	方面隊管轄内		
	第2分団	西谷			
	第3分団	中津			

本部消防隊

<消防ポンプ自動車調査表>

(平成31年4月1日現在)

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
本部消防隊	昼間(全町対応) 夜間(本部後方支援)	三菱フソウ	U-FG337C改	4,210	26	H3.02	愛媛 88さ 88-86

久万方面隊

<消防ポンプ自動車調査表>

(平成31年4月1日現在)

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第3部	東明神・西明神 入野・久万・菅生 上野尻・下野尻	三菱キャンター	KK-FG52EC	5,240	16	H12.12	愛媛 800さ 28-62
第2分団第1部		日野	BDG-XZU378M	4,000	7	H22.03	愛媛 800す 30-70

<消防積載自動車調査表>

(平成31年4月1日現在)

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	東明神・西明神 入野・久万・菅生 上野尻・下野尻	ニッサン	KG-SP6F23	2,660	16	H13.03	愛媛 800さ 32-12
第1分団第2部		ニッサン	KG-SP6F23	2,600	13	H15.12	愛媛 800さ 81-76
第1分団第2部		ダイハツ軽四	EBD-S331W	660	6	H22.11	愛媛 800あ 9-96
第2分団第2部		ニッサン	KR-SR8F23	3,150	11	H17.11	愛媛 800さ 99-02
第2分団第3部		ダイハツ軽四	EBD-S331W	660	4	H24.12	愛媛 880あ 12-89
第3分団第1部	上畑野川 下畑野川 直瀬 面河地区前組 (第2部,第3部)	ニッサン	L-ZD30	2,900	9	H19.10	愛媛 800す 14-24
第3分団第2部		トヨタ	LDF-KDY281	1,810	5	H24.03	愛媛 800す 40-91
第3分団第3部		ニッサン	PDG-SZ5F24	1,600	7	H21.10	愛媛 800す 26-96
第3分団第4部		トヨタ	KR-KDY270	2,490	12	H17.02	愛媛 800さ 92-65
第4分団第1部	露峰 父野川 二名	ダイハツ軽四	EBD-S331W	660	3	H25.10	愛媛 800あ 14-38
第4分団第2部		ニッサン	KR-SR8F23	3,150	10	H19.02	愛媛 800す 9-61
第4分団第3部		ニッサン	PDG-SZ5F24	2,950	8	H21.02	愛媛 800す 22-86
第4分団第3部		スバル軽四	GD-TT2	660	15	H14.02	愛媛 80あ 18-79
第4分団第4部		ニッサン	GA-SE88HN	1,800	18	H10.12	愛媛 800さ 5-43

<小型(可搬)ポンプ配置調査表>

(平成31年4月1日現在)

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	東明神 中組 (明神公民館)	トーハツ	VF53AS-22kw	B-3	H21	7
第1分団第2部	西明神 沖 (JA支所上)	ラビット	P476-42kw	B-3	H15	13
第1分団第2部	入野 (農業試験場前)	トーハツ	VF53AS-22kw	B-3	H22	6
第2分団第2部	野尻 (上野尻)	トーハツ	V46BS-28kw	B-3	H10	18
第2分団第3部	中野村 (集会所下)	トーハツ	VF53AS-22kw	B-3	H24	4
第3分団第1部	下畑野川 (下畑野川公民館横)	トーハツ	V46BS-28kw	B-3	H10	18
第3分団第2部	上直瀬 (公民館横)	ラビット	P476-42kw	B-3	H12	16
第3分団第3部	下直瀬 (中通)	シバウラ	SF651M-34kw	B-3	H11	17
第3分団第4部	上畑野川 (上西之浦)	トーハツ	VF53AS-22kw	B-3	H21	7
第4分団第1部	二名 (富重)	トーハツ	VF53AS-22kw	B-3	H25	3
第4分団第2部	二名 (宮成)	トーハツ	VF53AS-22kw	B-3	H21	7
第4分団第3部	父野川 馬野地 (公民館横)	トーハツ	VF53AS-22kw	B-3	H21	7
第4分団第3部	露峰 (橋詰)	トーハツ	VF53AS-22kw	B-3	H21	7
第4分団第4部	露峰 (中村)	ラビット	P476-42kw	B-3	H14	14

面河方面隊

<消防積載自動車調査表>

(平成31年4月1日現在)

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	面河地区全域	いすゞ	TKG - NHS85AN	2,990	3	H26.03	愛媛 800す 52-64
第1分団第1部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	15	H14.03	愛媛 800さ 43-18
第1分団第2部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	660	6	H23.02	愛媛 880あ 10-32
第1分団第3部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	660	6	H23.02	愛媛 880あ 10-33
第2分団第1部		ニッサン	TKG - SZ5F24	2,950	1	H29.11	愛媛 800す 73-74
第2分団第2部		ニッサン	KG - SP6F23	2,600	15	H13.05	愛媛 800さ 34-50
第2分団第3部		ニッサン	U - SM6F23改	2,280	23	H05.11	愛媛 88す 9-74

<小型(可搬)ポンプ配置調査表>

(平成31年4月1日現在)

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	渋草 里成 (役場支所前)	トーハツ	VF63AS - 22kw	B-2	H26	3
第1分団第1部	渋草 竹の谷 (JA支所前)	トーハツ	V75GM - 52kw	B-2	H14	15
第1分団第2部	笠方 (八社神社下)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B-3	H23	6
第1分団第3部	前組 (支援センター横)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B-3	H23	6
第2分団第1部	本組 (八幡神社横)	トーハツ	V46AS - 27kw	B-3	H07	21
第2分団第2部	中組 (中組公民館横)	トーハツ	V40AS - 26kw	B-3	H10	18
第2分団第3部	若山 (面河駐在所横)	トーハツ	V46AS - 27kw	B-3	H07	21

美川方面隊

<消防積載自動車調査表>

(平成31年4月1日現在)

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	大川・梨の下 有枝・上黒岩 沢渡	ニッサン	KC - SN6F改	2,500	19	H09.11	愛媛 88す 43-14
第1分団第2部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	660	6	H23.02	愛媛 880あ 10-34
第1分団第3部		三菱軽四	GBD - U62T	660	12	H17.02	愛媛 880あ -13
第1分団第4部		ニッサン	KG - SP6F23	2,600	15	H13.05	愛媛 800さ 34-51
第2分団第1部	筒城・仕出 菟川・七鳥 長瀬・竹谷 西古味・東古味 東川・水押	ニッサン	GC - SK82LN	1,800	15	H13.05	愛媛 800さ 34-55
第2分団第1部		スバル軽四	LE - TT2	660	14	H14.11	愛媛 80あ 20-11
第2分団第2部		ニッサン	PDG - SZ5F24	2,950	7	H22.02	愛媛 800す 29-75
第2分団第3部		ニッサン	KG - SP6F23	2,600	14	H14.11	愛媛 800さ 49-20
第2分団第4部	ニッサン	PDG - SZ5F24	2,950	8	H21.02	愛媛 800す 22-85	
第3分団第1部	大谷・日野浦 栄重・黒藤川 二箇・長崎	ニッサン	KG - SP6F23	2,600	15	H13.05	愛媛 800さ 34-52
第3分団第1部		スバル軽四	GD - TT2	660	15	H14.03	愛媛 80あ 19-00
第3分団第2部		ニッサン	KG - SP6F23	2,600	15	H13.05	愛媛 800さ 34-53
第3分団第3部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	660	6	H23.02	愛媛 880あ 10-31

<小型（可搬）ポンプ配置調査表>

(平成31年4月1日現在)

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	大川 (大川下中)	トーハツ	V46BS - 28kw	B - 3	H07	21
第1分団第2部	有枝 (八幡神社前)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	H23	6
第1分団第3部	上黒岩 (上本組)	トーハツ	VC52A - 34kw	B - 3	H08	20
第1分団第4部	沢渡 (集会所横)	トーハツ	V40AS - 26kw	B - 3	H11	17
第2分団第1部	仕出 (筒城集会所横)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	H21	7
第2分団第1部	東川 (菘川集会所横)	トーハツ	V40AS - 26kw	B - 3	H09	19
第2分団第2部	七鳥 (熊野神社上)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	H22	17
第2分団第3部	西古味 (集会所横)	トーハツ	VC52AS - 34kw	B - 3	H13	15
第2分団第4部	東川 (中村堀田宅横)	トーハツ	V25AS - 13kw	B - 3	H14	14
第3分団第1部	日野浦 (大谷集会所西)	トーハツ	VC52AS - 34kw	B - 3	H13	15
第3分団第1部	日野浦 (成河藤社入口)	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	H14	15
第3分団第2部	黒藤川 (旧黒藤川小学校)	トーハツ	VC52AS - 34kw	B - 3	H13	15
第3分団第3部	黒藤川 (旧二箇小学校下)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	H23	6

柳谷方面隊

<消防積載自動車調査表>

(平成31年4月1日現在)

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	柳谷地区全域	いすゞ	BKG - NHS85A	2,990	6	H23 . 01	愛媛 800す 34 - 78
第1分団第1部		ニッサン	TC - SK82LN	1,800	13	H15 . 11	愛媛 800さ 80 - 65
第1分団第2部		ニッサン	GE - SK82LN	1,800	16	H12 . 09	愛媛 800さ 25 - 57
第2分団第1部		ニッサン	GE - SK82LN	1,800	15	H13 . 09	愛媛 800さ 37 - 96
第2分団第1部		ニッサン	TC - SK82LN	1,800	13	H15 . 11	愛媛 800さ 80 - 64
第2分団第2部		ニッサン	TC - SK82LN	1,800	14	H15 . 03	愛媛 800さ 53 - 21
第2分団第2部		三菱	KK - FD70AB	2,800	14	H15 . 03	愛媛 800さ 52 - 31
第3分団第1部		ニッサン	GE - SK82LN	1,800	17	H11 . 10	愛媛 800さ 13 - 83
第3分団第1部		ニッサン	TC - SK82LN	1,800	14	H14 . 11	愛媛 800さ 49 - 23

<小型（可搬）ポンプ配置調査表>

(平成31年4月1日現在)

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	柳井川落出 (柳井川集会所)	トーハツ	VF63AS - 22kw	B - 2	H23	6
第1分団第1部	柳井川川前 (川前集会所下)	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	H15	13
第1分団第2部	柳井川永野 (永野)	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	H15	14
第2分団第1部	西谷本谷 (下四組集会所)	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	H15	14
第2分団第1部	西谷名荷下 (名荷下集会所)	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	H15	13
第2分団第2部	西谷古味 (沖田石油向)	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	H15	14
第2分団第2部	西谷高野 (高野集会所川向)	トーハツ	VC72AS - 46kw	B - 2	H15	14
第3分団第1部	中津旭 (R 33バス停)	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	H15	14
第3分団第1部	中津窪田 (升田宅横)	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	H15	13

方面隊別消防団保有資機材

(平成31年4月1日現在)

区分	装 備	久 万	面 河	美 川	柳 谷	合 計
ポン プ 等	消防ポンプ自動車	3	-	-	-	3
	小型動力ポンプ(積載車)	14	7	13	9	43
	小型動力ポンプ	14	7	13	9	43
放 水 器 具	ホース 65mm	442	134	297	177	1,050
	ホース 50mm	24	-	-	1	25
	吸水管 6・8・10m	34	12	32	14	92
	管 槍 口	55	22	53	25	155
	可 変 ノ ズ ル	40	22	30	23	115
	双口接手(分岐金具)	47	11	27	16	101
	中継金具(65-70ネジ)	31	8	22	18	79
	消火栓ハンドル	63	12	32	17	124
	化学消火器具	4	1	-	-	5
	化学消火薬剤	4	2	-	-	6
	簡易布水槽	17	7	8	14	46
	スタンドパイプ	7	1	-	-	8
	消 火 水 囊	10	21	6	2	39
防火衣	69	7	48	10	134	
照 明	バルーン式投光器	1	4	1	1	7
	発 電 機	18	10	3	3	34
	照 明 灯	48	28	36	7	119
	携帯用投光器	288	116	207	106	717
無 線 機	携帯 車載 1W	21	-	-	-	21
	携帯 車載 5W	4	11	20	27	62
	携帯 車載 10W	17	7	14	12	50
	トランシーバー	4	21	22	3	50
そ の 他 防 災 用 資 材	二連梯子	13	12	9	1	35
	鳶口	148	59	141	61	409
	チェーンソー	1	5	1	5	12
	ノコギリ	6	7	3	33	49
	ザイル(ロープ)	24	10	6	11	51
	ホース背負器	104	17	53	36	210
	スコップ	42	18	69	47	176
	エンジンカッター	4	3	3	3	13
	水中ポンプ	2	1	1	1	5
	レスキューキットBox	14	6	10	5	35
	バール(てこ)	17	21	10	5	53
	携行缶(GS) 10L・20L	28	16	21	11	76
	ホースブリッジ	23	12	28	8	71
	コードリール	4	10	1	1	16
	地堀(ツルハシ含む)	4	-	32	29	65
	懐中電灯	4	10	1	-	15
	ケブラー手袋	267	105	184	86	642
雨衣	267	105	184	86	642	
救助用半長靴(安全ゴム長靴)	267	105	184	86	642	

消防団幹部調べ

< 久万高原町消防団 >

(平成31年4月1日現在)

階 級	氏 名	住 所
団 長	土 居 敏 夫	久万
副 団 長	長 山 南 海 男	洪草

< 久万方面隊 >

(平成31年4月1日現在)

階 級	氏 名	住 所
方面隊長	新 宅 進	菅生
第1分団長	山 本 英 二	久万
第1副分団長	小 倉 重 生	東明神
第2分団長	佐 伯 和 洋	久万
第2副分団長	日 野 潤 一	上野尻
第3分団長	大 野 秋 廣	直瀬
第3副分団長	西 山 真 吾	下畑野川
第4分団長	久 保 陽 生	二名
第4副分団長	河 野 勝 利	露峰

< 面河方面隊 >

(平成31年4月1日現在)

階 級	氏 名	住 所
方面隊長	長 山 南 海 男	洪草
第1分団長	木 川 下 村 正	洪草
第1副分団長	川 十 村 慎 二	洪草
第2分団長	菅 十 村 直 明	中組
第2副分団長	菅 十 村 直 明	洪草

< 美川方面隊 >

(平成31年4月1日現在)

階 級	氏 名	住 所
方面隊長	瀧 倉 内 光 雄	大川
第1分団長	倉 岡 橋 林 正 治	上黒岩
第1副分団長	岡 水 元 幸 政 博	上黒岩
第2分団長	水 左 元 京 健	七鳥
第2副分団長	左 中 倉 岡 橋 正 昌 行 彦	東川
第3分団長	中 倉 岡 橋 正 昌 行 彦	日野浦
第3副分団長	倉 岡 橋 正 昌 行 彦	露峰

< 柳谷方面隊 >

(平成31年4月1日現在)

階 級	氏 名	住 所
方面隊長	立 野 好 仁	西谷
第1分団長	森 岡 元 文 寿	柳井川
第1副分団長	古 岡 用 文 寿	柳井川
第2分団長	舘 野 野 勉	西谷
第2副分団長	山 下 野 元 司 一	西谷
第3分団長	矢 野 野 元 洋 誠 一	中津
第3副分団長	中 野 野 元 洋 誠 一	中津

久万高原町消防団長

初 代	大 野 健 二	H16.8.1 ~ H20.3.31
二 代	土 居 敏 夫	H20.4.1 ~

愛媛県消防操法上浮穴地区大会成績表

<小型動力ポンプの部>

大会回数	開催年月日	参加数	優 勝	準 優 勝	3 位	4 位	5 位
第 1回	不 明	不 明	美川村第2分団				
第 2回	不 明	不 明	面河村第2分団				
第 3回	不 明	不 明	小田町参川分団				
第 4回	不 明	不 明	柳谷村第3分団				
第 5回	不 明	不 明	久万町第2分団3部				
第 6回	不 明	不 明	小田町田渡分団				
第 7回	不 明	不 明	小田町本部分団				
第 8回	不 明	不 明	小田町小田分団				
第 9回	不 明	不 明	小田町参川分団				
第10回	昭和 52年 9月 7日	不 明	小田町参川分団				
第11回	昭和 54年 9月 7日	14	柳谷村第3分団				
第12回	昭和 56年 9月 5日	14	小田町田渡分団2部				
第13回	昭和 58年 9月 4日	14	美川村第2分団3部	小田町田渡分団3部	小田町小田分団1部	柳谷村第1分団1部	久万町第3分団1部
第14回	昭和 60年 9月 1日	14	小田町小田分団2部	小田町田渡分団1部	面河村第1分団	久万町第3分団2部	久万町消防団
第15回	昭和 61年 8月 10日	14	小田町本部分団	久万町第1分団1部	久万町第4分団4部	面河村本部分団	柳谷村第1分団
第16回	昭和 63年 7月 24日	14	小田町田渡分団2部	久万町第1分団2部	久万町第4分団1部	小田町参川分団2部	久万町第3分団2部
第17回	平成 2年 7月 24日	14	久万町第3分団3部	小田町参川分団3部	面河村第4分団	面河村本部分団	不 明
第18回	平成 3年 8月 25日	14	小田町参川分団1部	小田町小田分団2部	柳谷村第1分団2部	久万町第2分団2部	小田町田渡分団
第19回	平成 5年 9月 7日	14	小田町参川分団3部	小田町本部分団	小田町小田分団4部	柳谷村本部分団	柳谷村第2分団2部
第20回	平成 7年 7月 16日	14	小田町田渡分団2部	小田町参川分団3部	久万町第3分団2部	柳谷村第1分団	面河村本部分団
第21回	平成 9年 7月 13日	14	小田町参川分団3部	小田町小田分団2部	小田町参川分団1部	美川村本部分団	久万町第3分団3部
第22回	平成 12年 7月 16日	14	小田町田渡分団1部	小田町参川分団2部	小田町小田分団4部	美川村第1分団1部	久万町第1分団2部
第23回	平成 14年 7月 28日	14	小田町参川分団3部	柳谷村消防団本部	美川村第3分団1部	久万町第1分団1部	小田町小田分団1部
第24回	平成 16年 7月 18日	14	小田町田渡分団3部	美川村第2分団1部	小田町小田分団2部	柳谷村第3分団	柳谷村第1分団

<ポンプ自動車の部>

大会回数			開催年月日				出場数	優勝	
第12回	昭和56年	9月5日	1	久万町消防団 第2分団第1部					
第13回	昭和58年	9月4日	1	久万町消防団 第1分団第3部					
第14回	昭和60年	9月1日	1	久万町消防団 第2分団第2部					
第15回	昭和61年	9月10日	1	久万町消防団 第2分団第2部					
第16回	昭和63年	7月24日	1	久万町消防団 第1分団第3部					
第17回	平成2年	7月22日	1	久万町消防団 第2分団第1部					
第18回	平成3年	8月25日	1	久万町消防団 第2分団第1部					
第19回	平成5年	9月7日	2	久万町消防団 第2分団第1部					
第20回	平成7年	7月16日	2	小田町消防団 本部分団					
第21回	平成9年	7月13日	2	小田町消防団 小田分団第3部					
第22回	平成12年	7月16日	2	小田町消防団 本部分団					
第23回	平成14年	7月28日	2	小田町消防団 小田分団第3部					
第24回	平成16年	7月18日	2	久万町消防団 第1分団第3部					

※ 平成11年4月・上浮穴郡消防連合会は、上浮穴地区・県操法大会を同一年に行うことを決定。

※ 平成16年8月1日町村合併により愛媛県消防操法上浮穴地区大会を廃止、18年度から久万高原町消防操法大会を行うことを決定する。

久万高原町消防操法大会成績表

<小型動力ポンプの部>

大会回数	開催年月日	出場数	優勝	準優勝	3位	4位	5位
第1回	平成18年7月23日	11	柳谷方面隊 第2分団	面河方面隊 第1分団	久万方面隊 第4分団	柳谷方面隊 第1分団	久万方面隊 第3分団
第2回	平成20年6月29日	10	美川方面隊 第2分団	面河方面隊 第2分団	久万方面隊 第3分団	柳谷方面隊 第3分団	久万方面隊 第1分団
第3回	平成22年6月20日	11	美川方面隊 第3分団	柳谷方面隊 第2分団	柳谷方面隊 第3分団	美川方面隊 第1分団	久万方面隊 第4分団
第4回	平成24年6月24日	11	美川方面隊 第3分団	柳谷方面隊 第3分団	久万方面隊 第1分団	面河方面隊 第1分団	美川方面隊 第1分団
第5回	平成26年6月22日	10	美川方面隊 第3分団	面河方面隊 第1分団	柳谷方面隊 第2分団	面河方面隊 第2分団	久万方面隊 第1分団
第6回	平成28年6月19日	11	美川方面隊 第3分団	面河方面隊 第2分団	柳谷方面隊 第3分団	面河方面隊 第1分団	柳谷方面隊 第1分団
第7回	平成30年6月17日	10	面河方面隊 第2分団	柳谷方面隊 第3分団	久万方面隊 第3分団	久万方面隊 第2分団	面河方面隊 第1分団

<ポンプ自動車の部>

大会回数			開催年月日				出場数	優勝	
第1回	平成18年	7月23日	1	久万方面隊 第2分団					
第2回	平成20年	6月29日	1	久万方面隊 第1分団					
第3回	平成22年	6月20日	1	久万方面隊 第2分団					
第4回	平成24年	6月24日	1	久万方面隊 第1分団					
第5回	平成26年	6月22日	1	久万方面隊 第2分団					
第6回	平成28年	6月19日	1	久万方面隊 第1分団					
第7回	平成30年	6月17日	1	久万方面隊 第2分団					

愛媛県消防操法大会成績表

<三輪自動車の部>

大会回数	開催年月日	参加数	出場分団	成績
第1回	昭和32年10月22日	11	久万町消防団 第4分団	
第2回	昭和33年9月16日	11	久万町消防団 第4分団	
第3回	昭和36年3月21日	8	久万町消防団 第2分団第1部	優勝

<小型ポンプの部>

大会回数	開催年月日	参加数	出場分団	成績
第1回	昭和32年10月22日	13	美川村消防団 第2分団	
第2回	昭和33年9月16日	14	面河村消防団 第2分団	
第3回	昭和35年3月21日	14	小田町消防団 参川分団	3位
第4回	昭和39年9月20日	15	柳谷村消防団 第3分団	準優勝
第5回	昭和41年10月9日	16	久万町消防団 第2分団第3部	3位
第6回	昭和44年9月28日	14	小田町消防団 田渡分団	
第7回	昭和47年9月21日	14	小田町消防団 本部分団	3位
第8回	昭和49年10月10日	15	小田町消防団 小田分団	
第9回	昭和51年9月15日	16	小田町消防団 参川分団	
第10回	昭和53年9月17日	16	柳谷村消防団 第3分団	
第11回	昭和55年9月14日	17	小田町消防団 田渡分団第2部	5位
第12回	昭和57年9月5日	17	美川村消防団 第2分団第3部	入賞
第13回	昭和59年9月2日	17	小田町消防団 小田分団第2部	
第14回	昭和61年8月24日	17	小田町消防団 本部分団	
第15回	昭和63年8月28日	17	小田町消防団 田渡分団第2部	
第16回	平成2年8月26日	17	久万町消防団 第3分団第3部	
第17回	平成4年8月23日	17	小田町消防団 参川分団第2部	
第18回	平成6年8月28日	17	小田町消防団 参川分団第2部	
第19回	平成8年9月8日	17	小田町消防団 田渡分団第2部	
第20回	平成10年9月6日	17	小田町消防団 田渡分団第3部	5位
第21回	平成12年9月10日	17	小田町消防団 田渡分団第1部	5位
第22回	平成14年9月8日	17	小田町消防団 参川分団第3部	
第23回	平成16年9月5日	17	小田町消防団 田渡分団第3部	
第24回	平成18年9月17日	17	久万高原町消防団 柳谷方面隊第2分団	
第25回	平成20年7月27日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第2分団	
第26回	平成22年7月25日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第27回	平成24年7月29日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第28回	大会日、予備日も警報発令により中止		久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第29回	平成28年7月31日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第30回	平成30年7月豪雨の影響により中止		久万高原町消防団 面河方面隊第2分団	

<ポンプ自動車の部>

大会回数	開催年月日	参加数	出場分団	成績
第1回	昭和32年10月22日	8	不	明
第2回	昭和33年9月16日	8	不	明
第3回	昭和35年3月21日	10	不	明
第4回	昭和39年9月20日	7	久万町消防団 第2分団第1部	優勝
第5回	昭和41年10月9日	10	久万町消防団 第2分団第2部	
第6回	昭和44年9月28日	13	不	明
第7回	昭和47年9月21日	14	久万町消防団 第2分団第1部	準優勝
第8回	昭和49年10月10日	14	不	明
第9回	昭和51年9月15日	14	久万町消防団 第1分団	
第10回	昭和53年9月17日	15	不	明
第11回	昭和55年9月14日	16	久万町消防団 第1分団	
第12回	昭和57年9月5日	16	久万町消防団 第2分団第1部	
第13回	昭和59年9月2日	16	久万町消防団 第1分団第3部	
第14回	昭和61年8月24日	16	久万町消防団 第2分団第1部	
第15回	昭和63年8月28日	16	久万町消防団 第1分団第3部	
第16回	平成2年8月26日	16	久万町消防団 第2分団第1部	
第17回	平成4年8月23日	16	久万町消防団 第1分団第3部	
第18回	平成6年8月28日	16	久万町消防団 第2分団第1部	
第19回	平成8年9月8日	16	小田町消防団 本部分団	
第20回	平成10年9月6日	16	小田町消防団 小田分団第3部	
第21回	平成12年9月10日	16	小田町消防団 本部分団	
第22回	平成14年9月8日	16	小田町消防団 小田分団第3部	
第23回	平成16年9月5日	16	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第24回	平成18年9月17日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第25回	平成20年7月27日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第26回	平成22年7月25日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第27回	平成24年7月29日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第28回	大会日、予備日も警報発令により中止		久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第29回	平成28年7月31日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第30回	平成30年7月豪雨の影響により中止		久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	

消 防 年 報

平成 30 年度版

発行日 令和元年 9 月 1 日

発 行 久万高原町消防本部

〒791-1207

上浮穴郡久万高原町下野尻甲 33 番地

TEL (0892) 21-2411

FAX (0892) 21-2656



119番で
すぐに参上

—火災・救急・救助—

久万高原町消防
マスコットキャラクター

”スーパーダッシュくん”